



大正十二年一月

(換 謄 寫)

小作制度調查委員會第二回總會議事錄

農 商 務 省 農 務 局

AZ
431
H88

小作制度調査委員會第二回總會議事錄

目次

一 總會開會期日、會場、議事事項	一
二 第一日	一
農商務大臣ノ挨拶	
委員ノ異動及調査事項進度ニ付幹事ノ説明	
特別委員長ノ特別委員會ノ經過報告	
小作調停法案ノ大要ニ付幹事ノ説明並質問應答	
總會開會中展覽ニ供セシ資料目錄	
三 第二日	五六
小作調停法案ノ大要ニ付質問應答	
小作調停法案逐條審議決定	
四 第三日	一三八
小作調停法案逐條審議決定	
答申案ノ議決	
五 答申小作調停法案(全文)	二二一



I 種
W



1200501957867

小作制度調査委員會第二回總會議事錄

第一回總會

開 期 大正十一年九月十九日ヨリ三日間

會 場 農商務省會議室

議事事項 小作調停法案

第一日

九月十九日午後一時五十分開會

一 出席者

委員 岡本委員長、伊藤、岩田、池田、石黒、星島、土井、河田、横井、田子、塚本、副島、長満、桑田、矢口、山田、山崎、松本、古屋、小出、小鹽、赤松、齋藤、佐藤(友)、佐藤(寛)
三宅、三浦、平野、末弘ノ各委員

囑託 岡田囑託

幹事 石黒、小平、竹内ノ各幹事

○議長(岡本委員長) 本調査委員會ノ開會ニ當リマシテ一言御挨拶ヲ申上ゲマス、殘暑嚴シキ際、殊ニ各位御多忙ノ折柄御參會ヲ得マシテ深く感謝致ス次第デアリマス、御承知ノ如ク本調査會モ久シク開會ノ運ビニ到ラナカッタノデアリマスガ、此間委員長デアリマシタ田中前農商務次官ガ辭職退官セラレマシテ、不肖私ガ後任ヲ拜命致シマシタ結果、委員會ノ規則ニ依リマシテ職務上ノ關係カラ委員長ノ席ヲ瀆スコトニナリマシタノデアリマス、御承知ノ如ク微力ノモノデアリマシテ諸事不行屆勝チト存ジマス、此點ハ各位ニ於カレマシテ御同情ノ上御寛容アランコトヲ希望致シマス

尙ホ御承知ノ如ク特別委員ニ於カレマシテハ約二箇年ニ近キ歲月ノ間非常ナル御熱心ヲ以テ屢々會合セラレマシテ、本會議ニ提出スベキ準備ヲ致サレタノデアリマス、茲ニ此點ヲ御披露致シマシテ特別委員諸氏ノ御努力ヲ感謝致ス次第デアリマス、一言御挨拶申上ゲマス、又農商務大臣閣下ヨリ御挨拶ガゴザイマス。

○荒井農商務大臣

茲ニ小作制度調査委員會ヲ開カルルニ當リマシテ、私ハ今回新任ノ披露ヲ兼ネマシテ御挨拶ヲ申上ゲマス。

私ハ今回圖ラズモ乏シキヲ農商務省ノ當局ニ承ケマシタ將來宜シク御厚誼ヲ御願ヒ致ス次第デアリマス。

偕此小作問題ハ御承知ノ通り現時ニ於ケル重要問題中ノ重要問題デアリマスガ爲ニ、曩ニ政府ハ廣ク農政ニ精通シテ居ラルル方々又ハ學識經驗ヲ有セラルル諸君、竝ニ各關係官廳ノ方々ニ囑託ヲ致シマシテ、小作制度ニ關スル問題ヲ根本的ニ調査改善スルト云フ目的ヲ以テ小作制度調査委員會ヲ設置致シマシタ、而シテ此調査委員會ハ一昨年設置ニナリマシタガ、私ガ就任後各地ノ事情ニ付テ承ル所ニ依レバ、小作制度調査委員會設置ノ當時ニ較ベマシテ今日ハ益々小作問題即チ地主ト小作人トノ間ニ於ケル爭議ハ随分頻繁ニ發生シテ居ルノデアリマス、ソレデ何等カ此間ニ於テ適當ノ施設ヲ講ジマシテ、之ヲ圓滿ニ解決スル手段方法ヲ求メマスコトハ、今日ノ時勢ニ對シテ最モ必要ナル事項デアルト思考スルノデアリマス、幸ニモ小作制度委員會ノ特別委員會ニ於テ、特別委員諸君ガ前後九回ニ涉リテ十分ナル討議ヲ御盡クシニナリマシタ結果、小作調停ノ立案ヲ得ラレタト云フコトデアリマス、洵ニ此事ハ私共モ欣ブ次第デアリマス、愈々今回特別委員會ニ於テ立案ニナリマシタ小作調停法案ヲ議會ニ附議セラルルコトニナリマシタニ付キマシテハ、願クバ諸君ニ於カレマシテ十分ニ審査討議ヲ遂ゲラレマシテ、適當ナル判斷ヲ御下タシニ相成リ議定アランコトヲ當局ハ希望スル次第デアリマス。

尙ホ此問題以外即チ小作調停法案以外ニ於キマシテ、小作制度改善ノ方策ニ付キマシテハ、各方面ヨリ調査劃策ヲ要スル次第ト存ジマスノデ、此等ハ本調査委員會ノ今後ノ調査研究ニ只管俟ツ次第デアリマス、願クバ委員諸君ニ於カレマシテハ今後引續キ調査ヲ御進メ下サルコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス。

茲ニ御挨拶ニ代ヘテ一言當局ノ希望ヲ申上ゲル次第デアリマス。

○議長(岡本委員長) 是ヨリ幹事ノ報告ガゴザイマスカラ御聴取リヲ願ヒマス。

○石黒幹事 幹事カラ御報告申上ゲマス。

第二回ノ總會ニ於キマシテ第一回以來ノ報告ヲ致シマス。

先ツ委員ニ變動ノアツタコトカラ先ヅ申上ゲマス、唯今岡本議長カラ御話ニナリマシタヤウニ、岡本委員長ガ田中委員長ニ代ハラレマシタ外ニ大分委員ニ變動ガゴザイマシタ、田中委員長、山ノ内委員、木村委員、湯地委員、小坂委員、望月委員、松田委員、此等ノ各位ガ任務ノ關係等ニヨツテ御罷メニナツタノデアリマス。

尙ホ委員ニ囑託又ハ任命ノアリマシタ分ハ池田委員、末弘委員、長滿委員、古屋委員、副島委員、後藤委員、赤松委員、佐藤寛治委員、三宅委員、田子委員、三浦委員デアリマシテ外ニ私モ委員ノ拜

命ヲ致シタノデアリマス、幹事ハ從來私ト小平事務官トデアリマシタ、私ノ幹事タルコトハ仍ホ舊ノ如クデアリマスガ、別ニ竹内事務官ガ幹事ニ任命セラレテ三名ト相成リマシタ。

次ニ此際幹事ヨリ調査ノ進行ノ程度ニ付イテ一應御報告ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス。

農商務省ニ於テ小作制度調査委員會ヲ設ケマシテ調査進行ヲ願ツテ居リマスト共ニ、數名ノ專任ノ職員ヲ置キマシテ、ソレノ調査資料ニナルヤウナモノノ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ方ノ調査ハ過般第一回ノ調査會ニ於テ調査スベキ事項ノ範圍ト致シテ成ルベク範圍ヲ廣ク取ツテ置イテ、小作問題ハ聯關スル所ガ廣イモノデスカラ成ルベク自由ナル調査ヲ致サウト云フコトニ御申合セガアリマシテ、十一項ノ項目ニ付イテ調査事項ヲ御定メニナツタノデアリマス、ソレニ應ジテ農商務省ノ專任ノ職員ハ調査ノ進行ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ十一ノ項目ニ付イテ簡單ニ申上ゲテ置キタイト存ジマス。

第一ノ項目トシテ地主自作及小作ノ消長ニ關スル狀況ヲ見ルト云フコトデアリマス、其ノ地主自作及小作ノ消長ニ關シマシテ、材料トナルヤウナ調べハ農商務省ニ於テ致シテ居リマス、併ナガラ是ハ事ガ主モニ統計ニ係リマスノデアリマシテ、從來取リマシタ統計ノ外ニ更ニ新ナル統計ヲ取ルコトガ困難デアアル、又年數ヲ要スルノデアリマス、大體從來ノ統計ノ結果ヲ綜合致シマシテ、消長ヲ見ル資料ヲ作ルト云フコトニナツテ居リマス、其ノ調査ハ從來統計ノ材料ガ完全デアリマセヌガ一應從來ノ

材料ヲ調査ラ了シタコトニナツテ居リマス。

第二ノ項目ハ小作慣行ニ關スル調査、此調査ハ特別委員ト御相談シテ全國各地方ニ互ツテ調査ヲナサシムルコトトナリ詳細ナル項目ガ出來ソレニ尙ホ農商務省ニ於キマシテ記載例ヲ書込ミマシテ數萬部ノ印刷ヲシテ全國ノ町村ニ配リマシテ、調査ヲ進行シテ居リマス、此調査ハ隨分詳細ニ涉リマスノデ、此室ノ後ノ方ニ一部分ヲ積ンデ置キマシタノデアリマス、極メテ浩澁ニ涉ルノデアリマス、各村デ調べルノデアリマス、之ヲ整理スルコトハ隨分仕事トシテ分量ノ多イ仕事デアリマス、目下頻ニ集マリツツアルノデ、出揃ヒマシタナラバ專ラ整理ニ掛リマシテ、成ルベク早く結果ヲ纏メテ御覽ニ入レタイト考ヘテ居リマスガ、分量ガ多イノデ餘程ノ手數ト時日トヲ要スルコトト考ヘマス、從來トシテハ大正元年ニ慣行調査ヲヤリマシタ、其ノ以前明治二十年ニモ調査シタノデアリマスガ、今回ノ調査ハソレヨリモ詳シイノデス、既往ノ調査モ此後ノ机ニ陳列シテアリマスカラ、御覽ヲ戴キタイ、尙ホ永小作デアリマスルトカ其他ノ特殊ノ小作ニ關シマシテハ特ニ調査ヲ要スルモノガアルノデアリマス、之ニハ專任ノ職員ヲ出張致サセマシテ調査ヲ致シテ居リマス、其調査ノ一部分ハ近キ將來ニ於テ印刷ニ附シテ御覽ニ入レルコトガ出來ヤウカト思ツテ居リマス、其材料ノ一部分モ此方ニ列ベテ展覽ニ供シテアリマス。

第三ノ事項ハ地主ト小作人トノ關係ニ關スル調査デ、此地主小作間ノ關係ハ近來非常ニ變ツテ參リ

マシテ、爭議ガ起ラナクテモ動モスレバ昔ノヤウナ状態ヲ維持シテ行クコトハ出來ナイト云フ様ニナリマシタ、此關係ノ調査ハ、主トシテ爭議ノ調査ト致シテ各府縣ノ爭議ノアル地方ニ職員ヲ出シマシテ特ニ詳密ニ調査ヲヤツテ居リマス、復命書ハ御覽ニ入レルヤウニ其處ニ積ンデ置キマシタカラ御覽ヲ願ヒマス、ソレノ要領ヲ印刷ニ附シマシテ、大正九年度ノ分ハ過般御手許ニ配リマシタ、同時ニ十年度ノ分モ取纏メマシテ配ル筈デアリマシタガ、ソレハ印刷ノ方ノ都合デ同時ニ御配リスルコトガ出來マセヌデ、今日御配リシタヤウナ次第デアリマス、之ヲ以テ地主小作間ノ關係ノ調査ハ大體ニ於テ了ツタト言ツテ宜シイノデアリマス、其他細々シイ調査ハ、成ル度毎ニ差上ゲテ居リマス、先ヅ大キナ爭議ノ調査ハ要領ニ掲ゲタモノデ盡キテ居リマス、勿論將來ニ於テハ尙ホ補足致シテ色々調査報告致シマセウ。

第四ノ項目ハ地主小作人ノ團體ノ事デス、コレノ調査ハ既ニ地主組合ニ關スル調査、及ビ小作組合ニ關スル調査トシテ御手許ニ差上ゲ、其後ノ小作組合等ノ増加狀況ハ時々ニ御配リシテ居ル爭議ノ調査ノ中ニ入レテ居リマス、隨ツテ今回御配リ致シマシタ十年度ノ爭議ノ調査ノ中ニモ團體ニ關スル事ヲ多々差挾ンデ掲ゲテ置キマシタヤウナ次第デアリマス、團體ニ關スル調査ハ右ヲ以テ一應結了シテ居ル積リデゴザイマス、但シ今申上ゲマシタヤウニ、小作者ノ團體ト云フモノハ是非非常ナ勢ヲ以テ發達シツツアルノデアリマス、今後ノ調査ハ決シテ怠ルコトガ出來ヌノデアリマシテ、隨分大キナ組合

ガ起リツツアルヤウナ趨勢デアリマスカラ、一應大體完了シテ居リマスルケレドモ、引續イテ調査報告致スコトガアリマセウ。

第五ハ小作人ノ經濟生活及ビ社會狀態ニ關スル調査デアリマス、此調査ハ、小作人ノ經濟狀態ヲ自作農家ト比較致シマシテ調べタコトガ此間ニアツタノデアリマス、ソレハ農商務省ノ省員ヲ各地方ニ派シマシテ大正九年度ノ農家ノ經濟狀態ノ聽取調査ヲシタノデアリマス、約五十箇町村ニ互ツテ調べタノデアリマス、併ナガラソレハ何ト申シマシテモ聽取調査デアリマシテ、サウ正確デアルトハ言ヘナイノデアリマスカラ、ソレヲ以テ満足スルコトハ出來ナイノデアリマス、故ニソレヲヤリマスト同時ニ、一方特別委員會ニ於テ、特ニ横井委員其他ノ委員ノ方ノ御盡力ヲ願ヒマシテ、農家ノ經濟ヲ記帳致シマス所ノ經濟帳簿ノ様式ヲ定メ、其取纏メ方ニ就テモ御相談ヲ願ツテ、隨分度々夜遅クマデ御面倒ヲ願ツテ様式ヲ決定致シマシテ、帳簿ヲ印刷致シマシテ百數十ノ農家ヲ二十數縣ニ互ツテ選ビマシテ今日記帳ヲ致サセテ居ルノデアリマス、是ハ決シテ是ダケノ數ヲ以テ満足スベキモノデハナイノデアリマス、將來ズツト數ヲ餘計ニシナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、一方ニ於テ經費ガアリマセヌノデ、先ヅ豫行調査ト致シテ經費ノ許ス限リニ於テ是ダケノ事ヲヤツタノデアリマス、其大正九年度分ノモノハ今日既ニ農商務省ニ到着シテ居ルノデアリマス、併ナガラ一家ノ一年間ノ經濟ノ收支ヲ記帳サレタモノヲ中ニハ隨分目茶ニ記帳サレタノヲ整然ト直シテ、全體ノ統計ヲ通覽シテ、農家

ノ經濟ノ收支ガ如何様ニナルカト云フ事ヲ御覽ニ入レルマデニ纏メルニハ隨分ノ手數ヲ要スルノデアリマス、一人ノ係リガ一家ヲ纏メルニハ一箇月ハ要スルト云フ位ノ勞力ヲ要スルノデアリマス、算盤モ當ラナケレバナラヌ、個々ノ記入ヲ考ヘテ仕分ケヲシテ寫シ直シモシナケレバナラヌト云フヤウナ工合ニ大變ニ手間ガ掛リマス、此帳簿ニ記帳スル農家モ隨分是ハ面倒デアリマス、纏メル者モ面倒デアリマス、併ナガラ段々慣レマシテ餘程此頃デハ双方トモ慣レテ居リマス、其實際ノ例ヲ其處ニ列ベテ置キマシタカラ御覽ヲ願ヒマス、若シ説明ノ御必要ガアリマヌナラバ時ヲ得テ飯岡技師カラ御話ヲ申上ゲルコトニ致シマス。

第六ノ調査事項ハ地主ノ經濟ニ關スル調査デ、之モ未完了デアリマス、大地主ノ數ノ調査ナド一ニヤツタノハ既ニ御覽ニ入レマシタガ地主ノ生活狀態ニ關スル調査ト云フモノハ非常ニヤリ惡イノデアリマス、是ハ地主ガ大キイ地主モ小サイ地主モアルノデ如何様ナ者ヲ採ツテ宜イカト云フ事ニ就テモ隨分判斷ニ苦ムノデアリマス、又地主ノ經濟ヲ實際ニ示シテ貰フト云フ事ガ非常ニ困難デアリマス、此點ハ殊ニ小作及ビ自作ニ就テノ困難ヨリモ又異ツタ困難デ、示シテ貰フ事ガ先ヅ出來ヌト云フヤウナ状態デアリマス、何トカシテ知リタイト思フノデアリマス。

第七ハ自作ト小作トノ比較ニ關スル調査デアリマスルガ、其事項ニ就テハ多少ノ調べヲシテ、嘗テ御覽ニ入レタノデアリマスガ、併シ自作農家ノ經濟事情ハ矢張小作人ノ經濟ト同ジヤウニ記帳調査ヲ

シナケレバ比較が取レナイノデ、同ジヤウナ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、随ツテ之モ調査ハ未完了デアルト云フ風ニ御承知ヲ願ヒタイノデアリマス。

第八ハ小作ニ關係ノアル法令制度ニ關スル調査、是ハ我國ノ小作ノ關係ガ規定シテアル所ノ法令又ハ判決例ト云フヤウナモノモ色々調べマシテ一應調べ了ツタノデアリマスガ、續イテ補充イタシマス。

第九ハ小作ニ關係スル諸外國ノ法令制度ノ中ニ參考トナルベキ事項、之ニ就キマシテハ既ニ調査ハ了ツテ居リマス、是ハ諸外國ニ於ケル小作法ノ正文ヲ譯出シテ印刷ヲ致シテ御手許ニ配リ尙ホ法令以外ノ制度ノ事モ附加ヘテ配附ヲ致シマシタ、併シ御承知ノ通り戰後ニ於ケル小農關係ノ法律ニ各國共著シイ變化ガ生ジテ居ルノデアリマス、ソレデ尙ホ研究スベキモノガ多々殘ツテ居ルヤウニ思ヒマス其等ノ材料ハ小平幹事ガ過般労働會議ニ參リマシタ後ニ諸國ニ出張シマシテ研究モ致シ、又材料モ持歸ツタノデアリマス、是ハ此後モ引續キヤリタイト思ヒマス、其ノ材料ノ一部分ヲ陳列シテ置キマシタカラ御覽ヲ願ヒタイ。

第十ハ農業労働者ニ關スル調査ト云フ項目デアリマス、農業賃銀労働者ニ就キマシテハ、昨秋瑞西ニ於テ労働會議ガ開催セラルルニ當リマシテ、農業労働者ノ問題ガ主トシテ議ニ上ル關係カラ特ニ取急ギマシテ、調査ヲ致シタノデアリマス、或ハ地方廳ニ調査ノ依頼ヲ致シ、又多クノ省員ヲ各地方ニ

派シマシテ實情調査ヲ致シマシタ、其結果ハ二三冊ノ冊子ニ取纏メテ既ニ御覽ニ入レテアル次第デアリマス。

ソレデ農業労働者ニ關スル調査ハ一應終了シテ居マス、但シ賃銀ノ問題ガ時々ニ於テ變ルノデゴザイマス、是等ノ點ニ關シテハ將來ト雖モ尙ホ調査ヲシナケレバナラヌト考ヘマス。

第十一ニ最後ノ項目ハ小作制度改善ニ關スル方策、之ニ關シテハ色々ノ方策モゴザイマセウガ特別委員會ノ關係カラ致シマシテ小作法案ト云フモノノ立案ヲ試ミマシタノト、小作爭議ノ調停法ノ立案ヲ致シマシタノト、自作農創設ノ制度ニ就テノ計畫ヲ試ミマシタノトガ、先ヅ主ナル事デゴザイマス以上述べマシタル所ノ各調査ヲ相當ニ取纏メマシタ上ニ於テ尙ホ右ノ外ニ特別委員會ニ於テ斯ウ云フ方策ニ就テ特ニ一ツ立案シヤウト云フヤウナ御考モ段々出マセウト思ヒマス、夫等ト相俟ツテ尙ホ多々調査立案ヲ致スベキ事柄ガアルヤウニ思ツテ居ルノデアリマスガ大體ノ調査ノ進行ノ程度ハ以上申シマシタヤウナ進度デゴザイマス、外國ノ制度及ビ農業事情ニ就キマシテノ調査ハ小平幹事ガ前ニ申シマシタヤウニ外國ニ出張致シテ親シク調べテ參ツタノデアリマスカラ、大臣ノ御招待申上タ日ニデモ時ヲ得マシテ其一部分著シイ所ヲ御耳ニ入レタイト相談シテ居リマス、ソレカラ經濟調査ニ關シマシテハ前ニ申上ゲマシタヤウニ二十數縣ニ對シテ調べテ聽取調査ハ進行シテ居リマス、之ヲモウ少シ擴大致シマシテ十分ナル數ヲ得ル様ニ擴大致シタイト云フ考ヲ有ツテ將來ノ計畫ハ立テテ居リマス

ドウカ豫算等ノ關係モ無事ニ通過シテ、サウ云フ事ガ一日モ早ク出來得レバ宜シイト云フコトヲ幹事ニ於テハ熱心ニ希望シテ居ルヤウナ次第デアリマス、各種ノ調査ハ印刷ガ出來次第御手許ニ配ツテ置キマシタノデアリマスカラ、大體御一覽ヲ得タコトト考ヘマス、將來ニ於テモ纏メ得ル材料ヲ纏メマシタナラバ印刷ニ付シテ其都度御送リヲ致シタイト考ヘマス。

農商務省ノ調査ノ進度ハ右ノヤウデアリマスルガ、特別委員會ニ於キマスル調査ノ經過ニ就キマシテハ平野特別委員長カラ御報告アリマスコトト存ジマシテ、私カラハ差控ヘルコトニ致シマス、唯特別委員會ノ御開催ハ大正九年十一月ニ第一回ノ總會ガ開カレマシテ以來今日マデ九回、毎回三日宛連日開催致シマシテ、各回トモ當初ノ申合ニ依リマシテ特別委員以外ノ委員諸君モ隨時參加致サレ、又囑託ノ人々モ參加シテ貰ヒマシテ、關係官廳ノ方々ニモ御出デテ願ヒ、非常ニ熱心ニ調査審議ヲシテ戴イタノデアリマス、九回ノ開會ノ模様ハ其都度報告ヲ各委員ニ致シテ置キマシタカラ概況ハソレデ既ニ御承知ノ通りデアリマス、是ダケノコトヲ幹事トシテ御報告申上ゲテ置キマス。

○議長(岡本委員長) ソレデハ過日御手許へ御廻シ致シテ置キマシタ即チ特別委員會デ御決定ニナリマシタ小作調停法案ヲ議題ト致シマシテ御協議ヲ願ヒタイト存ジマスガ先ヅ特別委員長ニソレニ關スル報告ヲ含メテ特別委員會ノ經過ノ御報告ヲ願ヒマス。

○平野特別委員長 特別委員會ノ經過ノ大要ヲ是ヨリ報告致シマス、特別委員會ハ唯今幹事ヨリ申上

ゲマシタ如ク大正九年十二月以降本月ニ至ルマデ九回、毎回殆ド三日間位續行致シマシテ會ヲ開イタ譯デアリマス、各回ニ於キマシテハ小作問題ニ關スル諸般ノ事項ニ就テ調査研究ヲ行ヒ來ツタノデアリマス、尙ホ引續キ今後モ續行シテ調査審議ヲ進ムル積リデアリマス、併ナガラ現下ノ狀態ニ鑑ミマシテ小作爭議ノ調停ニ關スル方策ヲ何カ樹立スルト云フコトガ最モ緊要ナルコトト認メマシテ、此處ニ小作調停法案ヲ樹立致シマシテ、特別委員會ニ於テ決定ヲ致シマシテ、今日此委員會ニ附議サレタコトト存ジマス、既往ニ於キマスル特別委員會ノ經過ニ就テハ唯今是モ幹事ヨリ申上ゲマシタ如ク其都度概要ハ各委員ニ書面ヲ以テ御報告申上ゲテ置キマシタ故ニ、今重ネテ詳シク申上ゲルコトモ如何カト存ジマシテ、其大要ヲ聊カ述ベヤウト存ジマス。

特別委員會ニ於キマシテハ大正九年十二月初回ノ會合ニ於キマシテ、曩キニ總會ノ決定サレマシタル所ノ調査事項ノ中デ次ニ申上ゲマスル五ツノ事項ニ就テ先ヅ調査ヲ進行スルコトニ認メタノデアリマス、即チ土地分配及小作農増減ノ趨勢、次ニ自作農創設制度、小作紛爭ノ仲裁制度、永小作制度、小作制度ノ改善、此五ツノ事項ニ就キマシテ調査ヲ進行シ參ツタノデアリマス、而シテ是モ唯今幹事ノ報告中ニアリマシタル如ク、總テ特別委員會ニ於キマシテハ委員會總會ノ御申合セモアリマシタニ就テ、常ニ特別委員以外ノ委員諸君、又關係ノ諸官ノ方々、囑託ノ方々等ノ御參加ヲ求メマシテ、常ニ懇談的ニ意見ノ交換ヲ致シ研究調査ヲ爲シ來ツタノデアリマス、而シテ昨年七月ノ第五回特別委員會

開催ノ後ニ瑞西ゼネバニ開會サレマシタル國際勞働總會ニ御出席ノ爲ニ横井、矢作ノ兩特別委員及ビ岡本、伊藤ノ各委員並ニ小平幹事等ノ御方々ガ歐羅巴ニ參ラレマシタニ就キマシテ其間ハ暫ク開會ヲ見合セテ居リマシタ、而シテ本年二月以來ハ委員會ヲ續行シ來ツタノデアリマス、尤モ其間ハ殘リマシタル所ノ委員幹事等ニ於キマシテ聊カ準備行爲ヲシテ置クヤウニト云フ前ノ申合セモアリマシタニ就キマシテ其準備行爲ヲ爲シ來ツタノデアリマス、先ヅ調査ヲ致シマシタ事項ノ内容ニ就キマシテ次第ニ少シク申上ゲヤウト思ツテ居リマス。

先刻五ツノ箇條ヲ列ベテ調査ノ進行ヲ圖ツタト申上ゲマシタガ、聊カ其順序ハ飛ビマスルガ、第一ニ土地分配及小作農増減趨勢、之ニ就キマシテ如何ナル審議ヲシタカト云フコトニ就テ申上ゲマス、是ハ農商務省ノ作製ニ係リマスル既往ノ統計等ヲ資料ト致シテ提出サレマシタニ就キマシテ、特別委員會ハ其資料ヲ土臺ト致シマシテ攻究ノ結果目下ノ事情ニ於キマシテハ農商務省ノ調査ノ如ク農事統計ニ依テ觀察スルノ外ハナイ、其結果大體ニ於キマシテ自作農ハ漸次減少シ小作農ガ漸次増加ヲスルト云フ傾向ノアルト云フコトヲ認メタノデアリマス、然レドモ其原因及趨勢ノ批判ハ目下調査中デアリマスル農家經濟調査ノ結果ニ基キマシテ尙ホ研究ヲ致シマス、尙又特殊ノ事情ニ就キマシテハ地方ニソレト出張ヲ致シマシテ調査ヲ行フコトデアリマセヌケレバ十分ナル研究ガ出來ナイト云フコトヲ認メマシタ、其ノソレトノ調査ノ終了ヲ待ツコトトシテ居ルノデアリマス。

自作農創設制度、ソレニ就テ申上ゲマスルガ、是モ諸外國ニ於ケル所ノ立法例及其實施ノ成績、又我國ニ於ケル府縣其他各種團體ノ施設及其成績並ニ農家經濟調査等、各方面ニ互ツテ數度研究ヲ重ネマシタ結果、自作農ノ獎勵ハ極メテ必要ナルコトト認メタノデアリマス、是ハ各委員殆ド全會一致、自作農獎勵ト云フコトハ農家ヲ本位ト致シマシテモ、亦國家本位ノ上カラ觀マシテモ必要ナルコトヲ認メタ次第デアリマスケレドモ現今自作農ノ經濟ト云フモノハ實際ニ困難デアリマシテ、其ノ數ハ漸次減少スル趨勢ニ在リマスカラ、先ヅ是ガ維持ニ必要ナル稅制ノ改善其他諸方策ヲ講ジマシテ、然ル後ニ是ガ創設問題ヲ決スルコトガ必要デアラウ、又政府トシテモ輕々シク自作農ノ創設ニ付イテ着手スルコトモドウデアラウカト云フコトヲ想像致シマス、搦テテ加ヘテ其ノ創設ニ當リマシテハ土地ノ供給ノ方法、資金融通ノ方法、其他幾多ノ解決ヲ要スル事項ガアリマスノヲ認メマシテ、今後ニ於テ漸次其ノ攻究ヲ進メテ參ラウト思ツテ居リマス。

小作制度ノ改善ニ付イテ申シマスガ、昨年瑞西ゼネバニ開催セラレマシタ第三回國際勞働總會ノ農業勞働者組合權承認問題ニ關係ガアリマスノデ、小作組合法ヲ制定スルノ要否ニ關シマシテ、農商務當局ヨリ特別委員會ノ意見ヲ求メラレタノデアリマスガ、特別委員會ハ其ノ規定ノ内容ハ小作關係ノ權利義務ニ關スル實體的ノ規定、即チ小作法ノ規定ヲドウ定ムルカト云フコトニ付イテ左右セラレル極メテ密接ノ關係ヲ持ツテ居リマスカラ、先ヅ其ノ實體法タル小作法ノ規定如何ヲ研究スル必要アリ

ト認メマシテ、其ノ研究材料トシテ幹事ニ小作法案ノ起草ヲ求メマシタ、其ノ幹事ノ草案ノ提出ヲ待ツテ是ガ審議ニ移ツタノデアリマス、小作法案ニ關シマシテハ第四回乃至第七回ニ涉リマシテ屢々改案致シマシタ上調査研究ヲ重ネマシタガ、其ノ内容ハ曩ニ各位ニ御配付致シ置キマシタ所デ略ボ御承知ノ如クデアリマス、是ハ我國小作制度ノ根本ニ關スル廣汎デ、且ツ重大ノ事項デアリマスカラ、マダ其ノ決定ヲ見ル迄ノ所ニハ到ツテ居リマセヌ、然ルニ不幸ニシテ昨秋右申上ゲマシタ幹事ノ草案ヲ改案致シマシタ研究ノ資料案ガ農商務省ノ委員會デ決定致シマシテ、總會ニモ附議サレマシタ所ノ一ツノ成案ノ如クニ新聞紙上ニ記載サレマシタ、之ニ付キマシテハ幹事カラハソレト新聞紙ニ正誤ヲ致シマシタ、又委員各位ニモ御通報ヲ致シマシタ、農商務省ヨリ各地方長官ニ通牒致シマシテ誤解ノナイヤウニ注意スル所ガアリマシタ。

右小作法案ニ付キマシテハ其ノ後研究スル所ガゴザイマシテ、尙ホ今後モ引續キ繼續シテ其ノ研究ヲ怠ラヌ考デゴザイマス、小作法案ニ付キマシテハ一應ノ審議ヲ爲シマシタ上ニ、更ニ小作組合法ニ關スル法規制定ノ問題ニ戻リマシタガ、其ノ小作組合法ヲ要スルヤ否ヤト云フコトノ決定ヲ見ル迄ニ到リマセヌ、併シ農商務當局ハ其ノ間ニ委員諸君ノ交換セラレタル種々ノ御意見ヲ、曩ニ申ゲマシタ國際勞働會議ニ於ケル農業勞働者組合權ノ問題ニ關シテ參考ニサレタノデアリマス。

尙ホ此等ノ問題ニ聯關致シマシテ農商務省ヨリ幾多内外ニ涉リマシテノ參考資料ノ供給モアリマシタ、又全國ニ涉ル詳細ナル慣行調査モ進捗中デアリマス、又土井委員ヨリ其ノ立案ニ相成リマシタ所ノ小作組合法案、及齋藤委員ヨリハ其ノ立案セラレマシタ所ノ小作保險法案ノ御説明等モアリマシテ、親シク聽取致シマシテソレモ參考ニ資シタ譯デアリマス、又岡本横井兩委員ヨリハ國際農業勞働總會ニ於ケル狀況及ビ歐洲各國ヲ御視察ニナリマシタ所ノ御感想談ヲ親シク伺ヒマシタ次第デアリマス。

次ニ永小作ノ事ニ付イテ申上ゲマス。

永小作ニ付キマシテハ其ノ特殊ナル慣行ノ性質及民法ノ規定等ノ色々ノ關係上、一般小作法ト引離シマシテ別ニ是ガ規定ヲ爲スコトノ必要ヲ認メタノデアリマス、而シテ農商務省ニ於キマシテハ其ノ詳細ナル調査ヲ進捗サレツツアルガ故ニ、其ノ終了ノ上デ幹事ノ法規立案ガアリマスノヲ待ツテ審議ヲ進メル豫定デ居リマス。

次ニ小作紛争ノ仲裁制度ニ付イテ申上ゲマス。

全國各地ニ於ケル所ノ小作争議ノ狀況ヲ明カニ致シマスル爲メニ、農商務關係ノ職員ノ視察報告、又岐阜縣ノ地主坪井秀氏ノ談話ナドヲ聽取リマシテ、尙各種ノ資料ヲ寄セマシテ是ガ調査ヲ致シマシタガ、現下ノ狀態ハ急速ニ變化ヲ來タシマシテ小作紛争ノ數ナドモ非常ニ急速ノ勢デ増加致シマシタ又其性質モ惡化セントシ來ツテ居リマス、故ニ此儘之ヲ放置スルコトモ出來マセヌ事情デアルトツク

ヅク考ヘマシテ、先ヅ以テ小作爭議ノ調停ニ關スル所ノ方策ヲ講ズルノガ目下ノ急務デアルト云フコトヲ認メマシテ、本年二月ニ第六回ノ特別委員會ニ於キマシテ、其ノ參考ノ爲メニ司法省ノ當局カラ致シマシテ借地借家調停法ニ關スル説明ヲ第一ニ聽取リマシテ、更ニ幹事ヨリ提出致シマシタ所ノ諸外國ニ於ケル調停制度ニ關スル立法例ナドモ調査致シマシタ上、大體我借地借家調停法ト同様ノ趣旨ニ依ル小作調停法ヲ制定スルコトガ適當デアルト云フコトヲ認メマシテ、其ノ要領ニ關スル特別委員會ノ意見ヲ定メテ、幹事ヲシテ該法案ノ起草ヲ致サセマシタ、其ノ起草ヲ致サレマシタ案ニ就イテ慎重審議ノ上、別冊ノ如ク決定ヲ致シマシタ、而シテ委員長ニ總會ヲ御開キ下サルコトヲ御願ヒ致シ總會ニ附議サレマシテ來ル議會ニ之ヲ提案セラレンコトヲ望ミマシタ、尙ホ其ノ實施ニ伴フ經費モ必要デアリマスカラ、是ハ關係官廳ニ於テ速ニ豫算ニ計上セラルルヤウニ處置ヲ執ラレンコトヲ要望スルノ議ヲ全會一致ヲ以テ特別委員會ニ於テハ議決致シマシタ次第デアリマス、仍テ本特別委員長ハ委員長ニ對シマシテ右要望及報告ノ手續ヲ執ツタ次第デアリマス。

以上ノ如ク大略デアリマスルガ、御報告ヲ致ス次第デアリマス。

○議長(岡本委員長) 委員長ノ御報告ニ對シテ御質問ガゴザイマセヌナレバ小作調停法案ノ内容ニ就イテ幹事ヨリ説明ヲ致シタ方ガ都合ガ好イト考ヘマス。

○矢口委員 委員長ニ質問致シマスガ、大正十一年八月十四日ニ小作調停法ノ幹事ノ私案ト云フモノ

ヲ御廻シニナリマシタ、併シ今手許ニハ特別委員會ノ決議ヲ經タル小作調停法案ト云フモノガ參ツテ居リマス、是ハイツ特別委員會ヲ御開キニナリマシテ唯今原案トナツテ居ルモノガ出來タノデアリマスガ一寸伺ヒマス。

○平野特別委員長 過般委員各位ニ御配付致シマシタ所ノ案ハ幹事ノ私案デアリマス、是ハ特別委員會デマダ決定ヲシテ居リマセヌ案デ、ソレヲ御配付申上ゲタノデアリマス、ソレカラ屢々特別委員會ニ於テ改案ヲ致シマシテ、其ノ改案ノ都度各委員ニ御配付申上ゲタコトト存ジテ居リマス、サウシテ昨日最後ノ特別委員會ヲ開キマシテ種々修正ヲ致シマシタ所モゴザイマス、ソレニ依ツテ初メテ特別委員會ノ成案ト云フコトニナツタ次第デアリマス。

○矢口委員 サウスルト八月十四日ニ出シタモノハ幹事ノ私案デアツテ、唯今手許ニ在ルモノガ特別委員會ノ成案ナリト解釋シテ宜シウゴザイマスカ。

○平野特別委員長 左様デゴザイマス。

○議長(岡本委員長) 他ニ御質問ガゴザイマセヌナレバ幹事ヨリ小作調停法案ノ内容ノ大體ニ就イテ説明ヲ致シタ方ガ便利ト考ヘマスカラ左様致シマス。

○石黒幹事 ソレデハ特別委員會デ御決定ニナリマシタ調停法案ノ大要ヲ私カラ申上ゲマスガ其前ニ只今矢口委員カラ特別委員長ニ對スル御質問ガアリマシタガ、過般御配付致シマシタモノハ私案トナ

ツテ居ツテ、ソレト今日出シタモノトドウ云フ關係ガアルカト云フ事ハ、委員長ノ御答辯ノ通りテ過般配リマシタノハ幹事ガ立テタ案デ種々審議訂正ノ上大體前回ノ特別委員會デ御認メニナリマシタノデアリマスガ、未ダ御決定ニナツテ居ラナカッタモノヲ御配リシタノデス、ソレハ大體ニ於テ變リガナケレバソレニ就テ豫メ充分御研究御考ヘ置キテ願ツタ方ガ宜カラウ、總會ニ御出デニナツテ始メテ案ヲ出シテ直チニ議シテ戴クト云フコトハドウデアラウカト云フノデ一應ノ御審議ヲ願ツタモノヲ豫メ御覽ニ供シタ次第デアリマス、ソレデ今日御配リ致シマシタノガ最後ノ特別委員會デ御決定ニナツタ案デアリマス。

尙ホ今日配付致マシタ案ニ付テ訂正ヲ願フ箇所ガゴザイマスカラ一應申上ゲテ置キマス、ソレハ第二條ノ「前條ノ調停ノ申立アリタルトキハ市町村長又ハ郡長ハ遲滯ナク之ヲ裁判所ニ送付スルコトヲ要ス」トアリマス其「送付」ノ下ニ「且町村長ハ郡長ニ郡長ハ町村長ニ通知」ノ文字ヲ加ヘテ戴ク即チ「之ヲ裁判所ニ送付シ且町村長ハ郡長ニ郡長ハ町村長ニ通知スルコトヲ要ス」ト云フ風ニ御訂正ヲ願ヒタイノデス、是ハ印刷ヲ極メテ急速ノ間ニヤツタノデ落シマシタ。

小作調停法案ハ、只今特別委員長カラ御話ノアリマシタヤウニ、特別委員會デハ大體ニ於テ我國ノ前議會デ制定ニナリマシタ借地借家調停法ニ據ルト云フ方針デアリマシタ、借地借家調停法ナルモノハ我國ニ於ケル法律ト致シマシテハ極メテ新ラシイ形デ、極メテ軟カニ出來テ居ル、ソレガ丁度良イ

ヤウニ思フガ故ニ、大體其趣旨デ立案スルヤウニト云フコトデ幹事ガ立案ヲ命ゼラレマシテ其案ヲ御審議願ウタノデアリマス、ソレ故ニ大體我國ノ新ラシイ借地借家調停法ニ據ツテ居リマスルケレドモ、併ナガラ農業ノ爭議ニハ特別ノ色彩ノアル事項ガ澤山アリマシテ、借家借地ノ關係ト違ツテ居ル所ガ多々アリマスルガ故ニ、其等ニ關シテハ吾々ハ因ヨリ農業ノ爭議ニ適當デアルヤウニ變ヘ、若クハ獨特ノ規定ヲ致シタノデアリマス。

此新ラシイ借地借家調停法ノ規定ノヤリ方ト云フモノハ極メテ新ラシイノデ、隨分大キク大體ニ就テ規定ヲ致シテ、色々ナ法理ノ精シイ議論等ニ至リマスト細カイ所ニハ互ラナイト云フヤウナ主義ヲ採ツテ從來ノ法律ノ規定ノ致シ方トハ趣ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、其ノ借地借家調停法ヲ參照致シマシタ結果、隨ツテ小作調停法案ニモサウ云フ箇所ガ多々アルノデアリマス、其等ノ事ニ就テ色々御議論モ起リマセウシ、又幹事ニ於テ研究ガ足リマセヌデ御答ヘノ出來ナイ事モアラウカト考ヘマサガ、サウ云フ事ニナリマスルト或ハ司法當局ノ方カラ御述ベテ願ヒ度ク思フノデアリマスガ兎ニ角大體ノ事ヲ私カラ申上ゲテ御質問ニ應ジタイト思ヒマス、前キニ特別委員長ノ御報告ニモアリマシタヤウニ、目下爭議ガ頻發スル狀況ガ打棄テテ置ク譯ニイカヌ、一方ニ於テ色々根本的ノ方策ヲ研究シ工夫スルト同時ニ、一日モ早ク此爭議ニ就テハ何等カノ施設ヲシテ置カナケレバナルマイルト云フノデ特別委員會ガ茲ニ先ヅ小作調停法案ヲ制定サレタ譯デアリマス、ソレ故ニ爭議ノ根本的ノ解決ノ施設デ

アルトハ特別委員會デモ認メテ居ラナイノデアリマス、勿論調停法デアル以上ハ爭議ノ在ルコトヲ前提トシテ居ル、其在ル所ノ爭議ヲ成ルベク宜ク調停スベキ事ニ就テノ方法ナリ機關ナリノ規定デアリマス、故ニ之ヲ以テ小作問題ノ根本的解決ヲ致スモノデアルトハ考ヘラレナイノデアリマスガ、苟モ爭議ノ在ル限リニ於テハ、斯ノ如キ機關方法ヲ規定シテ、新ラシイ施設ヲシタナラバ其爭議ノ解決ニハ有力デアラウト特別委員會デ認メラレタノデアリマス。

小作調停法ニ於テハドウ云フ風ニ争ヲ取扱フカト申シマスルト、小作料其他小作關係ニ付キ爭議ヲ生ジタ場合ニハ茲ニ調停法ニ依ツテ調停ヲ申立ツルコトガ出來ル、其場合ニ於テ當事者ハ市町村長デモ宜シイシ或ハ郡長デモ宜シイガ、ソレヲ經マシテ地方裁判所ニ調停ノ申立ヲスル、或ハ又地方裁判所ニ直接調停ノ申立ヲ爲シテモ宜シイ、申立ヲ爲シ得ル場所ヲ成ベク便宜ニ何處ニデモ爲シ得ルヤウニ規定シタノデアリマス。

ソレカラ次ニ、此申立ガアリマシテ裁判所デ之ヲ受理致シタ場合ニ於テハ調停委員會ヲ開クコトヲ要スル、サウシテ調停委員會ガ調停ニ當ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、調停委員會ノ組織ノコトハ後ニ申上ゲマス、併ナガラ裁判所ハ調停委員會ヲ開イテ其調停ヲサセル外ニ、尙ホ他ニ適當ナ人ガアツタナラバ、例ヘバ村ニ在ル寺ノ住職デアルトカ其他德望アル篤志家等ノ中ニ適當ナ者ガアルト認メタ場合ニハ裁判所ニ調停ヲ申立テ來テモ裁判所ガ調停委員會ヲ開カナイデ、先ヅソレヨリモ

其等ノ人ヲシテ先ヅ調停ノ任ニ當セルト云フ方針ヲ執ツテ行クコトニナツテ居ルノデアリマス、從來ノ小作爭議ニ就キマシテハ、或ハ町村長デアルトカ、或ハ寺ノ住職デアルトカ、或ハ其他ノ有志家等ガ間ニ這入リマシテ、又區長サントカ署長サントカ學校ノ校長サング這入ツタリシマシテ宜イ結果ヲ收メテ居ルモノモ少クナイ、ソレデ大部分ノ問題ハ片付キツアルノデアリマス、ソレヲ總テ調停法ニ依ラセルト云フ主義デハ毛頭ナイノデアリマシテ、其等ノ調停ハ勿論今迄ノ通り行ハセルベキモノデアルト認メテ居ルノデアリマス、唯其等ノ調停ニ一步ヲ進メテ、モウ少シ何等カノ力ノアル調停ヲ相當ノ形式ヲ履ンダ機關ニ於テヤラセルコトガ爭議ノ解決ノ上ニ於テ必要デアルト云フノガ特別委員會ノ本法案ヲ定メラレタ所以デアリマシテ、特別委員會ニ於テモ現ニ行ハレテ居ル所ノ調停ト云フモノハ無論此後ニ於テモ行ハルルモノ行ハルベキモノト認メテ居ル譯デアリマス、故ニ調停法ガ出來テソレ故裁判所ニ調停ノ申請ヲシテ來タト云ツテモ、其地方ニ調停者トナルベキ適當ナル人ガアルト認メタ時ニハ、先ヅ成ベク其人達ニ調停ヲサセルト云フ方針ヲ執ル、併ナガラ、ソレデハ迎モイクマイ調停委員會ヲ開イテヤツタ方ガ良カラウト認メタ場合ニハ調停委員會ヲ開イテヤル、斯ウ云フ建テ方ニナツテ居ルノデアリマス、裁判所ガ調停ノ申立ヲ受ケマスト其處ニ效力ガ生ジマス、ソレハ若シ其爭議ノ事件ガ既ニ裁判所ニ繫ツテ居ル事件デアツタナラバ、其訴訟ノ進行ヲ一時中止シマス、裁判所デハ正式ノ裁判ヲヤル、片方デハ調停ヲヤルト云フコトデアルト云フト、裁判ノ結果ト調停ノ結果ト

ガチャンボンニナツタトキニ困リマスカラ此ノ如キ規定ガアルノデアリマス、ソシテ成ベク調停ノ方
 デ纏メテ行カウト云フノデアリマス、ソレカラ義務ノ回避、即チ調停ヲ申立テタナラバ訴訟ヲ中止ス
 ルトカ手續ヲヤツテ居ル間ハ、小作料ガ決マラナイトカ云フコトカラ單ニ義務ヲ回避スルト云フヤウ
 ナ目的、其他ノ色々不當ノ目的ヲ以テ調停ノ申立ヲスル即チ本當ニ調停ヲ受ケル氣ガ無クテ申立テ
 ト云フヤウナコトガアツテハ、徒ニ手數ヲ掛ケテ宜シクナイノデアリマスカラ、サウ云フ事ガ明カニ
 ナツタ場合ニハ、裁判所モ亦調停委員會モ之ヲ却下ヲ致シ調停ヲシナイトコトガ出來ルコトニナツテ
 居テ、是デ以テ徒ニ調停ノ申立ヲスルコトヲ防イデ居ルノデアリマス。

次ニ調停委員會ト云フモノハドウ云フモノデアルカト申シマス、是ハ調停主任ガ一人ト調停委員
 ガ二人以上ヲ以テ組織ヲ致スコトニナツテ居リマス、即チ最少數ニ於テ三人ト云フコトニナツテ居ル
 ノデアリマス、委員ヲ二人以上ト致シマシタ所以ハ爭議ノ事件ガ大モアリ小モアリ、又難易ガアリマ
 ス故ニ、適當ナル人數ヲ調停主任ニ於テ決定スルコトニナリマス、調停ノ主任ニハ判事ガ之ニ當リマ
 ス、地方裁判所ノ所長ガ判事ノ中ニ於テ之ヲ命ズルコトニ致シテアルノデアリマス、調停委員ハドウ
 云フ人ガナルカト申シマス、當事者ノ合意ヲ以テ彼ノ人ニ調停ヲシテ貰ヒタイト居フヤウニ地主側
 カラモ小作側カラモ推薦セラレタ人ナラバ、其人ハ極メテ調停ニハ適當ナ人ト思ハレルノデアリマス
 カラソレヲ委員ニスル、尙ホ其外ニ調停主任ニ於テ調停ヲ致スノニ適當ト認メタ者ニ調停委員ヲ選定

スルコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ此調停主任カラ指定ヲサレテ調停委員トナル人ニナツテ見
 ルト調停ノ事ハ御承知ノ通りニドチラノ側カラ云ツテモ、兩方ヲ折合ツテ話ヲ纏メル役デアリマスル
 カラ、ドツチノ方カラモ希望通りニハ往カナイノデアリマス、殊ニ小作ノ問題ハ、動モスルト怨マレ
 テ甚ダ嫌ヤナ目ヲ見ルト云フヤウナ虞モアルノデアリマスカラ、餘リ好マシイ仕事デナイカラ甲モ斷
 リ乙モ斷ルト云フヤウナコトガアツテハ甚ダ困ルノデ、指定セラレタル者ハ正當ノ事由ガ無クシテハ
 之ヲ辭スルコトガ出來ナイト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、此點ノ如キハ是ハ借地借家調停法
 ニハ無イノデアリマシテ、農業ノ爭議ガ特別ニ關係モ廣ク且ツ調停者タルコトヲ人々ガ欲シナイコト
 ガ多カラウト思ハレルノデアリマスカラ、特ニ規定ヲシタノデアリマス、地方裁判所ノ判事ガ調停主
 任ニナリマシテ調停ヲ進メテ行クコトニ致シマス、市町村長又ハ郡長ガ意見ヲ有ツテ居ル際ニソレ
 ヲ陳述スルコトガ調停ニ參考ニナリマス、ソレヲ聽ク機會ヲ得シムル爲ニ市町村長又ハ郡長ハソレヲ
 經テ調停ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ遲滞ナク之ヲ裁判所ニ送付ハ致シマスルガ、其際ニ自己ノ意
 見ヲ之ニ付スルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデアリマス、尙ホ小作ノ爭議ガ數箇ノ裁判所ノ管轄
 ニ跨ルヤウナ大キナ場合モ無イトハ限ラナイノデアリマスカラ、夫等ノ數個ノ裁判所ニ互ツタ場合ノ
 爭議ニ對スル管轄ノ規定モ設ケテアルノデアリマス、又調停委員會ハ調停主任ガ爭議ノ實情ニ鑑ミテ
 適當ダト思フ所へ出掛ケテ行ツテ之ヲ開クコトニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ其隣村ノ寺院ニ於

テ之ヲ開クトカ或ハ其村ノ役場ニ於テ之ヲ開ク場合モアリマセウシ、色々適當ナル場所ニ出掛ケテ行ツテ之ヲ開クト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、地方裁判所ニ出掛ケテ行ツテ調停シテ貫フト云フコトハ困ル、又不便デアリマセウガ便宜ノ處ニ出掛ケテ行ツテヤルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、是モ借地借家調停法ニハ無イコトデアリマシテ、農村ノ實情カラ必要ナル規定ト考ヘラレタ次第デアリマス、調停委員會ハ調停ノ爲ニ當事者ヲ呼出シマシテ、サウシテ成ベク當事者ガ膝組ミデ以テ話ヲ纏メルト云フ主義ヲ執ツテ居ルコトハ借地借家調停法ト同ジコトデアリマスガ、若シモ正當ナ事由ガ無クシテ出頭ヲ拒ムトキニハ制裁ヲ附シテ居リマス、ト云フノハ膝組デ話ヲシテ見レバ割合ニ話ガ早く纏ルノヲ出テ來ナイ爲ニ話ガ纏ラナイト云フコトガアルノデアリマス、出テ來テ主張ガ各各違ツテ纏ラナイモノハ如何トモ致シ方ガアリマセヌカラ、ソレハ調停ガ成立タヌモノトシテ別レルヨリ仕方ガアリマセヌケレドモ、期日ヲ期シテ委員會ヲ開ク、其處ヘ出テ來イト云フトキニ出テ來ズシテ其爲ニ成立タナクナツテシマウコトハ、極メテ遺憾デアリマスカラシテ、必ズ出テ來ルダケハ來サセルト云フ方法ヲ特ニ規定シタノデアリマス、ソレカラ已ムヲ得ナイ時デナケレバ代理人ヲ出スコトガ出來ヌ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ借地借家ノ關係ニ於テモ成ベク本人出頭ト云フトノ主義ヲ採ツテ、俗ニ云フモグリ代言ト言フヤウナ者ガ其間ニ入ツテ金モ掛カリ、事柄モムヅカシクナルト云フヤウナコトガナイヤウニト云フ主義ヲ採ツテ居リマス、併シ大キナ地主ニナルト寧ロ番

頭サンデナクテハ話ガ分ラヌト云フコトモナリマセウシ、或ハ數箇所ニ地所ヲ有ツテ居ルト云フヤウナ人が遠イ所ニ呼出サレルト云フコトハ事實上行ケナイト云フコトガアリマセウカラ、已ムヲ得ザル場合ニ於テハ代理人ヲ認メルト斯ウ云フコトニ致シテアリマス。

尙ホ調停委員會ハ當事者以外ノ利害關係人モ參加ヲサセテ調停ヲスル、其者が參加ヲ承諾スルトソレガ當事者ニナツテシマツテ、同一ニ話ガ纏ルナリ纏ラナイナリ進行致スト云フヤウニシテアルノデス、其他證人ノ取調トカ鑑定トカ證據調トカハ訴訟法上ノ規定ニ依リマシテ調停委員會ハ爲スコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス。

ソレカラモウ一ツ農業關係トシテ特ニ規定ヲシナケレバナラナカッタ事項ガアルノデアリマスガ、ソレハ當事者ガ多數デアルト云フコトヲ特ニ想像致サナケレバナラヌ、借地借家ノ如キモ勿論多數ノ場合ガアリマセウケレドモ、段ガ違フノデアリマシテ、地主側ニ於テハサウ澤山デナイコトガアリマセウガ、地主側ガ澤山デナケレバナイ程小作側ガ澤山デアルト云フヤウナ事情モアルノデアリマス、即チ大地主程小作人ノ方ガ數ガ多イト云フコトニナリマスカラ、ドノ途當事者ノ一方又ハ双方ガ非常ニ多數デアルト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、其際ニ當事者出頭主義デ双方當事者ガ是非出テ來ナケレバナラヌト云フコトニナルト調停ノ場所ガ小作人ノ多勢ノ爲ニ壓倒サレルコトニナリ、話合ヲスル上ニモ實際ニ話合ガ纏マラヌト云フ風ニナラウト思ハレルノデアリマス、現今何等ノ規定無クシテ

行ハレテ居ル所ノ調停ノ實際ヲ見マシテモ、必ズ小作人側ニ於テハ總代ヲ出シテ、事ノ掛合ヲ致シテ居ル次第デアリマス、又調停ニ入リマシタ所ノ町村長ナリ其他ノ人々ガドウ云フ風ニヤツテ居ルカト云フト、必ズ大勢デヤツテ來テハイカヌ總代ヲ出シテ話ヲ纏メナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウニヤツテ居ルノガ通例デアリマス、是等ノ實情カラ致シマシテモドウシテモ多勢デアルコトヲ考ノ中ニ置カナケレバナラヌカラ、其場合ニハ當事者ノ中カラ總代ヲ選定スルコトヲ命ズルコトガ出來ルコトトシ其總代ハ調停ニ關シテ當事者ヲ一切代表スルコトノ權限ヲ認メテ居ルノデアリマス、併ナガラ當事者ヲ代表スルニ不適當ダト裁判所又ハ委員會ガ認メタ場合ニハ之ニ代ルベキ總代ノ選定ヲ命ズルコトニ致シテ居リマス、尙ホ總代ノ總代タルノ權限ヲ證明スルニ足ル丈ノ書面ハ出サセルコトニシナイト、一遍選ンダ總代モ都合ノ良クナイ時ハ吾々ハ何モ任セタノデハナイト云フ様ナコトガ屢々爭議ノ實例ニ於テ唱ヘラレルノデアリマスカラ、其書面ヲ以テ證スルダケノ材料ヲ提出スル必要ハ法規ニ於テモ規定シタノデアリマス、是等ハ又農業爭議ニ特有ナ規定ノ一ツデアリマス、尙ホ調停委員會ハ調停ノ爲ニ必要ナル處分ヲ命ズルコトガ出來ルト云フ規定ヲ設ケテアリマス、例ヘバ小作料ノ爭ガアル際ニ調停ハ進行スルガ、マアノ角小作料ハ農業倉庫ナラ農業倉庫ニ供託ヲシテ置ケ、或ハ調停ヲ以テ極メルコトニスルカラ兎ニ角刈入レヲヤツテ置イタ方ガ良カラウト云フコトガ間々アリマスカラ、サウ云フ命令ヲ爲スコトガ出來ルト云フノデアリマス。

ソレカラ調停委員會ニ於ケル調停ノ手續デアリマスカ、是ハ一切公開ヲ致シマセヌ、借地借家調停法ノ場合ト同様デアリマス、併ナガラ相當ト認ムル者ニハ傍聽ヲ許スコトガ出來ルノデアリマス、町村長ト云フヤウニ相當ニ關係モ深ク又傍聽セシメテ有益ナ人ニハ聽カセマスカ、一般ニ公開ヲ致スコトハ調停ヲ進行スルニ付テ妨ゲニナル嫌ヒガアルカラ之ヲ禁ズルノデアリマス。

又調停委員會ニ於テ評議ヲ致シテ色々決定ヲ致ス場合ハ秘密トスル、而シテ之ニ違反シテ秘密ヲ破ツタ者ニハ制裁ヲ課スルノデアリマス、評議ノ嚴秘、之ニ對シテ制裁ヲ附スルコトハ特有ノ規定デアリマス、調停委員ガ委員會ノ評議ニ於テ色々發言ヲ致シ、賛否ノ意見ヲ現ハシタコトヲ評議ニ加ハリマシタル他ノ委員ガ外ニ出テ漏シマスト、多クハ田舎ニ居住スル者デアアル關係上思ハヌ迷惑ヤ危害ヲ加ヘラルルコトガナイトハ保シ難イ、サウ云フ虞ガアリマスト委員會ニ於ケル評議ガ公正ニ自由ニ行ハレルコトニ非常ニ妨ゲニナルノデアリマス、故ニ委員會ニ於ケル評議ハ總テ嚴重ニ秘密ニシ、罰則ヲ以テ其嚴秘ヲ守ラセルコトニシタノデアリマス。

ソレカラ調停委員會ノ決議ハ調停委員ノ過半数ニ依ツテ決シマスケレドモ、同數ノ場合ニ於テハ調停主任ガ之ヲ決スル、是ハ借地借家調停法ト同ジ事デアリマス。

調停委員會ガ當事者カラ請求ガアリ又必要ト認ムル場合ハ郡長市町村長小作監督官——是ハ新ニ設ケルノデアリマスカ——小作監督官ノ意見ノ陳述ヲ求メルコトガ出來ル、又其ノ他ノ者ト雖モ適當ト

認ムル者ニ對シテ意見ヲ求ムルコトが出来ルノデアリマス、此規定モ小作爭議ニ特ニ必要ヲ認メルノデアリマス、借地借家關係ニ於テハ特ニ委員以外ノ評價人鑑定人或ハ從來ノ慣行ニ付イテノ判斷等ニ關シテ特別ニ町村長郡長或ハ密接ノ官廳等ノ意見ヲ徵スル必要ガ餘リ無イノデアリマスケレドモ、小作爭議ニ付イテハ此等ノ必要ガ非常ニアリマスカラ、即チ此ノ如キ者ノ意見ノ提出ヲ求メ得ルコトニ致シタノデアリマス。

調停委員會ノ調停ニ關シマシテハ裁判所書記ガ調書ヲ作りマシテ當事者ニ送付致シマス、ソレデ呼出サレタ期日ニ於テ旨ク話合ヒガ成レバ宜シイ、尤モ呼出サレタ期日ハ一日呼出シテ其ノ日中ニ決メルノデアリマセヌ、大體話シテ尙ホ考ヘテ吳レト云フ場合モアリマセウ、又總代トシテ來タ場合ニハ能ク相談シナケレバ返事が出来ナイコトモアリマセウ、サウ云フ場合ニハ何日位ニ意見ヲ纏メテ來イト云フ適當ナ時期ヲ話シ合ツテ、更ニ期日ヲ定メテ再開スル場合モアリマセウ、或ハ再三開會スル場合モアラウト思ヒマスガ、兎ニ角委員ノ前ニ於キマシテ話合ヒヲ互ニサセ、調停ヲ成立ツヤウニ周旋スルノデアリマスガ、其ノ周旋ガ效ヲ奏シテ期日ニ調停ガ成立チマスレバ、ソレデ調停ハ成立シタ譯ニナリマスガ、何遍ヤツテ見テモドウモ片一ツ方ガ或點迄往クト讓ラナイデ事ガ纏ラヌト云フ場合ニソレ丈ケデ調停ヲ思ヒ切ツテシマツテ追ツ放スノハ惜シイノデアリマスカラ、調停委員カ調停條項ヲ退イテ協議決定シテ、其ノ調停條項ノ正本ヲ當事者又ハ總代ニ送ルノデアリマス、其ノ調停條項ヲ送

ラレテ一箇月ノ間ニ當事者ノ何レカノ一方ガ異議ヲ申立テマシタナラバ調停ハ不調ニ終ルノデアリマス、併シ若シ双方ノ異議ヲ申立テナカツタナラバ調停條項ノ通りニ決定シタモノト看做サレテ、恰モ期日ニ於テ話合ヒガ成立ツタヤウニナルノデアリマス、ソコデ一箇月ノ期日ハ田舎デハ短クハナイカト云フ御意見モ特別委員會デ出マシタカラ延バスコトが出来ルトシタノデアリマス、此延期モ農村特有ノ事情カラ來タ規定デアリマス。

調停ガ成立チマシタトキ又ハ調停ガ成就シタモノト看做サレタ曉ニ於テ始メテ裁判所ガ正式ニ出テ參リマシテ、裁判所ハ調停主任タル判事ノ報告ヲ聽キ、其ノ成立シ又ハ同意モラレタル調停ニ關シマシテ之ヲ認ムルカドウカト云フ決定ヲ致スノデアリマス、裁判所ガ決定ヲスルトキニハ其ノ調停ガ特ニ不都合ナ調停デアルト云フ場合デナケレバ之ヲ否認スル決定ハ致サレナイ、ソシテ認可ノ決定ヲ裁判所ガ致シタナラバ其ノ調停ハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ持チマシテ直ニ強制執行ヲ致スコトノ出來ル債務名義トナルノデアリマス、斯様ニ致シマシテ調停ニ特殊ノ效力ヲ附シテ結末ヲ結ンデ居ルコトガ此調停法案ヲ特ニ設ケタ主ナル意味ノ一ツニナルノデアラウカト思ヒマス、尙ホ調停手續ガ終リマシタ際ニハ主任ガ市町村長ニ其ノ顛末ヲ告ゲテ、ソレ等ノ人達が出来上ツタ調停ガ實際ニ行ハレルコトヲ實際ニ就イテ尙ホ努力致スノデアリマス。

ソレカラモ一ツ小作爭議ニ就イテ特別ナル規定ヲ致シマシタノハ調停ノ經過ヲ調停主任ガ必要ト認

ムルトキハ公表スルコトが出来ルト云フコトデアリマス、調停ガ將ニ成ラントシタノニ、片一方ガドウシテモ應ジナカツタ爲ニ調停ガ不成立ニナツタト云フ様ナ場合等ニハ社會ノ公正ナ批判ヲ仰グ爲ニ事ノ顛末ヲ明ニシテ爭議ガ大キクナルコトノ責任ガ何レニ在ルカト云フコトヲ世ノ中ニ發表スルコトガ必要ナ場合ガアラウト思ヒマス、其ノ必要ヲ主任ガ認メタ際ニハ經過ノ大要ヲ——勿論評議ノ秘密ヲ公表スルコトハ出来マセヌガ——公開セザル手續デアリマスカ、~~或~~原權ノアル者ノ外ニ知レナイ譯デアリマスノデ、其ノ公表セラレザル手續ニ於テ双方ノ執ツタ經過ノ大要ヲ發表スルコトが出来ルト云フ規定ヲ設ケタノデアリマス、是ハ地方的ニ普遍ノ性質ヲ持ツテ居ル小作關係ニ對シテ必要デアラウト云フ譯デ之ヲ規定シタノデアリマス。

尙ホ調停ニ必要ナル者トシテ調停ヲ命ゼラレタルトキニ日常宿泊料ヲ給スルコト、又調停費用負擔ノコトニ關スル細カイ規定ヲ載セテアリマス。

以上ニ於テ大體ノ要點ヲ申上ゲタノデアリマス、尙ホ細カイ事ハ個々ノ條文ニ這入リマシテ何ゾレ御審議ガアルト存ジマスカラ、其ノ場合御質問ニ應ジテ御答スルコトニ致シマス。

○矢口委員 先刻私ハ質問ヲ致シマシタガ幹事ノ私案ヲ配付セラレタルヲ非ナリト言フ意味ヲ申シタノデアリマセヌ、寧ロソレニ依ツテ便ヲ得タノデアリマス、唯其ノ經過ヲ質問シタ譯デアリマス、ソコヲ御承知ヲ願ヒマス。

ソレデ大體ノ事ヲ伺ヒマス、私ハ委員長或ハ幹事カラ御答ヲ得レバ宜シイノデス、一寸伺ヒマスガ、假リニ調停法ガ制定サレタ曉ニハ小作法トハドウ云フ關係ニナルカ、斯ウ云フノデアリマス、是ハ小作法ノ一部トナルモノデアアルカ、或ハ補助法トシテ併存シテ往クノデアアルカ、其ノ關係ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○石黒幹事 御答致シマス、小作法ヲ將來制定スルトスレバ此調停法ハソレニ對シテ如何ナル關係ヲ持ツカト云フ御尋デアリマス、大體先ヅ小作法ヲ拵ヘテ然後ニ小作調停法ガ出ヅベキガ順序デアルト云フ意見モ既ニアツタノデアリマス、併ナガラ必ズシモ小作法ト云フモノヲ先ヅ拵ヘテ然後ニ小作調停法ト云フモノヲ拵ヘナケレバイケナイト云フ風ニモ限ラナイ、外國ノ立法等ニ於テモ實質上結局權利義務ニ影響スル實體規定ガ一二箇條、中ニ這入ツテ居ルコトハ這入ツテ居マスガ、主タル法文ガ、仲裁又ハ調停ト云フヤウナ事ノ方法或ハ機關ノ法規ヲ先ニ立テタ新ラシイ立法例ハ少クナイノデアリマス、其等ノ立法例ヲ有シテ居ル國々ニ於テハ、寧ロ仲裁トカ調停トカノ方法又ハ機關ニ關スル組織法ヲ定メテ、ソレニ依ツテ活キタル調停ヲヤツテ參リマシテ、其仲裁調停ノ事例ガ段々澤山集マツテ自然ニ其地方ニ適當ナル一準則が出来、延イテハ權利義務ヲ規定スル所ノ一國ノ根本法律ヲ定ムル上ニ於テ、一定ノ根據材料ヲ與ヘルコトニナルノデアアル、サウ云フ風ニシテ行クコトガ立法ノ適當ナル發達ヲ促ス所以デアルトスル傾向ガアルヤウニ承ツテ居マス、劈頭ニ、小作調停法案ハ大體借地

借家調停法ノ趣旨ト同ジヤウナ趣旨ヲ以テ拵ヘタト云フ事ヲ申上ゲマシタガ、左様致シマスナラバ、借地借家法ガ一年前ニ制定セラレテ、然ル後ニ借地借家調停法ガ前議會ニ成立シタト云フコトデアリマスカラ矢張小作人ノ權利義務ノ規定ヲ致シテ居ル所ノ實體法ガ先ニ出デ、然ル後ニ調停法ガ出來ル、若クハ尠クトモ同時ニ出來ルト云フ事ガ適當デアラウト云フ御意見ハ一應御尤モデアアル、併シ前ニ申上ゲマサウナ事例ガ新ラシイ外國ノ立法ノ傾向ニモアリマスシ、又借地借家法ノ關係ニ於テモ、例外デハアリマスルケレドモ、借地借家法ノ施行セラレテ居ル範圍ト其ノ調停法ノ施行セラレテ居ル範圍トハ必シモ同ジデハナイ、前者ノ範圍ヨリモ後者ノ範圍ノ方ガ廣イノデアリマス、其等ノ事カラ見マシテモ、先ヅ調停法ヲ設ケルト云フコトハ、小作法ヲ制定スルト云フ事ノ如何ニ拘ラズ之ヲヤツテ差支ナイモノデアアル、而モ先程申上ゲマサウニ、小作爭議ノ頻發致ス現狀ハ、過去兩三年前トハ餘程趣ヲ異ニシテ、本年ノ如キハ六月迄ノ内務省ノ調ニ依リマシテモ、既ニ五百以上ノ爭議ガ起ツタト云フ事ハ御手許ニ御配リシマシタ表ニ依ツテ御承知下サツタコトト思フ。大正九年度ハ四百幾ラ、ソレガ十年度ニハ千六百八十二ナツタ、而モ其發生ノ模様ヲ見マサルト、出來秋ノ模様ニ依ツテ一年限リノ割引ヲシテ吳レト云フ事ニ止マラズ、永久ノ小作料ノ問題デアルトカ色々ナ關係デ發生ノ時機モ違ツテ來ルト云フヤウナコトニナツテ來テ居ルノデアリマスカラ、茲ニ小作法ヲ如何ニ定メルカト云フ様ナ根本的ノ事ヲ研究シテ居ル際ニ於テモ、既ニ一方ニ於テ今日起リツツアル爭議ヲ少シデモ能ク

調停スル法律ヲ出スコトニ努メル必要ガアラウ、斯ウ特別委員會ニ於テハ認メラレタノデアリマス、隨ツテ是カラ出來ルデアラウ所ノ小作法ト本案ト如何ナル關係ニナルカト言フト、小作法ガ制定サレルト、ソレカラシテ調停上據ルベキ方針モ色々與ヘラレルトハ考ヘラレマスガ、併シ小作法ガ無ケレバ調停法ハ出來ヌノデハナイ、無クテモ出來ルト云フノデアリマス。

○矢口委員 只今石黒幹事ノ説明ニ依ツテ大體御趣意ノ在ル所ハ分リマシタガ、併シ此事ハナカク重大ナ事デアリマスカラ、是ハ私トシテモ尙ホ考ヘ、委員諸君ニ於テモ色々御考ヘデアラウト思ヒマス、併シ小作調停法案ノ審議ヲ妨ゲテハ宜シクアリマセヌカラ、ソレハソレトシテ、其進行ニ就テハ聊カ異議ガアリマセヌカラ、之ニ依ツテ御進行ヲ願ヒタイノデアリマス。

○河田委員 私ハ主トシテハ簡條々々ニ付テ伺ヒタイノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒマスル爲ニ少シ必要ト感ジマスルノデ先ヅ大體ノ事ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ソレハ調停法ノ調停ト云フ制度ノ性質ニ付テ御説明ヲイマ少シク伺ヒタイノデアリマス、調停ト云フ語ガ色々ニ使ハレテ居ルヤウデアリマス、或ハ仲裁ト云フ意味モアリマスルシ、和解ト云フ意味モアリマス、色々デアリマス、其事ニ付テ少シ伺ヒタイト思ヒマス。

幹事ノ御説明デハ、主トシテ借地借家調停法ニ據ツテ御作りニナツタト云フノデアリマスカラ、大體サウ云フ性質ノ制度ヲ立テヤウトナサルノデアラウト思フ、併シ私ハ實ハ借地及ビ借家ノ制度ニ付

テ十分能ク存ジマセヌノデ、其點ヲ併セテ御説明ヲ願ヘレバ結構ト感ジマス。

少シ講釋メイタ事ヲ申上ゲテ甚ダ恐縮デアリマスガ、從來諸國ノ仲裁ニ關スル制度ノ例ヲ見マスル
ト、大體ハ和解的ノ性質ノモノト、而シテ仲裁裁判的ノ性質ノモノトアルヤウニ思ハレルノデアリマ
ス、是ハ何ト云フ語デ現シテ適當デアリマセウカ、實ハ譯語ハ存ジマセヌノデアリマスガ、御承知ノ
通り一方ハ「コンシリエーション」デアリ、一方ハ「アービトレーション」デアルト思フノデアリマス、
サウシテ「コンシリエーション」ノ方ハ當事者ヲ主ニスル、「アービトレーション」ノ方ハ大體國ノ裁判
トシテ、第三者タル判事ガスルト思ツテ間違ハナイト思フ、其「コンシリエーション」ノ方ニハ又二ツ
ノ區別ガアリハシナイカト思フ、一ツハ當事者許リデアルモノデアリマス、ヨク「ネゴシエーション」
ト云フ語ガ使ツテアルト思フ、イマ一ツノ方ハ當事者ノ外ニモウ一ツ公平ナル第三者ガ加ハル、ソレ
ガ所謂「メジエーション」ト云ツタ方ノ、居中調停ト云フ方ニナルヤウニ思フノデアリマス、從來諸國
ニ於ケル例ハ大體其何レカニ屬シテ居ルト思ヒマスガ、此法案ヲ見マスルト、是ハ殆ド第三者ノミガ
調停ニ當ルヤウナ場合ガ隨分アリ得ルト思フ、尙ホ此點ニ付テハ第九條第十條ニナリマシタ場合ニ御
説明ヲ願ヒタイノデアリマスガ、大體サウ云フ風ニ思ハレルノデアリマスガ、兎ニ角特別委員會ノ方
デハ、大體「コンシリエーション」トシテノ制度ヲ立テルオ積リデアアルカ、ソレトモイマ少シ進ンデ、
「アービトレーション」ノ方ニマデ進ンデ行カウト云フ思召シデアリマスガ、或ハ獨逸ノ「ゲウエルベ、

ゲリヒト」——何ト申シマスカ、工業裁判所ト云フヤウナ、兩者ヲ折衷シタヤウナモノヲ作ル思召シ
デアリマスカ、讀ンデ見ルト大體分ルヤウデアリマスガ、文字モ徹底ヲ缺イテ居リマスカラ、ドチラ
ニ主要ノ點ガアルノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ、ソレカラ是ガドチラデアルト云フ事ニ依ツテ其
組織ノ構成ノ仕方ガ變ツテ來ルト思フ、又ソレガ決定ヲ與ヘル、其決定ノ有スル效力ガ違ツテ來ルト
思フノデアリマスカラ、是等ノ事柄ハ法案ノ中ニ明瞭ニ規定シナケレバナラス、能ク分リマセヌケレ
ドモ、和解的ノ「コンシリエーション」ノ方ハ稍々契約的デアツテ一方ノ仲裁的ノ方ハ無論判決タル性
質ヲ有スルモノデアラウト思フノデアリマス、サウシテ又「コンシリエーション」ノ方デアリマスルト
是ハ大體當事者ノ任意ヲ主トスル「アービトレーション」ノ方ハ、當事者ノ好ムニシロ好マナイニシロ
稍々強制的ニ其制度ヲ行フコトニナラウト思フノデアリマス、其點ヲモウ一度伺フコトガ出來レバ仕
合セデアリマス。

次ニ此制度ハ稍々任意の制度ノヤウニ思ハレルノデアリマスガ、之ヲ強制的ノ制度ニスルニ付テ
ノ可否、或ハ其必要ガアルカナイカ、又今日其時機ニアルカナイカト云フ事ニ付テハ特別委員會ニ於
テモ十分ニ慎重審議ヲ遂ゲラレタコトト思ヒマスガ、其事ニ付テ特別委員會ノ御意見ハ如何デアツタ
カ、ソレガ承リタイノデアリマス、サウシテ又從來ノ例ヲ見マスルト、和解的ノモノガ初メ行ハレル
ケレドモ、ソレガ段々裁判的ノモノニ變ツテ來ルヤウニ思フ、初メハ稍々任意のモノガ行ハレテ居

ルケレドモ、ドウモンレデハ結果が面白クナイノデ段々ト強制的ノモノガ行ハレテ來ルヤウデアリマス、英吉利邊リノ例ヲ見マシテモ大體サウデナイカト思フ、サウシテ今日他國ノ多數ノ例ハ寧ロ強制的ノモノデアリハシナイカト思ハレルノデアリマス、我國ガ此際新タニサウ云フ制度ヲ作ルトスレバ諸國ノ經驗モ多少尊重シテ宜イト思フノデアリマス、隨ツテ此強制的制度ヲ作ルニ付テ特別委員會ニ於ケル御意見ハ吾々トシテ伺ヘレバ大變參考ニナルト思ヒマスカラ、其等ノ點ヲ承リタイノデアリマス、或ハ此案ハ第一歩トシテノ案デアアル、此次ニ尙ホ特別委員會ニ於テハ一種ノ仲裁裁判的ノ案ガ出來ツツアル、或ハ又時機ヲ見テ拵ヘル積リデアルト云フオ考デアリマスガ、其點モ伺ツテ置ケバ此案ヲ議シテ行ク上ニ都合ガ好イト思ヒマス、此等ノ點ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○石黒幹事 唯今河田委員御質問ノ第一ノ點ハ仲裁判斷ト云フヤウナ性質ヲ有ツモノデアアルカ、或ハ和解ノ性質ヲ有ツモノデアアルカ、和解ノ性質ヲ有ツモノノ中ノ當事者間ノ和解ト云フコトヲ主ニ置イタモノデアアルカ或ハ居中調停的ノ第三者ノ入ルモノデアアルカ、斯ウ云フ御尋デアリマス、是ハ仲裁判斷的ノモノデハゴザイマセヌ、ソレカラ和解ノ方デハマアドチラトモ見エルノデアリマスルガ、法文ノ上カラ見ルト居中調停的ノヤウニ見エマスガ、必シモサウデナイノデアリマシテ、尙ホ此法文ノ所ニ多少窺ヒ知ルヤウナコトガ出テ居リマスガ、法文ニ現レテ居ルヨリモヨリ強ク當事者相互ノ間ノ話合デ事ヲ運ンデ行カウト云フ精神デ、借地借家調停法モ書カレタト云フコトデアリマスルシ、又ツ

レニ大體ノ趣意ヲ同ジウシテ立テラレマシタ特別委員會ノ決定案モ左様デゴザイマス、當事者ガ集ツテ成ベク當事者ノ間ニ話合ヲ纏メルヤウニ調停委員ハ盡力ヲスル補助ヲスル、サウシテ話ヲ纏メルヤウニ導イテ行クト云フ役目ガ多イノデアリマス、期日ニ於テ調停ガ出來ナイ場合ニモソレデハ又他日ト云フヤウニシテ、ソレデモドウシテモ出來ナイトキニ初メテ調停條項ト云フ委員ノ案ヲ立テソレナラバドウシテモ當事者同志デ話ガ出來ナケレバ已ムヲ得ヌカラ此方デ案ヲ出スガ、是デハドウダト云フノデ双方ニ送付シ、ソレニ對シテソレデハイケヌト云フノナラバ、一箇月内ニ其異存ヲ申出デ來イ、ソレハ仕方ガナイカラ、ソレニシテ置クヨリ仕方ガアルマイ、抛ツテ置ケバ、其委員會ノ決メタ條項通りニナル、イヤダト云フコトヲ積極的ニ一箇月ニ言ツテ來レバ最早ドウシテモ調停ノ仕方ガナイノデアアルカラ話ガ纏ラナイ、斯ウナラウト云フ譯デアリマス、其最後ノ時ニ初メテ第三者タル調停委員會ノ案ガ出ル譯デアリマス、夫レ迄ノ間ト云フモノハ當事者相互ノ間ノ話合ヲ成ベク導イテ行クヤウニ、向フデ斯ウ云ツタノダカラ、君ノ方モ考ヘテ行ツタラドウカト云フヤウニ、段々ト膝ヲ交ヘテ盡カスルト云フコトガ一番主ナ任務デアリマス、デアリマスカラ規定ハ委員會手續ト云フ様ナモノガ主ニナリマスルガ、働キハ唯今申シマシタヤウナ當事者間ノ話ヲ纏メルコトヲ導クコトガ主ナ役目デアリマス、實際ニ於テハ當事者間ノ和解ト云フコトガ一番多イモノデアラウト思フノデアリマス、之ヲ調停ト申シマスノガ適當ノ文字デアアルカドデアアルカ、是ハ私モ實ハ分リマセヌ、昔ノ言葉ニ和解ヲ

勸メルト云フ勸解裁判所ナドト云フコトガアツタヤウニ思ヒマス、或ハ勸解ト云フコトガ宜イノカトモ考ヘマス、併シ最近ノ立法例ニ借地借家調停法ト云フモノガ出テ、ソレガ同ジ精神ノ下ニ行ハレテ居ルノデアリマスカラ、此文字ヲ襲踏シテ差支ナイト考ヘマス、新タニ又勸解ナドト云フ文字ヲ使フコトハ、何カ借地借家法調停法ト違フト云フ誤解ヲ生ジテハ如何カト思ツテ寧ロ控ヘタ次第デアリマス。

ソレカラ御質問ノ第二點ノ若シ是ガ軟イモノデアルナラバ、モウ少シ強イ仲裁判斷的ノモノヲ設ケルト云フヤウナコトノ必要ハナイカドウカ、各國ノ事例ヲ以テ見テモ初メニハ軟イモノガ段々ト強イモノニナツテ來タヤウナ形跡ガアルカドウカト云フコト、之ハ其通リニ承知シテ居リマス、併シ一方ニ於キマシテ我國ニ於テハ先ヅ是等ノ程度カラ矢張外國ト同様ニ始メテ行クノガ適當ナル程度デアルト云フ議論モ確カ特別委員會デアツタト思ヒマス、又特別委員會ニ於テハ是デハ力が弱過ギルト云フ議論モ勿論出マシタ、委員會ノ初ニ當リマシテ何カ爭議ノ解決機關ヲ設ケタラドウデアラウカト云フ御話ガ出タ際ニ、私共ガ私案ト致シテ出シマシタ小作法案ノ中ニ小作審判所ナルモノヲ一項目トシテ掲ゲテ置キマシタ、ソレヲ取離シテソレ丈ヲ特別法ニスルノモ一案デハナイカト、私ハ申シタコトガアリマス、併ナガラサウ云フ特別裁判所ヲ今日作ルコトハ中々我國ノ法制ノ關係上容易ナ事テナイト云フ御意見モ出タノデアリマス、又一方ニテハソレヨリモ先ヅ軟イ所カラ始メルノガ極メテ適當デア

ラウト云フ御意見モ出タノデアリマス、又ソレニヨツテ案ヲ立テタモノノ、如何ニモソレデハ弱過ギルカラ、是モ宜シイガ、モウ少シ強イ案ヲ立案シテ吳レヌカト云フ御意見ガ現ニ志村委員カラモ出テ居リマシタ、之ニ就テハ幹事ノ方ニ御注文ガアリマシタカラ、出來ルダケノ調査ヲ致シ立案ヲ將來ニ於テモ努メテ見タイト思ツテ居リマス、併ナガラソレハ特別委員會ニ於ケル御意見ガサウ云ウヤウナ色々ナモノガアツタト云フコトヲ申上ゲルマデデアリマシテ、特別委員會ハ更ニ此外ニ仲裁判斷的ノモノヲ續イテ立案ヲシテ出スコトニ御決定ニナルカドウカソレハ分リマセヌ、ソレ丈ニ話ハマダ進行シテハ居リマセヌ、右ニ御承知ヲ願ヒタウゴザイマス。

○河田委員 大變能ク分リマシタ、サウ致シマスト大體唯今ノ所デハ是ハ和解的ノモノデアル、唯其内委員會デハ是丈ヲ差當リ作ル積リデアル、將來ノ事ハ考ヘテ居ラヌノデアアル、考ヘテ居ルカ知ラヌガ、今ノ所仲裁判斷ナニカハ考ヘルマデニ進ンデ居ラヌノデアアル、サウスルト大體借地借家調停法ト歩調ヲ一ニシテ、同ジャウナモノヲ拵ヘル積リデアルト斯ウ承知致シテ宜シウゴザイマスカ。

○石黒幹事 左様デゴザイマス、委員會ガ全然考ヘテ居ラヌト云フコトヲ申上ゲテ宜イカドウカ分リマセヌガ、幹事ガ出シマシタ小作法案ノ中ニ審判所ト云フ特別裁判所ヲ規定シタル外ニ尙委員ノ中ニモ一ツモ少シ強イ仲裁判斷的ノモノヲ立案シテ見テ吳レヌカト云フ御注文ガアリマスノデ、少クトモ其少數ノ委員ニ於テハ御考ガアリマスノデ、之ヲ御提出ニナルカドウカ分リマセヌ、唯サウ云フコト

ヲ御注文ニナツタ、多少強イモノヲ立テル必要ガアリハセヌカト云フ必要ヲ認メテ居ラレル特別委員ノ方モ、此軟ナ調停法案ニ對シテ不必要ナリト云フ御判斷ハ爲サツテ居ラヌノデアリマス、隨テ此調停法案ハ或ハ之ヲ改正シテ強イモノニスルトスルカ、或ハ新シク別ニ重ネテ強イモノヲ出スコトニナルカ、是ハ其委員ノ方ノ御意見デナケレバ分リマセヌガ、兎ニ角今ニ於テ此調停法案ト云フモノヲ出スト云フコトニハ強イモノヲ必要トスルト云フ意見ニ傾イテ居ル方モ不賛成デハナイ、之ヲ出スコトニ就テ賛成デアル、是デ足レリトスルカドウカト云フコトニ就テハ、マダ決定的ノ御意見ハ御述ニナツテ居ラヌカ立テテ見テ吳レヌカト云フ御意見ヲ述ベテ居ラレマス、斯ウ云フ次第デアリマシテ多少必要ト認メラレテ居ルダラウト云フ委員ノ方々モ交ツテ全會一致ヲ以テ此特別委員會ノ案ハ決定ニナツタ譯デアリマス。

○河田委員 委員長ニ御願ヒ致シタウゴザイマスガ、私共出先デゴザイマシテ借地借家法ヲ調ベルコトハ一寸困難デアリマス、參考ニ致シタイト思ヒマスガ、若シ御手隙デアリマシタナラバ斯ウ云ツタヤウナモノヲ……

○石黒幹事 刷ツタ物ガゴザイマスカラ直チニ配付致シマス。

○田子委員 唯今ノ問題ハ私モ疑問ニ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、詰リ此小作爭議ナルモノハ現在我國ニ於テ社會不安ヲ爲シテ居ルカドウカ、之ヲ地主ト小作ノ個人間ノ問題ト解釋シテ宜イカ、ソレ

ニ依ツテ強制スルカ如何カト云フ問題ハ決マルダラウト思ヒマス、今ノ場合茲ニ近イ將來デハ大體ニ於テハ大キナ社會不安ニナラナイカ、隨テ強制的ニ進ンデ裁判所ガ調停ノ勞ヲ執ル必要ガナイカ、斯ウ云フヤウニ現状ハ見エルノデアリマスガ、ソレヲ私ハ承リタイノデアリマス。

○石黒幹事 ソレハ色々御見解ニ依リマシテ違ヒマセウト考ヘマス、私共モ小作問題ニ對シマシテハ可成リニ心配ガアルト考ヘテ居リマス、併ナガラ現今ノ状態ニ於キマシテ如何ナル立法ヲ致シ施設ヲ致スノガ宜シイカト云フ問題ニ就テ考ヘルト、此處ニハ立法ノ問題ガ加ハリマスルノデ、多少程度ニ於テ強サノ少イモノデアツテモ、速ニ是ガ出來ルモノデアラバ、速ニヤツテ置イタ方ガ適當デアラウト云フコトモアラウト思ヒマス、特別委員諸君ノ中ニハ、委員會ノ開會中デハゴザイマセヌガ、其前後ニ於テ大分御意見ノ御交換ニナツテ居リマス中ニ強イコトモ結構デアルガ、中々強イ制度ニスルコトニシテ特別裁判所ノモノヲ新タニ認メルコトニナルト、急速ニハ往クマイ、トテモ此議會マデニハ往クマイト云フヤウナコトカラシテ又借地借家ニ就テ非常ナ苦心ノアツタ結果、アノ調停法ガ前議會ニ於テ通過シタノデアルカラ其後ヲ追ウテ、夫等ノ大體ノ精神ニ則ツテヤルモノヲ出スノガ極メテ早クテ出來易イカラ、ソレガ宜カラウト云フコトノ御意見ガアツタノデアリマス、蓋シ夫等ノ意見ハ特別委員會内ニ於キマシテモ小作問題ハ中々調停法ト云フ様ナモノダケデハ旨ク行クマイ、モウ少シ速ニ徹底的ノ判斷ヲスル特別ノモノガ必要デアル、併ナガラソレヲ作ルニハ現今ノ法制上必ズ暇

ガ取レルカラ取敢へズ之ヲ出シテ置クノデアルト云フヤウナ御考ガアルヤウニ思ヒマス、ソレデモウ少シ強力ナル所ノ仲裁裁判的ノモノヲヤル、審判ヲヤツテ、ソレニハ服従サセル、斯ウ云フモノガ出來マスト總テノ問題ヲ其處デ扱ヒ、同ジ問題ニ就テハ再理ヲ許サヌト云フコトニ行キマス、餘程力ノ有ルモノニナリマスガ、マタ裁判所等ニ於テハ夫レダケニ仲裁判斷ヲスル經驗モアリマセヌシ、ソレカラ一方ニ於テ我國ノ法制ガ特別ナル判事ヲ認メルコトノ困難ト云フコトガアリマスノデ、此方ニ傾カレタ方モアルヤウニ見テ居ルノデアリマス、又程度ニ於テ強クナイ、此位ノ案ガ最モ適當ナモノデアルト云フ御意見ノ方モ居ラレタノデアリマス、故ニ賛成セラレル理由、根本ノ觀念ニ於テハドウデアツタカ、ソレハ必ズシモ皆サンガ御一致ニナツテ居ルトハ私ハ考ヘマセヌ、唯結果ニ於テ速ニ之ヲ出スト云フコトガ必要デアルト云フ點ハ、皆サンガ御一致ニナツテ居ルノデアリマス。

○田子委員　モウ一ツ——詰リ特別委員會デハ此問題ト借地借家ノ問題ト餘程密接ニ御考ヘノヤウデアリマスケレドモ、家借問題、家主ト店子ノ問題ハ寧ロ店子ノ數ハ少イノデアリマスカラ、或ハ家主ト數人ノ店子ノ問題、斯ウ云フヤウナ限ラレタ範圍ニ於テ起ル問題デアラウト思ヒマス、個人ト個人ノ間ノ問題ガ主デアリマス、然ルニ小作ノ問題ハ同ジク小作料デハアリマスケレドモ、此表ニモアルガ如ク一ツノ事件ニシテモ百町歩ニモ互リ乃至ハ小作人が六十人モ七十人モアル、殆ド社會不安ヲ起スカノ如キ場合ガ想像サレナイコトハナイノデアリマス、隨テ借家ノ問題ト小作ノ問題ト同ジ性質

ニ考ヘルコトハ、餘程研究ヲ要スルト思フノデアリマスガ、是等ニ就テ密接ニ兩方ヲ連絡シテ考ヘナケレバナラスト云フコトハ詰リ新シク立法サレテ、ソレニ引續イテ出ルカラト云フダケノ理由デアリマスカ、或ハ全然性質ニ於テモ社會不安ノヤウナ問題ハ同ジモノデアル、斯ウ云フヤウニ解釋シテ本法ガ出來タノデアリマスカ。

○石黒幹事　同ジ事ヲ繰返シテ申上ゲルヨリ仕方ガナイノデアリマスガ、特別委員會デモ小作爭議ヲ借地借家關係ト同ジク個人間ノ問題ノミトハ見テ居リマセヌ、團體爭議ヲモ認ムル故ニ總代等ヲ認メタノデアリマス、借地借家關係トハ違フト云フコトヲ認メテ居ラレマス、特別委員會ハ全會一致デ之ヲドウ認メルカト云フコトヲ確メタコトハナイノデスガ、借地借家關係ト此地主小作關係ヲ略ボ同ジト認メタカラト云フ理由デ借地借家調停法案ト同様ニ立法スルト云フコトニ御決定ニナツタノデナイ出來易イ立法ノ方法ヲ速ニトルベシト云フノデ決定相成ツタコトト思ヒマス。

○桑田委員　私モ質問ガアリマスガ、幹事モ御疲レノヤウデアリマスカラ幹事ニ御同情ヲ表シテ、今日ハ是デ散會アランコトヲ希望致シマス。

(「賛成」「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長)　ソレデハ是デ本日ハ散會致シマス、明日ノ開會時刻ハ農商務省側トシテハ午前十時ト御願ヒ致シタイノデスガ、皆サンノ御都合モアリマセウガ、ソレデ如何デゴザイマセウカ。

(委員懇談)

○議長(岡本委員長) ソレデハ明日ハ午後正一時カラ開會スルコト致ニシマス——今日ハ是デ散會致シマス。

○石黒幹事 各種ノ小作調査資料ヲ目錄ノ通り明日モ陳列シテ置キマスカウ御一覽下サイ、明日開會前御説明申上マス。

午後四時二十分 散會

總會開會中展覽ニ供セン資料目錄

其ノ一 内國農民資料

第一 一般小作及稅制資料

- 一 出店名田畠酒場敷地共賣券狀
- 一 中野原名田畠山林家屋敷永代賣渡申證文之事
- 一 當亥ヨリ卯迄五ケ年之間中野原名田地懸リ受證文
- 一 同上繪圖面
- 一 乍恐奉願上覺貳通(不作ノ免稅及小作料未納整理ノ件)
- 一 先祖ヨリ代々田畑山林證文

- 一 田畑名寄寫並ニ仕切人別覺帳
- 一 田畑名寄帳並ニ仕切人別帳
- 一 島根縣朝酌村寅納御年貢人別名寄請取帳
- 一 朝酌村寅納小繫打合割帳
- 一 追原村從成納米人別定下札帳
- 一 追原村田畑懸定百姓別作德積帳
- 一 法美郡村々御年貢請合一札帳
- 一 法美郡二十區、二十一區、九區ノ内村々高懸リ、竈別等御届帳
- 一 法美郡生山村田畑加損取分帳外合冊
- 一 法美郡村々御貸米辻帳及御貸米願帳
- 一 第二十一區品々帳
- 一 第二十一區會議所諸入費帳
- 一 第二十一區諸入費品々書分帳
- 一 法美郡村々收納米帳
- 一 因幡國法美郡第二十一區村々貢米收納皆濟仕譯帳
- 一 同所地所賣買値段々階書上帳
- 一 品々書出シ帳

- 一 法美郡中郷村高反別帳其ノ他各村分合冊
- 一 杉崎村地内田畑山林藪所持限書上地券御下渡シ願上帳
- 一 地券貳通
- 一 法美郡中郷村貢米御請合帳其ノ他各村分合冊
- 一 明治八年改稅簿
- 一 舊改租増減比較簿
- 一 地租改正減書出シ簿
- 一 第二十一區村々石代銀納御勘定帳
- 一 小作畑讓證札
- 一 質入直小作證文
- 一 田畑小作證文ノ事
- 一 小作未進證文ノ事
- 一 租稅債段
- 一 稅歛法
- 一 申御年貢可納割附ノ事
- 一 申御年貢皆濟目錄
- 一 場作定約書類(宮城縣遠田郡北浦村)四通

第二 一般地方資料

- 一 御檢見御献立
- 一 奉公人請狀ノ事
- 一 讓渡申田畑ノ事
- 一 年賦拜借證文ノ事
- 一 質物田畑ノ事
- 一 助郷割方帳
- 一 梅村北方庄屋不歸作一件
- 一 御條目ノ寫
- 一 川邊井戸亂暴一件
- 一 觸書
- 一 拜借金記錄
- 一 村方取締連印
- 一 乍恐奉願上候書
- 一 村目附心得方
- 一 村々高附帳
- 一 村方町方ニ再申諭書

- 一 分銅改御廻狀寫
- 一 乍恐以相訴御願奉申上候
- 一 御觸書ノ寫
- 一 調達講仕法書
- 一 兩全仕法書
- 一 豐榮講仕法書
- 一 積銀講仕法書
- 一 大塚家事向再興帳
- 一 觸書、田安御勘定書
- 一 一札文言留
- 一 御改正新田實入一件
- 一 新田實物證文ノ事
- 一 墮胎一件
- 一 和泉國大鳥郡村鑑大概帳
- 一 法美郡御用帳貳冊
- 一 飯石郡上來島村萬差出帳
- 一 追原三ヶ村巳春宗門御改諸色帳

- 一 免法記
- 一 地方問答記
- 一 田法記
- 一 傳法記三冊
- 一 地方準繩
- 一 舊藩時代ニ於ケル布達
- 一 覺書 札
- 一 御改正ニ付口達申談書
- 一 口演
- 一 表御用人中御口達書其ノ外六冊
- 一 御精選ニ付追々御沙汰書
- 一 御精選ニ付口達書、大小續目錄等合冊
- 一 地藏院田地證文
- 一 増田屋證文

第三 永小作資料

- 一 愛知縣鳴海町ノ永小作問題
- (一) 準備書面(故維本博士起草)

- (二) 證據說明
 - (三) 覺書
 - (四) 永小作權賣渡書類
 - (五) 永小作證文類
 - (六) 質入書入文書類二綴
 - (七) 小作證書
 - (八) 尙農會編「鳴海町掟米問題」二冊
- 二 德島縣ノ永小作資料
- (一) 永小作料領收證
 - (二) 土地臺帳
 - (三) 地籍圖
 - (四) 小作米麥請取帳
 - (五) 參考地圖
 - (六) 軸物(開田元祖ノ肖像畫)
 - (七) 土地讓渡證
 - (八) 判決正本
 - (九) 御下札、舊記錄

- (十) 土地讓渡證書
 - (十一) 古控帳
 - (十二) 土地讓渡證
 - (十三) 土地讓渡證
 - (十四) 同前
 - (十五) 御檢地帳寫
- 三 河内新田ニ關スル地圖(大阪府北河内郡四條村深野新田永小作問題資料)二葉其ノ他數點
- 四 永小作畑讓替與印控

第四 最近農務局調査資料

- 一 農家經濟調査資料
- 一 小作慣行調査資料
- 一 維新以前ニ於ケル農家經濟調査資料
- 一 小作爭議調査復命書綴
- 一 小作關係ノ團體ニ關スル「カード」箱

第五 既往ニ於ケル調査書類(參考)

- 一 明治十八年農務局調査小作慣行資料
- 一 明治二十年小作條例草案

一 大正二年農務局調查小作慣行資料

第六 他省ヨリ借用調査資料

一 大藏省保管田畑賣買地價及小作米調(明治二十五年)

一 大藏省保管田畑自作小作地收益調(明治三十三年)

一 大藏省保管田畑賣買地價小作米調(明治二十五年)

一 大藏省保管小作米及各地目別賣買價格調(明治三十一年)

其ノ二 海外ニ於ケル農民問題資料

一 伊太利

(一) 「ボロニヤ」附近「モリネラ」村ノ社會主義者ニ屬スル共同耕作小作組合

(二) 地主總聯合—府縣地主會

(三) 農業爭議ノ結果地主團體ト小作人團體トノ間ニ成レル集合小作契約

(四) 「トスカナ」地方ノ分益小作

(五) 同上分益小作「コローン」日雇人ニ關スルモノ

(六) 社會黨ト農業政策

(七) 小作組合ノ共同耕作實況

二 羅馬尼

土地改革法

三 米國

(一) 日本人小作契約ニ關スル參考書類

(二) 政黨ト農業及土地政策

四 佛蘭西

(一) 政黨ト農業及土地政策

(二) 労働者及農民養老年金

(三) 地方農務省ニ關スル參考書類

(四) 農業労働者保護協會ノ機關雜誌

(五) 低廉住宅ニ關スル統計其ノ他

(六) 農業的組合其ノ他ノ農業團體總目錄

五 和蘭

國際農業労働者聯合

六 波蘭

土地改革法

七 獨逸

(一) 農業労働者總同盟ニ關スルモノ

(二) 政黨ト其ノ農業政策及土地問題ニ對スル意見

- (三) 小作者總同盟ノ機關雜誌
- (四) 土地改革協會機關雜誌
- 八 露西亞
 - 革命後ニ於ケル露西亞ノ經濟及農業狀況
- 九 英吉利
 - (一) 農業黨ト其ノ農業政策
 - (二) 今期ノ議會ニ提出セラレタル土地ニ關スル法律
 - (三) 政黨ト農業及土地政策
 - (四) 農民聯合ノ定款其ノ他
 - (五) 土地國有協會
 - (六) 農業勞動聯合ニ關スル書類
 - (七) 中央地主協會ノ機關雜誌
- 十 「スコットランド」土地裁判所其ノ他ニ關スルモノ十數種
- 十一 愛蘭土地法關係書其ノ他圖及畫十數種

第二日

九月二十日午後一時四十分開會

出席者

第一日ト同様

二 議事經過

○議長(岡本委員長) 昨日ニ引續キ會議ヲ開キマス、御質問ガ終了シテ居リマセヌカラ御質問ノオアリニナル方ハ御述ベヲ願ヒマス。

○桑田委員 本案ノ大體ニ付イテ二三ノ質問ヲ致シマスカラ御説明ヲ願ヒマス。

第一ハ小作調停ノ機關ノ所轄ガ裁判所ニナツテ居ルト云フ案ノ内容デアリマスガ、之ニ關シテ私ハ忌憚ナク言ヘバ、裁判所ナルモノガ小作ノ調停機關トシテ果シテ適當ノモノデアるか否ヤヲ疑フノデアリマス、昨日ノ御説明ニ依リマスルト本案ハ大體ニ於テ借地借家調停法ニ據ツテ居ルト云フ御説明デアリマシタガ、此借地借家法ノ關係ト小作ノ關係ハ根本ノ性質ニ於テ餘程ノ差異ガアリマス、申ス迄モナク小作ノ關係ハ今日ノ所謂階級闘争ノ現象デアリマス、小作人ト云フ社會階級ト地主ト云フモウ一ツノ階級デアリマスガ、借地借家ノ關係ハ個人ト個人トノ關係デアツテ階級關係デハナイ、借家人、貸家人ト云フ特別階級ハアリマセヌカラ概シテ個人ト個人トノ關係ト見テ良カラウト思ヒマス、ソレカラニツノ關係ニ於テ之ヲ經濟上ノ見地カラ考ヘマスルト地主ハ經濟上強者ノ地位ニ立ツテ居ル之ニ反シテ小作人ハ經濟上弱者デアリマス、然ルニ貸地貸家人ト借地借家人トノ關係ニ於テハ大體ニ

於テ双方ノ間ニ經濟上ノ強弱ノ區別ガアルトハ申サレマセヌ、時ニ依ツテハ借地人借家人ガ經濟上ノ力ガ強イモノデアリマスカラ、サウ云フ經濟上ノ事實ガアリマスノト、一ハ階級鬭争ト個人ノ鬭争ト云フコトヲ考ヘマスルト、小作ノ關係ニ於テ借地借家ノ關係ヲ以テ律スルト云フ此法律ノ拵ヘ方ノ根本ニ於テ疑念ガアリマス、之ヲ具體的ニシテ申シマスルト借地借家ノ關係ニ於テハ調停機關トシテ裁判所ガ適當デアラウト思ヒマス、ケレドモ小作ノ關係ニ於テハ調停機關トシテ裁判所ヲ使ヒ、裁判官ヲ使フコトハ適當ノ方法デアラウカ、ドウカト云フコトヲ疑フノデアリマス。

外國ノ實例ヲ調べマスルト調停機關トシテハ、或ハ裁判所、裁判官ヲ使ツテ居ル所モアリマス、偶々アリマスガ、此勞働争議ヲ概括シテ申シマスルト裁判官、裁判所ニ依ツテ居ルモノハ稀ナ場合デアリマシテ、多クハ一般ノ行政官若クハ其ノ道ノ經驗知識ノ十分アル者ヲ以テ之ニ當ラシメテ居ルコトトハ一面カラ言ヘバ適當ノ方法カトモ思ヒマス、ソレハ裁判官ハ經濟ノ利害關係ノ上ニ立ツテ十分ニ階級ノ争ノ上ニ超然トシテ居リマスカラ、公平ナ地位ヲ保チ得ルコトト、ソレカラ又裁判官ニシテ相當地方ニ長ク居リマスルト其ノ地方ノ狀況ガ能ク分リマスカラ或ハ適當ナ判斷ガ下セルカ分カリマセヌガ、私ハ地方ニ於テ小作ノ争ガ裁判所ニ出テ裁判官ガ判決ヲシナイデ唯調停ヲシタト云フ、サウシテ其ノ結果ハ甚ダ良カッタト云フ實例ハ幾ツカ持ツテ居リマスカラ、強チ裁判官ハ調停機關トシテ不

適當トハ申シマセヌガ、併ナガラ之ヲ若シ一般ノ行政官ガアル場合ト較ベマスルト或ハ行政官ノ方ガ調停機關トシテ適當デナイカト考ヘルノデアリマス、何トナレバ一般ノ行政官デ或ハ縣廳ニ在リ、或ハ郡役所ニ在リマスルト、其ノ地方ノ實情ニ通曉シテ居リマスルシ、且又農業ノ狀況或ハ争議ノ關係ニ於テ相當實驗ガアリマセウカラ、裁判官ヨリ見レバ適當ナル調停ヲ爲シ得ル地位ニ居リハシナイカ又一一般人民即チ當事者ノ信賴スルコトモ或ハ裁判官ニ比シテ重キヲ爲シハシナイカト云フ考ヲ持ツテ居リマス、殊ニ本案ノ第何條デシタカ小作監督官ヲ設ケラルルヤウニナツテ居リマスガ、小作監督官ハドウ云フ官制デアリマスカ、官制案ヲ拜見致シマセヌカラ判斷モ致シ兼ネマスガ、小作専門ノ役人ガ小作監督官ノ名稱ヲ以テ各地ニ置カルルトキハ、是コソハ最モ適當ナル調停機關デハナイカト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、ソコデ小作デナク、勞働争議ノ方デアリマスガ、米國ノ學者デ歐米ノ勞働争議ノ調停ノ研究ヲシタ人ガアリマスガ、其ノ研究ノ結果ニ依リマスルト、其ノ人ハ斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマス。

「調停機關ハ色々ナ種類ノ制度ガアルガ、調停ノ主任者タル人ニ依ツテ餘程結果ガ違フ、ドウ云フ社會階級、ドウ云フ身分ノ人ガ一番成功セル調停者デアッタカト云フト、坊サンガ一番良イ、ソレカラ次ニハ一般ノ行政官若クハ學者ガ宜シイ、一番惡イノガ裁判官ダ」ト云フ事ヲ書イテアル書物ヲ見マシタ、忌憚ナク言ヒマスルト、資本者ニ關係ガアルカラトサウ云フ事ヲ申ス人ガアリマス、是ハ多少

眞理ガアリハシナイカ、何モ私ハ日本ノ裁判官ノ才能ヲ疑フノデアリマセヌガ、ドウモ從來ノ經歷カラシテ、又其身分ノ立場カラ、裁判官トシテハ適當デアツテモ調停者トシテハ適當デナイ者ガナイカト云フ事ヲ疑フノデアル、ソコデ私ハ特別委員長若クハ幹事ニ伺ヒタイノハ、特別委員會ニ於テ調停機關ヲ裁判所ニ求メ、調停主任ニ裁判官ヲ當テルコトニセラレタト云フニ至ル迄ニハ、サウ云フ點ヲ御考慮ニナツテ一般ノ行政官ニシテハ到底イカヌ、是ハ裁判官ガ一番良イト云フ事ノ御決定ニナツタ經過ヲ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス。

ソレカラ第二ニハ、是ハ調停委員ノ選任ノ方法デアリマス、第十條ニ調停委員ハ當事者ノ合意ニ依ツテ之ヲ定メル、或ハ相當ノ知識經驗ノアル者カラシテ調停主任ガ選定スルト云フ事ガ書イテアリマスカラ、此爭議ノ起ツタ場合ニ裁判所ニ調停ヲ求メ、サウシテ調停委員タルベキ者ヲ双方ノ合意ヲ以テ、此ノ人ナラ適任デアルト云フ人ヲ定メルト云フノデアリマスガ、サウ云フ人ハ恐ラクハ無イト思フ、地主側ノ方デ此人ガ良イト言ヘバ小作人ノ側デイカヌト言フ、小作人ノ側デ此人ガ良イト言ヘバ地主側デイカヌト言フノガ先ヅ普通デアツテ、双方合意デ以テ、アノ人ヲ出セバ確ニ公平ダト云フヤウナ人ハ恐ラクアルマイト思フ、偶々アツテモソレハ稀有ノ場合デアル、ソコデ是ハ必然ノ結果調停主任ノ方デ之ヲ選任スルコトニナル、其場合ニ地主小作人双方ニ利害關係ヲ有シナイ人ヲ選ベバ是ハ一番良イケレドモ、サウ云フ人ハ又知識經驗ガアリマセヌカライケナイ、ソコデ多少地主小作人ノ利

害關係ノアル者カラ選ブコトニナル、而シテ其場合ニ於テ、調停主任タル裁判官ハ、ドウシテモ身分地位ノ關係上カラ調停委員ニシテ耻シクナイ人ハ、之ヲ地主側ニ同情アリ地主側ニ關係アル人ヲ自然選ブコトニナルノハ止ムヲ得ナイト思フ、小作人ノ方ニ適材者ガアリマシテモ、先ヅ是ハ成ベク穩健ナル地主側若クハ地主ニ關係ノアル人ヲ選ブコトニ自然ナルト思フ、サウナツテ來マスト、調停主任ガ委員ヲ選舉スルコトハ地主ニ取ツテハ利益アル結果トナリマセウガ、小作人ニ取ツテハ甚ダ是ハ恐ロシイ事ニナリハシナイカ、延イテ小作人ガ調停ノ結果ヲ信用シナイ、調停委員ヲ信用シナイコトニナリハシナイカ、サウシテ調停ノ成立ヲ阻害シハシナイカト云フ事ヲ虞レルノデアリマス、ソコデ之ニ關シテ何等カ適當ナル方法ハアリハシナイカト云フ事ヲ多少研究シテ見マシタガ、歐米ノ勞働爭議ノ調停委員會ヲ拵ヘマス場合ニ於テ種々方法ガアリマスケレドモ、多クノ場合調停主任ハ一般ノ行政官或ハ裁判官トシテ置キマシテ、其調停委員タル者ハ之ヲ二種ニ分ケテ、一方ニ於テハ資本家ガ其適當ト思フ人ヲ候補者トシテ推薦スル、ソレカラ又一面ニ於テハ勞働者側カラ適當ト思フ信任ノ置ケル人ヲ何人カ推薦スル、サウシテ其中ニ就テ調停主任ガ双方ノ擧ゲタル候補者ノ中カラ調停委員ヲ選定スル、サウ云フ仕組ガ一番結果ガ良イヤウニ思ヒマス、是ハ詰リ双方ノ利害關係ヲ間接ニ代表セシムルコトニナリマスカラ、隨ツテ双方ノ主張ガ公平ニ現レテ來ル譯デアリマス、ソコデ此法案ニ於テ此調停委員ノ選定ノ仕方ニサウ云フ意見ハ特別委員會ニ於テ現レタノデアリマセウカ、ドウデアリマセ

ウカ、若シソレガ無カツタトスレバ之ニ關シテ委員長若クハ幹事ハドウ云フ考ヲ持ツテ居ラレルノデアリマセウカ、其邊ヲ伺ヒタイ。

此二點ニ關シテ委員會ノ經過ノ御説明ヲ承リ、尙ホ成ルベクハ御意見ヲ承リタイト思ヒマス。

○石黒幹事 私ハ委員トシテデハナク、幹事トシテ此席カラ申上ゲルノデアリマス、特別委員長カラ幹事ニ申上ゲルヤウニト云フコトデアリマスカラ、

只今桑田委員ノ御質問ノ爭議ノ調停機關ヲ司法裁判ノ機關ニ委ネルト云フ趣旨デ出來テ居ルガ、是ハ借地借家ノ關係トハ餘程趣ヲ異ニシテ居ル、勞働爭議等ノ調停ノ場合ニ於ケルト同ジク、寧ロ行政官ノ方ガ良イヤウニ思ハレル、宗教家ガ一番良イト思フガト云フ御話ガアリマシテ、其司法機關ニシタト云フ事ニ付テ何等カ委員會デ意見ノ交換デモアツタ結果斯ウナツタノデアルカ、其^{イキザツ}經緯ヲ知リタイト云フ事デアリマシタ、此點ニ關シマシテハ相當特別委員會ニ於テ御研究ガアリマシタガ、色々御話合ノ末ニ、ドウモ司法機關ノ方ガ良カラウト云フコトニナツタノデアリマス。

其理由モ色々アルノデアリマシテ、ドウモ行政官ト致シマシタナラバ、先ヅ地方ノ爭議ノコトデアルガ故ニ郡長位ノ所ニ持ツテ行カナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フ御考デ初メニハ一時郡長トサレタコトガアツタノデアリマス、然ルニ郡長ガ果シテ適當ナル機關デアルカドウカト云フ事ノ研究ガ段々アツテ見ルト特別委員會ニ於テハ、郡長ハ現今ノ状態ヲ以テ之ヲ見ルト、更迭ガ可ナリ度々アルト云

フ傾向ガアル、地方ノ事情ニ非常ニ精通シテ居ル非常ニ適任ノ郡長サンモナイデハナイガ、能ク更迭スルコトガ尠クナイ、其屢々變ルト云フ事モ一ツノ理由デアリマシタ、ソレカラモウ一ツニハ色々外部ノ力ニ動かサレ易イ、是ハ桑田委員モ先程ノ御話ノ中ニ司法機關ニ對シテハ多少長所ガアルガ如ク御認メニナツテ居ルヤウニ伺ヒマシタ、其點ニ比較シマシテ行政官ノ方ハ色々外部ノ力ニ動かサレ易イ缺點ガアルヤウニ思ハレルト云フ御議論ガアリマシタ、其外部ノ力ト云フノハ所謂地方ノ大キナ地主達ノ勢力ト云フ事モ一ツノ方面デアリマス、又政黨ノ關係ト云フヤウナ事モ大分特別委員會ニ於テハ釜シク、地方ノ實際ノ情況ナドモ其際ニ御話ニ上リマシテ、夫等ノ事カラ考ヘテ見ルト色々外部ノ力ニ動かサレ易イト云フ缺點ガアルヤウニ思ハレル、ソレカラモウ一ツニハ行政官トシマスルト郡長ニ先ヅシナケレバナラヌガ、郡長ハ爭議調停ノ結果ハ永久ニ互ルコトガアリマセウガ、兎ニ角調停ト云フ事ハ、或ル一時ノ仕事デ、其仕事タルヤ兩方面カラ見テ、到底兩方ノ主張ガ相容レナイ時ニ中ヲ取ル、ドノ邊ノ中ヲ取ルカト云フ事ガ調停者ノ苦心ノ存スル所デアリマスガ、ドウモ一方ガ満足スレバ一方ガ不満足デアル、結局ハ双方トモ満足デハナイ、不満足ナガラ落付クト云フノデアル、サウ云フ事ヲ一時的ニ行ウテ其一時的ノ作用ト申シマスカ行爲ト申シマスカ、ソレヲヤツタ結果ガドウアルカト言フト、双方デ非常ニ感謝ヲスレバ宜シイガ、餘リ感謝ヲサレナイ場合ガ寧ロ多イノデハナカラウカ、サウ云フコトニナルト、郡長ト致シテハ調停ノ事務ダケニ當ツテ居ルノデナイ、平常總テノ郡

治ニ互ツテ執行シテ行カナケレバナラヌト云フ大事ナ役目ニ當ツテ居ルノガ、偶々小作調停法ノ主任ニナツタ爲ニ爭議調停ニ當ツタ、サウ云フ一時的ノ處置ヲ執ツタ、其處置ノ如何ト云フコトニ終ツテ郡治ノ上ニ於テ他ノ點迄色々支障ヲ來スヤウナコトガ出來テ來ナイトハ限ラナイ、勿論今日ニ於テ調停ノ實際ニ當ツテ居ル者ハ、町村長デアルトカ町村ノ有志者デアルトカ御寺ノ住職デアルトカ郡長デアルトカ署長トカ、斯ウ云フ人ガ出テヤツテ居ル例ガ多イノデアリマスカラ、決シテ郡長ガ之ニ携ハツテハナラヌト云フコトハナイ、郡治ノ上カラ云ツテモ爭議ハ充分ナ解決ヲ成ベク速ニ附ケナケレバナラヌノハ當然ノ事デアリマスガ、此特別ノ法律ニ依ツテ調停ヲ頼ンデ來ルノハ相當難カシイ問題ガヤツテ來ルノデアラウト思ハレル、サウ云フムヅカシイ關係ニ郡長ガ出テ、引キ絡マツタ中ニ這入ツテシマウテ、其ノ爲ニ平常ノ郡治ト云フコトニ迄關係ヲ有ツコトニナツテ來テハ面白クナイ、斯ウ云フヤウナ考モアツタノデアリマス、是等ノ事カラ致シマシテ特ニ第二ニ申上ゲマシタ外力ニ於テ動かサレ易イト云フ點ガ是ハ比較上ノ話デアリマスガ多クノ委員ニ於テ特ニ認メラレマシタコトノヤウニ私ハ承知シテキマス、サウ云フヤウナ事ガ一方ニアリマス、サウシテ司法機關ノ方ハ然ラバドウデアルカト申スト、司法機關ノ方ハ是亦只今モ御話ノヤウニ、ドウモ世ノ中カラハ頗ル非常識ナ人達ノ集ツテ居ル所ノヤウニ云ハレテ居ル、サウ云フ所ノ人達ニ此活キタ調停ノ問題ヲ扱ハセルト云フコトハ宜クナイノデハナイカト云フヤウナ御議論モ隨分アツタノデアリ、又農民ヲ裁判所ニ出スノハ良クナ

イト云フ御説モアツタノデスケレドモ、一方向ト申シテモ我國ニ於テハ司法機關ノ方ハ割合ニ更迭モナク、又外力ニヨツテ動カナイト云フ事情ガアリマス、尙ホモウ一ツ現今調停法ガ無クシテ澤山調停ガ行ハレル、其上ニ調停法ナルモノヲ拵ヘテ之ヲ行フ上ハ相當込入ツタ問題ガ出來テ來ルダラウ、ソレニ對スル調停ニ付テハ從來何等ノ法律無シニ行ハレテ居ル調停ヨリモ、特殊ノ或程度ノ力、ソレハ昨日モ河田委員カラモ御話モアリ、又田子委員カラノ御質問モアツタノデアリマスガ、モウ少シ強イ力ヲ與ヘル仲裁判斷ト云フモノヲ置イタラ宜イデハナイカト云フ御考サヘアルヤウニ、何カ今ノ事實上ヤツテ居ル所ノ調停ヨリモ、モウ少シ進ンダ力ヲ與ヘル必要ガアルノデアラウト認メラレテ居ル次第デアリマス、其進ミ方ガモツト進ンダラ宜イデハナイカト云フ意見サヘモアル譯デアリマシテ、兎ニ角此案ハ今ノ事實上ノ調停ヨリモ少シク進ンデ居ル力ヲ持タセルヤウニト云フノデアリマシタ、ドウ云フ力デアルカト云フト、終リノ方ニアリマスヤウニ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ與ヘルヤウニスルト云フノデアリマス、又一方ニ於テ裁判所ニ訴訟ガ繫屬中ノ事件ナラバ、其訴訟ハ中止ヲスル、又調停ノ爲ニハ裁判上ノ手段トシテ用ヒラレテ居ル所ノ證據調等ノ方法ヲモ用ヒルコトヲ認メルト云フヤウナコトノ力ヲ此調停法ニ於ケル調停ニハ與ヘヤウ、斯ウ云ウコトニナツテ居リマス、是等ノ力ヲ與ヘル關係カラ致シマスルト、現今ノ我法制デハ矢張司法機關ニ於テヤラナイト云フト、連絡上不都合ノ生ズルノデ、其點カラシテモドウモ司法機關デヤツタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ譯デ司法機關ニ決

定ニナツタノデアリマス、ソレカラ尙ホ外國ノ工業労働爭議ニ付テノ労働立法ノ御話ガアリマシタガソレハ實ハモウ少シ詳シイ事ヲ桑田委員ニデモ特別委員會ニ御出席ヲ願ツテ御話ヲ承ツタナラバ非常ニ參考ニナツタコトガアツタラウカト思ヒマシタガ、甚ダ残念ナルコトニハ永ク外國ニ御出デ、御歸リニナツテカラモ亦長イ間御不快ノヤウデ、特別委員會ニ御出席ヲ願フテモ御出デガ出來ナカツタノデ甚ダ遺憾デアリマシタ、私共ニ於テモ少シハ爭議ノ仲裁機關ノ事モ調ベヲ致シ特別委員會デモ御研究下サツタノデアリマス、殊ニ獨逸ノ小サイ小作人ノ保護ニ關スル千九百二十年ノ立法ノ小作仲裁裁判所ノ規定ヲ參考致シタノデアリマス、ソレニ依リマス勿論ソレハ仲裁裁判デアリマシテ、餘程是ヨリモ力強イノデアリマスガ、獨逸國ノ法律ニハ司法機關若クハ下級行政機關ヲ主トスルト云フ様ニ兩方ヲ認メテ規定シテアリマスガ、併ナガラ聯邦各國ノ殆ド大部分ト云フモノハ裁判制度ノ備ハツテ居ル限リ皆區裁判所アタリデヤツテ居ル、唯行政官廳デ以テヤツテ居ル所ハ「リッペ」其外三國ノ極ク小サナ國ニ限ツテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、労働爭議ノ方ハ能ク存ジマセヌガ小作爭議ニ付テ獨逸ハ、サウ云フ風ニ新シキ立法ガ成ツテ居ルヤウニ思ヒマス、其實施ノ狀況ナドモ往ツテ見テ來ラレタ三宅委員、小平幹事等カラ色々聞イテ參考致シテ、マア司法機關デヤツタガ宜カラウト云フコトニナツタノデアリマス。

ソレカラ次ニ調停委員ハドウ云フ風ニシテ選ブ積リデアルカ、双方ノ合意ノ者デアレバ勿論宜イガサウデナケレバ稍々地主方面ニ傾クト云フヤウナ嫌ガアリハセヌカ、其邊ヲドウ云フ風ニヤラセル積リカト云フ御尋デアリマシタ、其點ハ矢張餘程重大ナ點ダト思ツテ居ルノデゴザイマス、之ヲ實際ニ當リマシテ、ドウ云フ風ニシテ選ブカト云フコトニ付テハ、先ヅ豫メ見當ダケハ付ケテ「リスト」ノ様ナモノハ拵ヘテ置カナケレバナルマイト思ヒマス、併シ果シテ其「リスト」ニ上ツタ多勢ノ人達ノ中デ其事件ニ付テ何人ニ指定ヲシテ宜イカト云フコトハ、具體的ノ事件ガ起ツタ際ニ更ニ調ベテ見ナケレバナラスコトト思ヒマス、ソレハ田舎ノコトデアリマスルカラ親戚關係ナドガ意外ニアリマス、餘程是ハ指定ヲスルノニムヅカシイコトニナラウト思ヒマスルガ、兎ニ角相當ノ「リスト」ヲ拵ヘテ置カナケレバナラス、即チ郡範圍位ノ所ニ於テ相當ノ人選ヲ成ベク多數ニヤツテ置クト云フヤウナコトガ必要ト思フノデアリマス、其種類ハ色々アリマシテ、御話ノ宗教家ノヤウナ者モ誠ニ結構ダラウト思ヒマス、又地主側、小作側ノ方ノ者モ差支ナカラウト思ヒマス、仲裁裁判ノヤウナコトデアリマシタナラバ、必ズ小作側、地主側兩方カラ其干與スル參與員ハ出サナケレバナルマイカト云フコトニナラウト思ヒマスルガ、昨日申上ゲマサウニ調停デアリマシテ、當事者間ノ話合ヲ付ケルコトヲ主タル目的ニシテ居リマスカラ、必シモ兩側カラ同數ニ出スコトニ限ル必要ハナカラウヤウニ思ハレル、ソレデ適當ナ人ヲ得ル關係上一方ニ於テ地主側ト思ハレル人デモ適當ナ人ガアツタナラバ、ソレハ宜カラウト思ヒマスガ、但シソレヲ指定シタ場合ニハ必ズ小作側ノ者ヲ出サナケレバイケナイト云フコトハ

是ハ動カスベカラザル原則デアラウト思ヒマス、中立ノ者モ宜シイ、地主側ノ者モ宜シイ、併シ地主側ノ者ヲ出ス以上ハ、小作側ノ者ヲ出サナケレバナラス、小作側ノ者ヲ出ス以上ハ、地主側ノ者ヲ取ラナケレバナラス、其外ニ中立ノ者ヲ入レテモ宜シ、又中立ノ者ダケデヤツテ宜イト云フコトニナルト思ヒマス、サウシナケレバ調停ガ成立ヌト思ヒマス、問題ハ唯双方カラ出スト云フコトヲ法律ニ規定スルカ規定シナイカト云フダケノ問題ヲ研究シテ見タノデアリマスガ、ソレハ兩方カラ出スト云フコトヲ獨逸ノ法律ミタヤウニ規定スル必要ハアルマイト云フコトデアリマシタ、獨逸ノ法律ニ依リマスト兩側カラ出スコトヲ明文ニ規定シテアリマス、本年ノ改正ノ如キハソレヲ出スノニ双方ノ代表團體ノ意見ヲ聞イテ豫メ決メテ置ケト云フコトサヘ書イテアリマス、シカシ我調停法デハサウ云フコトヲスル必要ハナカラウト云フコトデ、法文ニハ之ヲ現ハシテナイノデアリマス、ソレカラ此豫選ノコトニ付テハ小作監督官ガ郡長デアルトカ町村長或ハ農會長トカ小作組合長トカ、地主會長トカ云フヤウナ人々ト十分ニ意見ノ交換ヲ致シタ上デ、適當ナル人達ヲ選ンデ裁判所ノ任命基礎ヲ造ツテ置クコトノ必要ガアルト思ヒマス、ソレカラ自然地主側ニ偏重スルコトガナイカト云フコトデアリマスガ、是ハ今申シマシタヤウニ地主側ヲ選ブトキニハ必ズ小作側ノ方ニ關係ノ有ル者ヲ出サナケレバイカヌト思ヒマス、事實サウ云フコトニナルダラウト考ヘマス、唯小作側ノ人ヲ得ルニ困難デセウ、ソレカラ實ハ地主側ノ方ノ人モ任命ヲ承諾サセルコトハ仲々ムツカシイノデハナイカト思ハレル、桑田委員

ハ選定シテ出スコトノ方ヲ申サレタノデアリマスガ、之ハ寧ロ反對ニ選定ヲシテモ受ケルト云フコトガ地主側ノ方ハ尻込ミヲシナイカト云フ心配ヲ特別委員會ニ於テハ致シタノデアリマス、問題ハ田舎ノコトデアリマスノデ、ソレガ餘程地主ノ方ニ於テハ迷惑ナコトデアリ、實際私共ノ所ニ訪問セラレタ是ハ頗ル覺醒セラレタル地主ノ人々デアリマシタガ、多勢來ラレテノ話ニ、誠ニ調停法ハ結構デアル、併ナガラ調停委員ニハナリ手ガアリマセヌゾト云フコトデアリマシタ、近イ話ガ私共ガ指定ヲサレタナラバ先ヅ御免ヲ蒙リマス、何か罰則デモ出來ナケレバ行クマイト斯ウ云フ御話ガアリマシタ、伊太利ニハ罰則ヲ附ケテ居ル例モアルヤウデアリマスケレドモ、此方カラ御願ヒ申スト云フコトニシタノニ、ソレヲ肯カナケレバソレナラ罰則ダゾト云フコトハ如何カト思ハレマスノデ、正當ノ理由ナクシテハ斷ルコトガ出來ヌト云フ程度ニ、道德上ノ義務ヲ規定シテ置ク位ガ宜クハナイカト云フノデ其規定ヲ入レテアリマスガ、其規定ヲ入レテ趣旨ハ主ニ地主側ニ關係アル人ガ尻込ヲシヤシナイカト云フコトデ入レタ次第デアリマス、夫等ノ心配ヲ致シテ特別委員會デハ審議ガアツタ次第デアリマス。

○桑田委員 御説明デ能ク了解致シマシタ、尙ホ伺ヒタイコトハ調停機關ノ主管ノ問題ニ就テ縣知事トカ若クハ郡長トカサウ云フ人ガ調停主任ニナリマスト、行政ニ差支ヲ生ズルコトノアルコトハ御説明ノ通り疑モナイ、此處ニ此法案ノ中ニ小作監督官ト云フモノガアリマスケレドモ、小作監督官ノ官制ニ付テハ大抵ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、或ハ小作監督官ナルモノガ調停主任トシテハ最モ適

當デハナイカト云フ感モ致シマスガ、此小作監督官ノ官制案ガ出來テ居レバ御廻シテ願ヒタイ、大體其邊ノ御考ハドンナ所ニアリマスカ。

○石黒幹事 此官制ハ未ダ別ニ作ツテ居リマセヌ、特別委員會ニ於テモ議セラレタコトハナイノデアリマスガ、大體ドンナコトヲサセルカト云フ御話ガ出タノデス、別ニ特別委員會デ御決定ニナツタノデハアリマセヌガ、此ノ如キ職務ヲトラセタラドウデアラウト云フコトヲ控ヘテ置イタ物ガアリマスカラ、ソレヲ御廻シテ御覽ヲ願ツタラ宜カラウカト存ジマス、官制ト致シマシテ特別任用ノ官ヲ置ク必要ガアルト思ヒマス、是ハ地方ノ小作慣行ニ能ク通ジタ人デアツテ、而モ爭議ノ際今年ノ作ハドノ位デ、ドノ位引イタラ相當デアルトカ云フ様ナコトヲ色々調停主任カラ意見ヲ求メラレタトキニ、參考ニ有力ナル意見ヲ出スニハ相當鑑定等ノ出來ル技術上ノ素養アル人モ必要ト思ヒマス、此點ニ關シテハ田子委員カラ御質問ノ一ツ書ガ出テ居リマシテ、適當ナ所デ申上ゲルヤウニト云フコトデアリマスカラ茲ニ序ニ申上ゲマス。

田子委員カラノ一ツ書キノ御質問ハ配置ノ府縣待遇及職務ニ付イテ出テ居リマスガ、是ハ大體各府縣ニ配置スルコトニナラウカト考ヘテ居リマス、各府縣ニ高等官ヲ一名ツツ置キ、其ノ外ニ小作爭議ノ多數ニアル十數縣ニハ判任官ノ補ヲ十數名増置スルコトヲ要スデアラウ、ソレ丈ケデ此仕事ガ出來スカドウカトモ考ヘマスガ、ソレハ從來ノ事例ニ依テ忙シイ所デハ地方廳デモ管内ノコトデアル

カラ地方費デ手傳ヲ致スコトトナルデセウ、ソレデ今監督官補ヲ付ケルト云フコトヲ申シマシタガ、ソレハ北海道、東京、大阪、神奈川、兵庫、新潟、埼玉、三重、愛知、静岡、岐阜、岡山、福岡ノ十三道府縣ナドハ補ヲ附ケテ二人ヲ置ク必要ガアラウカト思ツテ居マス。

特別委員會ノ前回ノ御決定ハ大體此法案ヲ次ノ議會ニ提出スルヤウニ、ソレデ今豫算時期デアルガ故ニ總會ニ提出シテ決定スル時ヲ待ツトドウデアラウカト思ヒマシタノデ、農商務省ハ成ルベク此議會ニ提出スル見込ヲ以テ豫メ豫算等ニ付イテモ其ノ時期ヲ失シナイヤウニ計畫シテ置イテ貰ヒタイ、暑中休ミ後ニ總會ハ開カレルガ豫算ガ遅レテハイケナイカラ、其ノ邊ヲ注意スル様ニト云フ御決議ガアリマシタカラ、豫算ニ於テ兎ニ角要求ヲシタイト思ツテ立テマシタ案ガ今ノヤウナ案デアリマス、即チ特別委員會ノ決議ニ依ツテ法ヲ施行スルモノトシテ吾々が作りマシタ見當デアリマス、特別委員會ノ案デハアリマセヌ、職務權限ニ付イテハ唯今差上ゲマシタ物ニ就イテ御覽ヲ願ヒマスガ、地方ニ上テ居リマス、職務トシテドウ云フ事ヲ致スカト云フト、先ヅ地方ヲ受持ツテ監督官ノ方カラ申シマシタルト、調停法ニ關係スル事柄ハ勿論デアリマスケレドモ、ソレ丈ケデナクシテ調停法以外ノ事ニモ働ク任務ガ澤山アリマス、常ニ地主小作人ニ接觸シテ其ノ自覺ヲ促シ爭議ノ發生ヲ未然ニ防グ様ニ努メナケレバナラヌ、併ナガラ爭議ガ既ニ發生シタトキハ部長町村長ト聯絡ヲ保ツテ大事ニ至ラザル前ニ

適當ナ解決ヲ爲スヤウナ手段ヲ講ズル、若シ調停法ニ依ツテ調停シテ貫ヒタイト云フコトニ迄進ミマシタナラバ、初メテ調停法ノ規定ニ從ツテ其職務ヲヤルノデアリマス、調停法ニハ直接ニ色々ノ規定ヲ書イテアリマセヌガ、間接ニソレガ出テ來ルノデアリマス、例ヘバ調停委員ノ候補者ヲ豫メ地方ノ當局ト打合セテ「リスト」ヲ拵ヘテ置ク爲ニ、常ニ歩イテ接觸ヲ保ツテ居ル内ニ適當ナ人ヲ見出シテ置ク、サウシテ具體的ニ爭議ノ起ツタ際ニ其ノ「リスト」ノ中ノ誰々ヲ委員ニスルカト云フ様ナ事ニ付テ調停主任ノ相談ニ應ジテ助力ヲ致サナケレバナリマセヌ。

ソレカラ爭議調停其ノ他小作問題解決上必要ナル地方ノ小作事情ヲ平常調査シテ、調停ノ際ニ據ル所ノ材料ヲ整ヘ置クコト、ソレカラ技術上ノ問題トシテ減免トカ賠償等ノ鑑定評價ヲヤルト云フコトモ出テ來マス、當事者双方テ歩ミ合ヒガ附ケバ宜シイガ、附カナカツタナラバ調停條項ニ於テドノ位デ良イカト云フコトニ付イテ評價判斷ヲスル必要ガアリマス、之等ニ關スル意見ヲ監督官自ラ出ス場合ノ外調停委員カラ要求サレル場合ガアル、ソレカラ調停法ニ依ツテ調停ガ出來ルカ、或ハ調停條項ガ決定シテモ其ノ跡ガナカ／＼兩方共旨ク納マルコトガムヅカシイ場合ガナイデハナカラウ、調停ガ出來テ事實調停通リニ行ツテ居ラナイトキハ調停ニ從フヤウニサセルコトヲ盡力スル、是ハ至難ノ事ト思ヒマスガ、其處迄ヤル様ニアリタイ、ソレカラ其地方全般ノ小作爭議ノ狀況ヲ常ニ調査サセタイト思ヒマス、以上ハ調停法ノ事項ヲ中心トシタ小作調停ニ關スル仕事デアリマスガ、先ズ斯ノ如キ事

ヲサセル爲ニ監督官ヲ置カウト云フノデアリマス、監督官ト云フ名稱ニ付テハ特別委員會ニ於テ議論ガ出テ御相談ヲ願ツタノデスガ、良イ名前ガナクテ斯ウ云フコトニナツテ居リマス、外ニ小作法ガ出來ルトマダ仕事ハズツト殖エヤウト思ヒマスガ、今ノ所デモ之ヲ置クコトハ爭議ヲ調停スル上ニ於テ極メテ必要デアリマス。

次ハ農商務省ニ置ク小作監督官ノ職務デアリマスガ、地方ニ置キマシタモノヲ統一シテ事務ノ成績ヲ擧ゲルヤウニ監督セルコトト、調停法ノ實施ノ狀況ヲ調査シテノ圓滿ナル施行ヲ期スルコト、調停例ヲ調べテ將來小作關係法規ノ制定改善ニ資スルコト、小作爭議ノ狀況ノ調査及調停方法ノ研究ヲスルコト、ソレカラ技術上ノ問題トシテハ色々鑑定評價調査等ノ方法ハドウ云ウ方法ガ良イカト云フコトノ研究、即チ例ヘバ收量ノ決定ノ爲ニ坪苜ト云フコトガアルト、ドウ云フ坪苜ノ方法ガ良イカト云フ面倒ナ問題——眞ツ四角ニ間尺ヲ入レテ坪苜ヲスルノガ良イカ、或ハ一ノ中心ヲ設ケテ圓形ヲ描イテ其ノ中ノ取レ高ヲ見ルノガ正確デアルカ、其中心ヲ如何ニシテ定ムルカト云フヤウナ、色々ヤカマシイ研究問題ガアルヤウニ承知シテ居リマス、其等ノコトヲ十分ニ調べ置ク必要ガアル。

其ノ他小作爭議ヤ監督事務ニ付テノ年報ノ編纂ト云フヤウナ事務モアリマス、大體サウ云フ事務ノ爲ニ農商務省ニ監督官三人監督官補六人ヲ置キタイ豫定デアリマス。

○桑田委員 尙ホ伺ヒタイノハ、小作監督官ニ調停ノ事ヲ扱ハシテハイケナイト云フヤウナ意見ハア

リマシタカドウデスカ。

○石黒幹事 ソレハ別ニゴザイマセヌガ、調停法ニ據ル調停ト云フモノハ調停委員會ガスル規定デアリマス、調停主任ハ司法官ニ限ツテ居リマス、小作監督官ハ調停ニ關スルコトヲ色々致サネバナラヌコトハ前ニ申上ゲタ通りデスガ、調停法ノ主任ニナツテ調停ヲスルコトハ無イ譯デアリマス。

○桑田委員 此調停委員ノ選任問題デアリマスガ、只今幹事ノ御説明ニ依リマスルト、地主關係者ヲ二名置ケバ小作關係者モ二名置ク、双方同數デ入レル、勿論第三者或ハ小作監督官ヲ入レルトカ色々ノ者ヲ入レルコトガアラウガ、双方ノ利害關係者ヲ入レル時ニハ同數ヲ置クト云フ御意見デアリマシタガ、其事ハ法文ニ書イテハ惡イデアリマセウカ、法文ニ書カナケレバ或ハサウ云フ事ヲ議會ニ於テ法案ノ説明ノ場合ニ政府ガ明言ナサルカシテ置カナイト、ドウモ此法文ダケ見ルト、如何ニモ小作側カラ見ルト、是ハヲカシイゾ、地主ノ機關ダラウト恰モ協調會ヲ資本案ノ機關デアルト考ヘルト同ジヤウナ考ヲ起シハシナイカト思フガ、ドウデセウ。

○石黒幹事 特別委員會デハ調停委員ニ地主側ノ者ヲ選ビタル場合ニハ必ラズ小作人側ノ者モ同數ニ選バナケレバナラヌト云フ意味ノ條文ヲ設ケルカ、ドウカト云フ事ニ付テハ別ニ御相談ハゴザイマセヌデシタ、前ニ申シマシタノハ一方ノ側カラ委員ヲ選ンダラバト云フ條件付デハ無ク地主側カラ一名小作側カラ一名同數ニ必ズ選任スルモノトスト云フ、規定ヲシタラドウカト云フ問題ニ付テ御話ガア

ツタノデアリマス、若シ一方カラ選ンダラバト云フ條件付デ規定ヲ設ケルカ、ドウカハ新ラシイ問題デアリマス、其點ニ關シテ特別委員會ノ意見ガドウデアルト云フコトハ一寸申兼ネマス。

○桑田委員 幹事ノ御意見ハドウデアリマスカ。

○石黒幹事 私ハソレハ置イタラ良カラウト思ヒマス、片方カラ出タナラバト云フ事ハ明定サレテ然ルベキコトト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 御發言ハゴザイマセヌカ。

○塚本委員 小作關係ノ實體法ハ、マダ今後調査ノ上ニ定メラレル御見込ガオアリニナルヤウニ承リマシタガ、果シテサウデアリマセウカ、併シ小作關係ノ實體法ト申シマシテモ現今ニ於テ全ク無イ譯デナイ、矢張在ルノデアルト私ハ思ヒマスガ、即チ民法ノ小作權ニ關スル規定デアリマス、此規定ハ多ク今日マデノ日本ノ習慣トモ違ヒマスルシ、甚ダ不十分ナヤウニ思フ、又動モスレバ小作人ニ不利益ナル缺點モアルヤウニ思フ、若クハ利益保護ガ届カナイヤウニ思フ、モウ少シ小作人ノ利益保護ヲ加味シタル規定ヲ立法スル必要ガアラウカノヤウニ、私一個ノ意見トシテ思ヒマス、小作調停法ヲ設クルニ當ツテ小作關係ノ實體法ガ寧ろ無カツタラ良イカト思ヒマスガ、不完全ナル小作關係ノ規定、即チ民法ノ小作權ニ關スル規定、斯カル規定ノ下ニ於テ小作調停法ヲ行フコトガ、果シテ小作爭議ヲ圓滿ニ公平ニ決定シ得ル望ミアリヤ否ヤ、ト申シマスルノハ、調停ト申シマスレバ勿論最後ノモノデ

ナイ、法律ノ規定ヲ直チニ或ル事實ニ適用スルノデハナイ、色々ノ事情ヲ斟酌加減シテ適當ニ之ヲ調停スルノデアリマスケレドモ、併ナガラ調停ニ當ル人ノ頭ノ中ニハドウシテモ理窟ハ潜ンデ居ル、殊ニ其最後ノ標準トナルベキモノハ、動モスレバ民法ノ小作權ニ關スル規定ニナリ易イ、サウスルト私ハ思フ、恐ラク此調停ナルモノハ今日ノ小作關係ノ實體法ノ下ニ於テハ、小作爭議ヲ圓滿ニ調停シ得ナイ、動モスレバ小作人ノ保護ハ不行届ニナリハシナイカト云フ事ヲ虞レルノデアリマスガ、其點ニ付テ今日ノ小作權ニ關スル規定ノ下ニ於テモ調停ハ圓滿ニ、小作人ノ保護モ缺クルコトナクシテ行ハレルコトニナルノデアリマスガ。

ソレカラ次ニ簡單ナ事實問題デアリマスガ、從來事實上行ハレテ居リマスル調停ニ於テ、其ノ調停者タル者ハドウ云フ種類ノ人デアリマスガ、問題トシテハ甚ダ簡單デアルト思ツテ、サウ申シマシタケレドモ、事實ハ色々デアリマセウガ、御調べニナツテ居レバ承リタイト思ヒマス。

○石黒幹事 今日ノ法制ノ下ニ於テ、即チ民法ノ規定ノ下ニ於テ小作調停ガ圓滿ニ行ハレルカ、小作人ノ利益保護ガ良ク行ハレルカト云フヤウナ御質問デアリマスガ、是ハ圓滿ニ行ハレルト云フ事ト、小作人ノ利益ノ保護ガ行ハレルト云フ事トハ常ニ同ジコトデアルカドウカ、ソレハ色々皆様ノオ考ニ依ツテ程度ガ違フト思ヒマスガ、私ハ小作人ノ相當利益ノヤウニ調停ガ出來ルコトト信ジマス、

今日迄此調停法ニ就テノ大體ノ要領ナドヲ新聞ニ發表致シマシタ結果、地方カラ色々ノ人が出て來テ、農務局長ナリ私共ノ方ニ參リマス、又色々ノ意見ガ地方ニ於テ發表サレテ居リマス、地主ノ人々ノ意見トシテハ、非常ニ是ハ結構ナ事デアルト言ツテ賛成ヲシテ參ラレル人モアリマス、甚シキニ至ツテハ、豫備金ノ支出ヲシテ緊急勅令デヤツテ吳レト云フコトヲ言ツテ來タ人モアル、是等ハ地主ノ人々が如何ニ調停法ト云フモノガ有力ナモノデアルト思ツテ居ルカ——少シ思ヒ過ギテ居ルカト思ハレマスガ——ト云フコトガ分ル、小作側ニ於テモ相當效力ノアルモノト云フ風ニ考ヘテ居ルモノガアルヤウナ情報モ得テ居リマス、從來ノ外國ノ事例等カラ觀マスト、中ニハ仲裁判斷デヤルカラデモアリマセウガ、多クノ場合ニ於テ官廳ガ法律ノ下ニ於テヤツタ所ノ調停仲裁ノ結果ハ、相當ニ小作人ニ利益ナル結果ヲ見テ居ルヤウニ承知シテ居リマス、唯ソレハ別ニ實體法ト云フモノハ無クテモ、實體的權義關係ニ及ボス規定ガ組織法ノ規定中ニ一二箇條アルト云フ事ハ勿論、此調停法ト違ツテ居リマスガ、多クハ結果ガ小作人ノ利益ニ外國ノ事例ハナツテ居ルノデアリマス、我國ノ小作關係法規ハ御説ノ通甚小作人ノ保護ニ薄イノデアリマスガ、ソレデモ現今ノ實情ニ照シテ調停シテ行クカラニハ、小作人ニ相當利益ニナル保護ヲ與ヘルコトハ難カシクナイト思ヒマス。

第二ハ現在調停ノ實際ニ當ツテ居ル者ハドウ云フ種類ノ者ガアルカト云フ御尋ネデアリマスガ、是ハ色々地方ニ依リ爭議ノ事件ニ依リテ違ヒマスノデ、幾ツノ事件ニ付テドウ云フ者ガ調停シタト云フ數ヲ詳シク言フコトハ出來マセヌ、唯種類ハドウ云フ者カト云フ事ヲ申シマスルト、官公吏、有力者

ト云フヤウナ者が多い、町村長、助役、區長ト云フヤウナ公吏、中ニハ郵便局長ト云フヤウナ事例ガアリマス、或ハ篤農家ノ自作農ガ中ニ這入ツテ、ソレガ一人デヤツタト云フ例モアリマス、町村會議員、神官、僧侶、小學校教員、ソレカラ醫者ガアル、醫者ガ這入ツタ例ハ大分アリマス、ソレカラ銀行ノ支配人ガ這入ツタト云フ事例モアリマス、警察官トシテハ巡查部長ヤ署長ガ大キナモノニ這入ツテ、小サナモノニハ駐在巡查ガ這入ツタ事例ガ可ナリ澤山アリマス、郡長ハ勿論澤山アリマス、郡書記、稅務署長、稀ニハ内務部長ガ這入ツタト云フノモアリマスガ、内務部長ガ這入ツタノハ結果ハ纏マラヌヤウデアリマシタ。

ソレカラ地主小作ガ兩方カラ委員ヲ出シテ、委員會ヲ設ケテ、其委員ガ間ニ入ツテヤツタトカ、或ハ郡町村ノ農會ガ間ニ入ツテヤツタト云フヤウナ事例ガアリマス、産業組合ガ入ツタト云フ事例モ一ニアリマス、學者ガ入り損ナツテ片方ニ行ツテシマツテ、大變ニ評判ヲ悪クシタ例モアリマス、尙ホ學者ニ於テハ調停ノ方ニ御入りニナツタカドウカ知レマセヌガ、河田委員ノ如キモ御關係ニナツタ所ガアル様ニ新聞デ承知致シマシタ、ソレカラ技術者ガ技術者トシテ個人ノ資格デ以テ入ツタト云フ例モゴザイマス、大體ソンナノガ調停者ノ種類トシテ御尋ニ御答申上ゲマス、ソレノ分量ハドウデアツタカト云フコトハ統計的ニハ取レマセヌノデ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、公吏ト有志家、警察官ト云フモノガ一番多イヤウニ考ヘマス。

○佐藤(友)委員 昨日來ヨリ幹事並ニ特別委員長カラ本法ノ御説明ハ大體私モ了解致シマシタ、私共本法ノ全部ヲ見マスルト、餘リ其法律案トシテ權威ガ無イカト考ヘラレマス、併シ昨日幹事、委員ノ御話ノ通り目下地主小作ノ爭議ガ日ニ頻發シテ困ル、故ニ急イデ此法案ヲ拵ヘタ、シテ見ルト今調査ニナツテ居リマスル小作制度ノ法案ノ一ツノ附屬法案ト看做シテ宜イノデアリマスルカ、又ハ其小作法案ガ出來ルマデノ間ノ中間法案トシテ見テモ宜シイノデアリマスカ、其邊ガ分リマセヌ、ソレヲ第一ニ伺フ、第二ニハ此法案ハ誠ニ微弱ト云フト甚ダ失禮ノ話デスケレドモ、微弱ナル法案カト思ヒマス、爭議ノ當事者ガ聽カザルトキハ、矢張普通ノ民事訴訟法ニ依ツテ出サナケレバナラヌト云フヤウナ手數ニナツテ居ル、明治十二三年頃カト思ヒマスルガ、此裁判所ニ於テ區裁判所カラシテ市街地ノ形ヲ成シテ居ル所へ、是ハ小作バカリデハナイ、何事デモ民間ノ爭議ヲ和解セサル爲メノ出張所ヲ設ケテ、一箇月ニ五度トカ六度判事ガ其處ヘ來テ、サウシテ爭議ヲ調停シタコトガアリマシタ、殆ドソレト同ジャウナ此法案ノ内容カトモ私ハ思ヒマス、其事柄ハ餘リ民間ニ效能ハ無イカラ、遂ニ司法省ニ於テ之ヲ廢シテシマツテ、今ハ其事ヲ止メテシマヒマシタ、ソレハ明治十四五年頃カト私ハ記憶シテ居リマス、今日ノ此本法モソレト同一ノ性質ヲ帶ビテ居ナイカ、唯條文ニ掲ゲタダケノコトデ、誠ニ其爭議者ニ對シテハ不徹底ノ法案カト考ヘマス、ケレドモ先刻申サレタ通り小作法案ガアレバ、其中ニ審判所ヲ設ケル、權威アル所ノ法律ヲ設ケル、斯ウ仰シヤルカラ已ムヲ得マセヌケレドモ、併シ

斯ウ云フ法案ヲ御拵ヘニナツタノハドウ云フ意味デ御拵ヘニナツタカ、第二ニハ權威アル法律ニナルト云フト誠ニ當事者ニ於テ害ガ有ルト云フ御趣意デ御拵ヘニナツタノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス。

○石黒幹事 小作調停法ハ小作法ノ附屬法デアルカドウデアルカト云フ、第一ノ御質問デアリマシタ、是ハ昨日矢口サンカラモ小作法トノ關係ハドウデアルカト云フコトノ御尋ノトキニ御答申シタト同様ニ、極メテ密接ノ關係ハ有ツテ居リマスルガ兩方別デゴザイマス、必ズ小作法ノ附屬ノ法律デハアリマセス、ソレカラ本法ハ非常ニ微弱デアルガ、元トアツタ裁判所ノ出張所ノヤツテ居ツタ事デ成績ガ悪クシテ止メタコトト同様ニナリハシマイカト云フ御意見デアリマスガ、昨日モ一寸申上ゲマシタヤウニ、確カ勸解裁判所トカ何トカ云フモノガアツタヤウニ承知シテ居リマス、是ハ私ノ漸ク生レタ頃ノ制度デアツタヤウデ、詳シイ事ハ存ジマセス、本法ガソレト同ジモノデアルカドウカト云フコトモ隨テ申上ゲ兼ネマスガ、本法ガ微弱デアルト云フコトハ御説ノ通りデアリマス、所ガ其微弱ノ所ガ良イノダト云フ御意見ガ特別委員ノ中ニ大分アリマシタ、ソレハ今ノ法制ニ於テ速ニヤルノニハ此位ノ所デナケレバ行クマイト云フコトガ一ツノ理由デアルト云フコトハ、昨日モ申上ゲマシタガ、尙ホ其他ニ此程度ノモノガ最モ適當ナノデアル、此以上強ク行クト云フコトガ事體ノ性質上出來ヌモノデアル、斯ウ云フ積極的賛成説モアツタノデゴザイマス、兎ニ角ソレデ田子委員カラモ昨日御質問モアツ

タノデゴザイマスガ、ドウ云フ風ニ此小作爭議ト云フモノヲ觀テ居ルカ、借地借家關係ノヤウナモノト同様ニ觀テ居ルノデアルカ、モット大ナル社會不安ヲ今日來シテ居ル問題デアルカラ、又別ニ之ニ就テハ違ツタモノトシテ考ヘナケレバナライノデハナイカト云フコトハソレハ人々ノ考デ違ヒマセウ、ソレヲドウ見ルカト云フ觀方ニ就テノ特別委員ノ御一致ハナカッタノデスガ、唯略ボ此調停法案ノ程度ノモノヲ出スコトガ、今日緊急ノ必要ニ應ズル所以デアルト云フ點ニ御意見ガ一致シタノデアリマス、ソレナラバモット威力ノ有ル法律ヲ立テルコトハ害ガ有ルト見タノカト云フ御質問ニ付アハソレハ權威有ル方法機關ヲ定メルコトニ就テハ、一部ノ委員ニ於テ希望ガアツタト共ニ反對ニ、サウ云フモノヲ拵ヘタ所デ實行ガ出來ヌデヤナイカ、徹底的ニ實行ガ出來ヌ、如何ニ裁判ヲシタ所デムツカシイト云フヤウナ御意見モアツタノデアリマス、之ハ積極的ニ害ガ有ルト御認メニナツタトハ思ヒマセヌガ、設ケテモ仕方がナイデハナイカト云フ御意見ガ確ニアツタヤウニ記憶致シテ居リマス。

○佐藤(友)委員 一寸伺ヒマスガ權威アル所ノ法文ヲ拵ヘテモ何等效能ガ無イト云フノハドウ云フ譯デ效能ガ無イノデアリマスカ、サウスルト調停會ニ掛ケマシテ當事者ガ承諾シナイトキハ民事訴訟法モアル、兎ニ角裁判所デ解決ヲシナケレバナラヌ、ソレナニ重ノ手數ヲ掛ケルヨリモ調停會デ權威アル方法ガアツタナラバ、ソレデ終結ノ裁判ト看做シテ、サウシナケレバ當事者ニ二重ノ手數ヲ掛ケルコトニナリマスガ、其邊ハ能ク分リマセヌカラ尙ホ詳シク……

○石黒幹事 私ノ申上ゲ方ガ甚ダ不完全デアツタノデアリマセウガ、昨日モ申上ゲマシタヤウニ、特別裁判所ノモノヲ拵ヘマシテ、其處ノ決定ニ對シテハ上訴モ許サヌ、其處デ決定シタ通りニ裁判ガ確定シテシマフト云フヤウナモノヲ拵ヘルト云フノガーノ遣方デゴザイマス、サウ云フ式ニヤルノモ一方法ダラウト思ツテ、實ハ小作法案ノ中ニハ其案ヲ掲ゲテ置キマシタ、併シサウ云フ程度ノモノハソレハ普通裁判所ニ任セテ宜シイ、今行フ所ノモノハサウ云フ力ノ有ルモノヲヤルヨリモ、寧ロ當事者ノ話合デ出來ルヤウナ風ニシテソレニ相當ノ力ヲ與ヘタモノヲ手取早ク設ケルノガ宜シイト云フ意見ニ一致シタノデアリマス、唯此調停法ニ於テ調停ノ結果ハ必ズ行ハシムルト云フ裁判所ノ判決ト同様ニスルト云フ力ヲ與ヘルコトハ、與ヘタ所デ行ハレナイコトガナイデハナカラウト云フ見解デゴザイマス、横井委員ノ如キハ寧ロ此レヨリモモウ一ツ簡單ナ町村ダケデ出來ルヤウナモノニ就テ何カ攻究ヲシタ方ガ便利デ且必要デハナイカ、詰リ極ク軟ニ話ヲ決メ得ル時ニ於テ決メテシマハウト云ウヤウナ方ノモノニ、特別ノ立法ヲスルコトガ必要デハナカラウト云フ御意見モ御持チニナツテ居リマス、又是ト反對ニ強イ方ニ特別裁判所ノ仲裁判斷ヲスルコトノ必要デアラウト云フ御意見ヲ志村委員ガ御持チニナツテ御注文モアリマシタガ、其真シ中ノ此法案ヲ立テテ置ク必要ハ兩方ノ論者トモ認めラレテ此處ニ落チタノデアリマス。

○河田委員 私ハ昨日モ質問致シマシタノデ、若シ他ノ御方デ御質問ガアリマスレバ後ニ致シテ宜シウゴザイマスガ、ゴザイマセヌヤウデアリマシタナラバ一ツ伺ヒタ。

○議長(岡本委員長) 此際御質問ヲ願ヒマス。

○河田委員 私ハ此法案ヲ自分ノ考ダケで見マスルト、三ツ重要ナ點ガアルヤウニ思フノデアリマス、ソレハ第一條ト、サウシテ第九條、第十條、ソレカラ第三十五條デアラウカト思ヒマス、内容的ニ申シマスレバ調停委員會ノ所管ニ屬スベキ色々ナ事件ノ範圍管轄範圍ト申シマスサウ云フモノ、一ツハ其調停委員會ノ組織ト、今一ツハ調停委員會ノ決定ノ效力デアラウト思ヒマス、ソコデ第一番ニ第一條ノ方カラ伺ヒタイト思ヒマスノハ、此處ニ又二ツ伺ヒタイ點ガアルノデアリマス、一ツハ此法案ヲ見マスルト「小作料其ノ他小作關係ニ付爭議ヲ生ジタルトキ」斯ウ云フ風ニ極ク概括的ニシテアルノデアリマス、是ハ事實問題デアルト法律問題デアルトヲ問ハズ、苟クモ小作關係ニ屬スル事デアツタナラバ、悉ク調停委員會ニ持テ來テ宜イモノ、詰リ何デモゴザレト云ツタ風ニ見エルノデアリマス。

ソレデハ私ハ調停委員ガ其煩ニ堪ヘナイヤウナ事ガナイデハナカラウト心配致スノデアリマス、ソレデ外國ノ例ヲ見マシテモ列舉的ニ掲ゲテアリマス、尤モソレハ仲裁裁判的ノ性質ヲ持ツテ居ルカラデアアツテ和解的ノモノニハ一々書ク必要ガナイト云フ説モアリマセウガ、和解ト同時ニ仲裁ノ性質モ持ツテ居リマスカラ、矢張是ハ列舉シタ方ガ良カラウト思ヒマスガ、其ノ點ニ付イテ特別委員會デハ御研究モアツタコトト思ヒマスカラ其ノ點ヲ伺ヒマス、掲ゲマスコトニスレバ私ハ一寸思ヒ附イタ

コトモアリマスカラ後ニ申スコトニ致シマス。

其次ニ、當事者ノ申立ニ依ツテ調停スルコトニナツテ居リマスガ、是ハ英國式ニ當事者ノ意思ヲ重
ンジテ當事者ガ申立テル場合ニ限ルトナツテ居ルヤウニ思ヒマス、併シ國家ガ積極的ニ自カラ進ンデ
調停ヲ試ミルト云フ點ニ付イテ何カ御研究ガアリマシタカ、若シ國家ガ積極的ニヤルト云フナラバ私
ハ寧ロ小作監督官ニ調停ノ申立ヲスル權限ヲ與ヘテハドウカト思ヒマス、果シテ善イカ惡イカ十分練
ツテ見ナケレバ分リマセヌガ、彼處ニ御陳列ニナツテ居リマス岐阜縣損斐郡カラ明治二十八年ニ出テ
居リマス小作條例ノ建議案ヲ見マヌルト、小作檢定会ヲ拵ヘテ其ノ權限トシテ此檢定会ハ場合ニ依ツ
テハ自カラ進ンデ調停ヲ爲スコトガ出來ルモノニシテ欲シイト云フコトガ書イテアリマシタ、日本デ
モ古クカラサウ云フ考ガアルヤウデス、又現今デハ國家カラ進ンデ干涉シテ吳レバ有難イト思フヤ
ウナ當事者モアルト思ヒマス、此點ニ付イテドウ云フ御意見ガアリマシタカ承リマス。

次ニ簡單ニ九條十條ノ調停主任及調停委員ノコトニ付イテ伺ヒマスガ、是ハ桑田委員ノ御質問ニ對
スル御答辯デ私ノ承リタイコトハ分カリマシタガ、其ノ上ハ私ノ意見トシテハ法文ノ上ニ、地主ト小
作人ト同數ノ委員ヲ出スト云フコトヲ明瞭ニ書ク方ガ良カラウト思ヒマスガ、意見トナリマスカラ唯
今ハ控ヘテ置キマス、若シ此際申シテ良イト云フコトナラバ申シテ宜シイノデアリマス。

其ノ次ニ第三十五條ノ規定デ、若シ調停ガ出來タ場合、サウシテソレガ裁判所ノ認可決定ノアツタ

トキハ裁判上ノ和解トナルト云フノデアリマスガ、裁判上ノ和解ノ法律上ノ效力ハ、私ハ法律ハ素人
デ分カリマセヌガ、法律専門家ノ委員カラ教ヲ戴クコトガ出來レバ仕合セト存ジマス、以上申シタコ
トヲ伺ヒマス。

○石黒幹事 第一ノ御質問ハ、調停ヲ申立得ル事柄ノ範圍ガ漠然トシテ居リマス爲メニ、調停委員ガ
困リハシナイカト云フコト、ソレニ付イテ何等カ特別委員會デ議論ハナカツタカト云フコトデアリマ
シタガ、是ハ特別委員會ノ命ヲ承ケマシテ幹事ガ立案スル際ニドウ云フ風ニ立案シテ良イカ、要點ヲ
伺ツタノデアリマスガ、其際ニ特別委員會ハ廣ク小作關係ニ付イテハ何デモヤルコトニスルト云フ御
意見デアリマシタ、蓋シ其ノ御意思ヲ忖度致シマスルニ河田委員自カラモ仰シヤツタヤウニ是ハ全體
和解ト云フコトノ考デ出來テ居リマス、和解ナラバ何事ト限ルノハムヅカシク、又限ルニ必要モナイ
ノデアリマス、併ナガラ法文ヲ書ク上ニ於テ勿論借地借家調停法ニ於テハ第一條ニ稍列舉的ニ掲ゲテ
アリマスガ——「其ノ他借地借家關係ニ付キ」ト廣クナツテ居リマスカラ、法文トシテハ其方ガ良イカ
ト思ヒマシタ、當初ノ立案ニハ耕作又ハ牧畜ヲ目的トスル土地ノ賃貸借關係其ノ他之ニ附隨スル關係
ナドト書イテ見マシタガ、サウ云フコトヲ書イテモ其他小作關係トナツテ仕舞フ、ソレデ同ジ事デア
リマスカラ、サウ云フモノヲ省キマシテ此案ガ出來タヤウナ次第デアリマス。

第二ハ、當事者ノ申立ニ限ツテ居ルヤウデアルガ、國家ガ其ノ機關ヲシテ働カシメルコトヲ必要ト

シハシナイカ、若シヤラセルトシタナラバ小作監督官ヲシテ之ニ當ラシメテハドウカト云フ御質問デアリマシタガ、國家ニヤラセルガ良イト云フコトハ特別委員會デハ御議論ガナカツタノデアリマス、別ニ必ズ當事者ノ申立ニヨル英國式ニヤルトカ、國家モ干涉シテ調停スルニユ、ジラント式ニヤルトカ云フヤウナコトハ御議論ハナカツタノデアリマス、唯和解ノ性質トシテ當事者ノ間ニ話ヲ極メテ往クコトトシ國家ガ加ツテ話合ヒヲ助ケテ見タラ良カラウ、無理ニサセテシマハナイデモ良イト云フ考ガ皆サンニ於テアツタカト思ハレマス、兎ニ角議題ニハ上ラナカツタノデアリマス、第十四條ニ於テ當事者ガ期日ニ出頭スルコトヲ必要トシ、若シ出頭シナケレバ之ニ對シテ制裁ヲ設ケテ居リマスガ調停ニ應ズル應ジナイニ拘ラズ、期日ニハ必ズ出テ來テ顔合せ丈ケハ是非ヤラセル、食ハズ嫌ヒ丈ケハ許サヌ、茲ニハ國權ノ干涉ガアルノデアリマス、其處迄ハ必ズヤラセルコトニナツテ居リマスガ、夫レ以外、當事者ノドチラモ申立モシナイノニ國家ガ機關ヲ使ツテ此爭議ハ必ズ調停ヲヤルト云フ迄ニ干涉スルコトハ特別委員會ニ於テ問題トハナリマセヌデシタ。

ソレカラ第三ハ御意見デアリマシタ、第四ハ第三十五條ニ認可決定アルトキハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有スト云フコトハドウ云フコトニナルノデアアルカト云フ御質問デアリマスガ、私モ裁判上ノ實際ノ事ハ知リマセヌガ、今度俄ニ仕入レタ所デ申上マスト和解ト申シマスノハ當事者ノ間ニ於キマシテ私法上ノ權利ニ付イテオ互ニ讓歩シテ爭ヲ止メル契約的ノモノト覺ヘテ居リマス、然ルニソレガ

強制執行ヲスルコトノ出來ル所謂債務名義トナル爲メニハ特殊ノ形式ヲ要スル、其ノ形式ハ何デアアルカト云フト茲ニ謂フ裁判上ノ和解ト云フ形式デナケレバナラス、事實上ノ和解デハイケナイ、一種ノ訴訟行爲デアル和解ガ必要デアル、サウシテ其ノ裁判上ノ和解ニハ二ツアリマシテ、一ツハ訴訟ガ既ニ提起サレテ其ノ後ニ行フ裁判所デスル和解、今一ツハ訴訟提起ヲ爲ス前ニ區裁判所デ致ス和解、此二ツノ種類ガアルノデアリマス、其ノ何ゾレデモ宜シイガ、此二ツノ中ノ一ツデアアルナラバ直ニ強制執行ノモトニナル債務名義ト認メラルルト云フコトニナツテ居リマス、裁判上ノ和解トナルニハドウカト云フト書記ガ調書ヲ作ツテ内容ヲ明瞭ニ記載シ、其ノ調書ガ強制執行ノ本タル債務名義ニナル、斯ウ云フ風ニ民事訴訟法ニ規定サレテ居リマス、尙ホ事實上是ガドウイフ風ニ動クノデアアルカト云フコトハ岩田、池田、三宅ノ各委員カラ附加ヘテ頂イタ方ガ良カラウト思ヒマス。

○河田委員 普通ノ和解ト裁判上ノ和解トノ效力等ニ就キマシテ、尙ホ岩田委員ナリ司法省ノ委員ナリ、ドナタカラデモ伺フコトガ出來マスレバ仕合せデアリマス。

○議長(岡本委員長) 岩田委員カ池田委員カラ……

○岩田委員 民事局長ガオ出デスカラ

○池田委員 私ハ其方ノ責任者デハアリマセヌガ、指名ガアリマシタカラ申上ゲマス、只今石黒委員ノ仰セニナリマシタ通りデ、更ニ此上ニ申上グル事ハナカラウト思ヒマス、詰リ民法ニ規定スル和解

ハ單純ノ契約デアリマシテ、裁判上ノ和解ト申セバ今仰セニナツタヤウニ訴訟ニ關係シテ裁判所ニ於テ和解ヲスル、ソレニ裁判所ガ干與スル、サウシテ裁判所ノ手續トシテ和解ヲスル、ソコデ和解スレバ起ツタ所ノ事件ハ終結シ、成立ツタ所ノ和解ニ依ツテ當事者ヲ拘束スル公ノ力ヲ生ズル、ソレニ依ツテ直チニ公力ヲ用キテ執行スルコトガ出來ル、單純ナ和解デアレバ權利義務ノ關係ハ定マリマシテモ、ソレヲ公力ヲ以テ執行スルニハ更ニ裁判ヲ起スナリ何ナリシナケレバナラヌノデアリマス、裁判上ノ和解ハ成立ツタモノニ依ツテ直チニ公力ヲ用ヒテ相手方ノ義務ヲ強制スルコトガ出來ル、是ダケノ相違ガアルモノト考ヘテ居リマス。

○矢口委員 只今和解ト云フ事ニ付テ大分細カイ質問ガアリマシタガ、アレハ私共覺エテ居リマスルニ、本議會デアリマシタガ、和解ガ和議法ト云フモノニナリマシテ、大分問題モ込入ツテ居ルヤウデアリマスカラ、此事ハ少シ除ケテ置キマシタ方ガ却ツテ良カラウト思ヒマス、横道ニ這入ルト議題ノ進行ヲ妨ゲマスカラ、是ハ此位ニ御止メ置キヲ願ヒマス。

○星島委員 私ハ從來申シテ居リマシタガ、小作ト云フ文字ハドウモ面白クナイト思ヒマス、私ハ地主デアリマスガ、地主ト小作トノ關係デ、小作人ト云フノハドウモ耳障リニナル、委員會ノ方デハ此小作ト云フ事ニ就テ文字ヲ御變ヘニナルヤウナ御話ハナカツタノデスカ、自分ハ取敢ヘズ考ヘマスニハ、小作者地主ト云フコトニナツタラドウカト思ヒマス、別ニ事實ニ於テハ違ヒハアリマセヌケレド

モ、ドウモ此小作人ト云フノハ、將來何カ良イ文字ニ變ヘタイ、新平民ヲ特殊部落ト云フヤウナ名ニ變ヘルノト殆ド同一デアリマスルガ、何カ良イ名稱ヲ附ケルコトハ出來ナイカ、或ハ小作者地主トデモシタラドウカト思ヒマスガ、幹事カラ御話ニナリマシタガ、監督官ナドモドウモ私ハ耳ニ障リマス、アレモ遠カラズ何トカ農作巡察官ト云フヤウナコトニデモシテ、成ダケ文字モ穩カナ文字ヲ使ツタラト思フノデアリマスガ、別ニ特別委員會デハサウ云フ御意見ハ出ナカツタノデアリマスガ、一寸伺ヒマス。

○石黒幹事 小作人ト云フ文字ガ耳障リニナルト云フ御話デアリマスガ、第一回ノ總會デ調査項目ヲ議サレタトキ、山田委員カラ小作人ガ良イカ小作農ガ良イカト云フヤウナ事ニ付テノ御話ガアツタヤウニ覺エテ居リマスガ、此法案ニ付キマシテハ、小作ト云フ文字ガ特別委員會デハ問題ニナラナカツタノデアリマス、山田委員モ御出席デアリマシタガ、別ニ之ニ付テハ御議論ハゴザイマセヌデシタ、或ハ斯ウ云フ事ガ却ツテ地方ニ於ケル感情ノ問題ニイカヌ事カモ存ジマセヌガ、ドウモ今日小作人小作人ト言ツテ居ツテ、又事實小作人ト云フモノガアルノデアリマスカラ、名稱ヲ特ニ變ヘテ書クノモドウカト思ヒマス、小作者ト云フヨリモ小作人ト云フ方ガ通ツテ居リマス、尤モ小作人ト云フ文字ハ法文中ニハ無カツタト思ヒマス、小作ト云フ文字ハ勿論アリマスガ、是ハ餘談ニナリマスガ、先般御配リヲ致シマシタ佐賀藩ノ土地改革小作人ニ土地所有權ヲ附與シタト云フ、鍋島閑叟公ガ思切ツテヤ

ラレタ事例ガ非常ニ参考ニナルノデ御配リヲ致シマシタ、アノ中ノ文書ニ、或ハ其地方ノ言ヒ慣ハシ
ダラウト思ヒマスガ、或ハ其點ヲ特ニ注意シタノカモ知レマセヌ、地主、作主トアル、作主ト云フ名
稱ヲ附ケタナラ御話ノ通リトスレバ地主小作人双方満足カモ知レマセヌ、ソレカラ監督官ノ名前ハド
ウモ宜シクナイトノ話ガ、特別委員會デモ出マシタ、ケレドモ、ドウモ良イ名稱ガ無いノデ其儘ニナ
ツテ居ルノデアリマス。

○矢口委員 議長ニ一寸伺ヒタイノデアリマスガ、此法案ニ付キマシテハ、大體ノ質問ヲスル御方モ
アリマスルシ、又條項ニ互ツテ質問スル方モアリマス、モウ條項ニ互ツテ質問ヲスルト云フヤウナ風
ニ只今進行シテ居ルノデアリマセウカ、一寸分リマセヌノデ伺ヒマス。

○議長(岡本委員長) 私ハ全體ニ付テ御質問ノアルノハ勿論、各條項ニ付テモ質問ハ此際願ツタラ宜
カラウト思ヒマス——他ニ御質疑ハゴザイマセヌカ。

○石黒幹事 各條ニ付テノ御質問ニナリマスルト、田子委員カラ適當ノ時ニ於テ答ヘテ欲シイト云フ
ノデ、纏メテ質問書ヲ御受ケシテ居ルノデアリマスガ、ドウ致シマセウカ。

○議長(岡本委員長) 他ニ御質問ガゴザイマセヌカラ、ドウデスカ此際……

○矢口委員 一寸伺ヒタイノデアリマスガ、大分質問中ニ、此法案ハ或ハ尙早ト云フヤウナ質問モア
リマスルシ、又效力ガ甚ダ弱イト云フ質問モアリマス、詳細ニ互ルニハ、是ハ此法案ハ兎ニ角議シテ

見ルト云フ趣旨デナケレバシナイ筈デアリマス、満場ノ諸君ハ此法案ハ提出スベキモノデアルト一體
御認メニナツテ、議論スベキモノデアルト云フ事ニ大體ノ御考ガ御一致ニナツテ居ルノデゴザイマセ
ウカ。

ソレガ議題トナツテカラ其事ヲ議スルノガ相當デアリマセウガ、兎ニ角特別委員會ノ出シタモノデ
アリマスガ、特別委員ノ數ハ十名デアリマシテ、三十三名ノ委員數カラ見ルト三分ノ一ニ足リナイノ
デアリマスカラ、果シテ議スルモノデナイト云フコトニナリマスレバ、詳細ノ質問ヲスルノモヲカシ
ク考ヘル、全委員諸君ハ、法案ノ内容ハ兎ニ角、此法案ハ議題トシテ議スベキモノデアルト御認メニ
ナツタノデアリマセウカ、私ニハソレガ分リマセヌノデ……

○議長(岡本委員長) 議長ニ於テモソコハハツキリ、ドナタカラモ其事ハ出マセヌカラ分リマセヌ、
併シ私ハ斯ウ考ハマス、質問ガ了リマスレバ先ヅ討議ニ移サナケレバナラヌ、討議ニ移シマシテ先ヅ
大體ノ御意見ガ出ヤウト思ヒマス、丁度今矢口委員ノ仰シヤルヤウニ逐條ニ細カク審議スルカ、是ハ
審議スベキモノニアラズト御認メニナレバソコマデ行ク必要ハ無イト思ヒマス、今ノ場合ハ先ヅ質問
ノ場合デアリマス、御質問ニナツテカラ其上ニ御意見ヲ承ル、先ヅ質問ヲ了リマシテ、ソレカラ後ニ
大體ノ御意見ヲ伺フコトニシタラ如何デアリマセウカ。

○矢口委員 サウ致スヨリ外ハゴザイマスマイ。

○議長(岡本委員長) 他ニ御質問が無ケレバ、此際石黒幹事ヨリ田子委員ノ御質問ニ對シテ御答ヲ願ヒマス。

○石黒幹事 田子委員カラノ御質問ガ四ツ出テ居リマスガ、一ツハ濟ミマシタノデ、他ノ三ツニ付テ御答申上ゲマス。

ソレハ第二條ニ付テ、郡長市町村長ガ意見ヲ述ベルコトノ出來ルノハ第二條第一項ノ場合ノミニ限ラレルヤウニ思ハレル、即チ第二條第一項ニ「前條ノ申立アリタルトキハ市町村長又ハ郡長ハ遲滯ナク之ヲ裁判所ニ送付シ且町村長ハ郡長ニ郡長ハ町村長ニ通知スルコトヲ要ス」トアツテ其場合ニハ意見ヲ附シテ宜シイ、意見ヲ述ベルコトノ出來ル場合ハソレダケデアツテ、第三條ノ一項、即チ當事者ガ直接ニ裁判所ニ申立ヲ爲シタ場合ニハ裁判所ノ方カラ關係市町村長郡長ニ通知スルダケデアツテ、直接市町村長ノ側カラ發動的ニ意見ヲ述ベルコトハ認メラレテ居ナイヤウデアアル、唯二十四條ニ依ツテ、調停主任ガ意見ヲ徵シタ場合ニハ意見ヲ述ベルコトガ出來ルト云フ風ニナツテ居ルニ過ギナイヤウニ思フガ、ソレハドウ云フ理由ガアルカト云フ御質問デアリマス、是ハ裁判所ノ方カラ申立ガアツタカラト云フ事ヲ通知シタ際ニ、市町村長郡長ハ意見ヲ申述ベテハイカヌト云フ理由モナケレバ從テ其ノ意味デハゴザイマセヌ、勿論此際ニ意見ヲ述ベルコトモ出來得ル、第二條ノ場合ニ意見ヲ述ベ得ルト同様ニ認ムル積リデアリマス、唯法文ガ缺ケテ居リマス、其レハ確カニ缺點ト思ヒマス。

ソレカラ第二十三條ノ調停委員會ノ評議ハ秘密トスルト云フ規定ガゴザイマスガ、此評議ヲ秘密トスルト云フコトハドウ云フ理由デ秘密ニスルノデアアルカト云フ斯ウ云フ御質問デゴザイマス、是ハ調停委員會ガ以テ調停委員ガ甲ガドウ云フ風ナ意見ヲ言ツタカ、乙ガドウ云フ風ナ意見ヲ言ツタカト云フコトハ秘密ニ致シマセヌト云フト、十分自由ナル意見ガ發表出來ナイト云フ虞ガアルノデアリマシテ、殊ニ田舎ニ於キマシテハ此關係ガ著シク程度ガ強イヤウニ思ハレルノデアリマス、隨テ昨日モ申上ゲマシタヤウニ其結果ニ就テ嚴重ナ秘密ヲ守ラセルヤウニシ、違反ニ對シテハ罰ヲ規定シテ置クコトヲ特ニ採ツタヤウナ次第デアリマスガ、ソレハ要スルニ絶對秘密ニ致シマシテ、拘束セラレナイ、外力ニ脅カサレナイ自由公正ノ意見ヲ述ベサセルト云フコトノ保障ニ此規定ガ設ケラレタノデアリマス、尙ホ借地借家ノ調停法ニモ罰則ハアリマセヌガ評議ノ秘密ト云フコトニ關シテハ同様ノ規定ガゴザイマス、ソレモ蓋シ同ジ趣旨デアツタト思ヒマス。

ソレカラ第三ニ第六條ノ規定デアリマスガ、當事者ガ義務ノ回避其他不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタト認メタ場合ニハ裁判所ハ之ヲ却下スルコトガ出來ル、斯ウ云フ規定ガアルガ、其規定ハ裁判所ハ自分自ラガ調停評議ト云フコトヲシナイノデアアルガ、其シナイ所ノ裁判所ガ何等委員會ノ評議ノ結果ヲ待タズシテ自ラ却下スルト云フコトハドウ云フ譯デアアルカ、特別ナ理由ガ何カアルカト云フ御質問デアリマス、成程裁判所自體ハ調停ト云フ手續ハ一切致シマセヌノデアリマス、唯申立ノ

受理ハ裁判所ガ致スノデアリマス、隨テ其申立ヲ正當ナル理由ニ基ク申立デアルカ否カト云フコトノ判斷ハ、是ハ裁判所自體ガ致スコトト考ヘマス、却テ之ト反對ニ委員會自體ガ之ヲ却下スルコトガ出來ルカドウカ、委員會ガ却下ト云フコトハ少シ行過ギテ居リハシナイカ、事實上委員會ガ段々調ベテ見ルト不當ノ目的デヤツタモノデアルト云フコトニナツタナラバ、是ハ特別ノ不當ノ目的デ爲シタ調停ノ申請デアルガ故ニ調停ヲ致サヌト云フコトニハナルノデアアル、ケレドモ調停ノ申立自體ヲ却下スルコトハ委員會ノ方ハ寧ロ出來ヌノデアリマス、調停ハ裁判所自體ニ對シテ申立ヲ致スノデアリマスカラ、之ヲ却下スルカドウカハ申立ヲ受ケタ裁判所ガ決スベキデアルト云フコトニナリ、委員會ハ事實上調停ヲシナイコトニナツタ結果、裁判所ガソレヲ却下スルコトニナリマセウト云フ風ニ私ハ解釋ヲシテ居ルノデアリマス、借地借家調停法ガ既ニサウ云フ風ニナツテ居リマス、其規定ヲ私共ノ解釋シテ居ルノハサウ云フ風ニ解釋シテ居リマス、ソレデ裁判所ハ申立ヲ受理シ、隨テ却下スル權限ヲ持ツテ居ル、委員會ヲ開キ内容ノ如何ニ入ツテ先ヅ、調停ノ手續ヲ開始シテ見テ、其目的ガ不當ナルカドウカガ判ル場合モアルデセウケレドモ、ソレニ入ラズニ判ル場合モアルデセウ、其入ラズシテ判ル場合ハ濫ニ調停手續ヲ開カセルコトヲ防グ爲ニ、却下ノ權限ヲ裁判所ガ行ヒ得ルコトニ法律ガ附與シタモノト思フノデアリマス、併シ之ハ一個ノ解釋ダケデアリマスカラ、誤テ居マズレバ、池田委員カラデモ御訂正ヲ願フコトニ致シ度イ。

○田子委員 ソレデ判事ノ方ノ人手ガ足ルノデアリマスカ。

○石黒幹事 ソレハ先程ノ監督官ノ人ノ配置ヲドウスルカト云フコトト關聯シテ申上ゲレバヨカツタカト思ヒマスガ、判事ハ相當増員致シマセヌケレバ人手ガ足ラヌコトト思ヒマス、併ナガラ全國ニ皆増員ト云フ必要ハアリマスマイ、必要ニ應ジテ置クコトニ致サナケレバナルマイト思ヒマス、先ヅ初メノ中ハ爭議件數ノ多イヤウナ所ニハ相當ニ判事及裁判所書記ヲ増員致サナケレバナラヌト思ウテ居マス。

○議長(岡本委員長) 他ニ御質問ゴザイマセヌカ、御質問ガナケレバ一先ヅ質問ハ此處デ止メマシテ討議ニ移ツタラ如何デゴザイマセウ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 又其際ニ及ンデ御質問ガ出マシタナラバ隨時御質問ヲ願フコトニ致シマシテ、一先ヅ質問ハ終了シタコトト致シマス——ソレデハ討議ニ移リマシテ先ヅ大體ニ就テ御意見ノアル方ノ御發表ヲ願ヒタウゴザイマス。

○矢口委員 只今議長ヨリ大體ノ意見ヲ述ベロト云フ御宣言ガアリマシタガ、私ハ此法案ニ就キマシテハ非常ニ完全ナモノトハ思ツテ居リマセヌ、又絶對ニ效力ノ有ルモノト信ジテハ居リマセヌ、併ナガラ所謂時代ノ要求ニ應ジ、所謂應急ノ方便トデモ申シマスルカ、斯様ナコトハ必要ナモノナリ、又

不適當ナルコトアレバ其時代ニ又追々改善スルコトモ出來ルノデアアルカラ、兎モ角是ハ提出スルコトガ相當ナリト斯ウ私ハ考ヘルノデゴザイマス、ソレデ此法案ニ就キマシテハ是ハ所謂賛成ヲ表スル一人デアリマス、大體ト云フコトデアリマスカラ賛否ニ就テ申シテ置キマス。

○末弘委員 大體ノ點トシマシテ一番主ナ點ガアルト私ノ思ツテ居リマスノハ、是ハ昨日來矢口委員カラモ一寸御話ガゴザイマシタ、又本日塚本委員カラモ御話ガゴザイマシタガ、小作法ト此小作調停法トノ關係ハドウ云フ風ニナルカト云フ事デ、一般ニ色々御意見ノアルコトノヤウニ聞イテ居リマスソレカラ又昨日カラノ御質問ノ御趣旨ニ依ルト、小作法無シニ小作調停法ヲ制定スルコトハ無意味デハアルマイガ、困リハシナイカト云フ、御意見ガ出タノデアリマシテ、其點ガ小作調停法ヲ今回作ルニ就テ最モ重要ナル點デ、恐ラク色々反對論ナドガ出ヤセヌカト思ヒマスノデ、其點ニ就テ一應自分ノ考ヘマス所ヲ述ベテ見タイト思ツテ居ルノデアリマス。

ソレデ私ハ此調停法ヲ此處デ作ツテ、小作法ハ作ルノヲ止メテシマヘト云フ意見デハナイノデアリマスカラ、是ハ此委員會デ以テ益々今後努力シテヤルト云フコトヲ希望シテ居ルノデアリマスカラ、其事ハ一番初メニ申上ゲテ置キマス、小作法ヲ作ラナケレバ調停法ヲ作ツテモ困ル、何故困ルカト云フト先程塚本委員ガ言ハレマシタ通り、現在民法ト云フモノガアツテ、彼ノ民法ヲ楯ニ取ツテ調停ニ應ジナイ人ガ澤山出テ來ルダラウ、サウスルト彼ノ民法ト云フモノハ爭議ノ當事者ノ一方デアアル所ノ

者、殊ニ小作人ニ取ツテ極メテ不利益ナ條項ガ多イカラ、自然小作人ノ不利益ナル調停ガ出來ル結果トナルト云フ御話ガアツタノデゴザイマス、ソレデ借地借家ノ方ノ問題ガ恰モ昨年借地借家ノ實體法ガ議會ヲ通りマシテ、本年其ノ調停法ガ議會ヲ通りマシタ爲ニ、アレガ當然ノ經過ノ如クニ思ハレルノデアリマスルガ、吾々ガ此種ノ法律ノ改正ノ工合ヲ各國ノ事情ニ付テ見テ居リマス、寧ロ實體規定ノ變化スルノニ先ツテ、調停ト云フ問題ヲ以テ進ンデ居ルコトガ、殆ド多數ノ例デアルト云フコトヲ吾々ハ見ルノデアリマス、ソレハ何デアアルカト申シマスルト實體法ヲ變ヘルト云フコトハ、人々ニ對シテ非常ニ激シイ感ヲ與ヘル爲ニ、自然中々事柄ガ通り悪クイノデ、ソレデ調停ト云フ問題デ以テ事柄ガ自然ニ片付イテ行ツテ、サウシテ段々ニ實體法ヲ作ル狀況ニナルコトガ、是ガ世ノ中ノ自然ノ成行キデアアル、私ハ借地借家ノ場合ヨリモ、今回ノ場合ノ方ガ自然ノ成行キデアルト思フノデアリマス、是ハ噂デアリマスカラ實際デアアルカドウカ分リマセヌガ、既ニ現在ノ借地借家ノ法律ガ昨年出來マシタ爲ニ、現在警視廳其他ノ人事相談所デ事實上ヤツテ居ル調停ガ彼ノ不完全ナル法律ノ爲ニ妨ゲラレテ、實際上旨ク行ツテ居ラナイト云フ事例ヲ吾々ハ屢々聞クノデアリマス、ソレデ吾々ハ寧ロ不完全ナル小作法ガ出來マシテ、恰モソレハ地主小作間ノ道德的ノ法則ヲ定メテヤツタモノデアアルヤウニ考ヘ、又地主小作間ノ日常ノ關係ハ是デサヘヤレバ宜イノデアルト云フコトヲ人々ガ考ヘルヤウニナツテ、ソレヲ標準トシテ調停ガ行ハレルコトニナツタナラバ、是ハ極メテ恐ルベキコトダト私ハ考

ヘマス、ソレカラ爭議及調停ハ一體私ハ法律ヲ超越シタ問題ダト思ツテ居ルノデアリマス、法律ハ裁判所デ初メテ適用ノアル事柄デ、爭議ハ一體ノ勢ト云フモノデ、之ヲ收メルノハ又勢デアルト考ヘテ居リマス、ソレデ現在民法ガアルニ拘ラズ——民法ハ或ハ小作ノ法律即チ裁判所ヘ行ツタ場合ノ小作ノ爭議ハアレデ解決サレマスガ、併ナガラ多數ノ小作ノ爭議ノ解決ハ決シテ民法ニ依テ治メラレテ居ルモノデハナイノデ、實際各種ノ事情、場合ニ依ツテハ感情ノ問題ガ入ツテ、經濟ノ問題、感情ノ問題、各種ノ問題ガ入ツテ、問題ガ決ツテ居ルノデアリマス、私ハ恐ラク今日小作法ナシニ小作調停法ガ出來タトシテモ、調停法ノ運用ニ對シテハ何等困ルモノデハナイト考ヘテ居ルノデアリマス、斯ノ如クシテ調停ヲ實際ニ致シマシタ其ノ結果色々調停ノ實例ガ出來マスルト、其ノ實例ハ自カラ材料ヲ提供シテ後ニ至ツテ完全ナル小作法ヲ作ルニ便宜デアルト考ヘテ居リマス。

ソレカラ更ニモット理想的ノコトヲ言ヒマスレバ、小作法ハ爭議ヲ發生サセナイヤウニ、爭議ノ豫防ガ小作法ノ理想デナケレバナラヌト思ヒマス、小作人地主双方ヲシテ爭議ヲ起サシメヌヤウニ満足セシムル程度ノモノデナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、調停法ハ起ツタ爭議ヲ兎ニ角纏メルコトヲ理想トスベキモノデアツテ、小作法ト小作調停法ト其ノ間ニ密接ナル關係ヲ以テ考ヘルコトハ適當デナイヤウニ私ハ考ヘル次第デアリマシテ、今急イデ十分ノ調査討議ヲ俟タズニ小作法ヲ作ツテ、其ノ上デ始メテ調停法ヲ作ルヨリハ、差當リ急デアル澤山起ツタ爭議ヲ片付ケル機關ヲ作ルコトガ極メテ

時宜ニ適シテ居ルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ此ノ調停ノ結局ノ理想トシテハ私ハ恐クハ是レガ敢テ法律ト云フモノノ制定ヲ待タズニ、此問題ガ一步進ンデ發達シテ參リマスレバ、事實上地方ノ小作ヲ自治的ニ發達セシメル大ナル原因トナルト思ヒマス、サウ云フ時代ガ參リマシタナラバ小作法案デ考ヘテ居ルヤウナ小作デナク、様子ノ違ツタ小作ガ發達シテ來ヤシナイカト思ツテ居ルノデアリマシテ、色々御意見ガアルコトト思ヒマスガ、私ハドウカ小作調停法ヲ小作法ヲ前提トセズトモ之ヲ速ニ制定實施シ度イト云フ意見ヲ持ツテ居リマスノデ、此事ヲオ耳ニ入レテ置キマス。

○河田委員 私ハ極ク簡單ニ自分ノ意見ヲ申シマス、私ハ實ハ此際小作調停法ノ出來ルコトガ良イト云フ事ハ末弘委員カラ御話ノ通りニ前以テ考ヘテ居リマシタ、併シ出來ルトスレバ相當有效ノモノヲ作ルト云フコトハ政策上ノ見地カラ見テ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、昨日カラ其點ニ付イテ此法案ガ特別委員會ニ於テ果シテドウ云フ制度ヲ作ル目的ノ下ニ出來タカト云フコトヲ御尋シタ譯デアリマス、所ガ其ノ御説明ニ依ルト當事者ノ意志ニ基イテ爲ス所ノ和解的ノモノデアアル、居中調停的ノ性質ノモノデアルト云フ御説明ヲ得タノデアリマス、所ガ私ハ寧ロ是ハ更ニ一步進ンデ現今色々ナ國デヤツテ居リマスヤウニ、此問題ニ付イテ調停ノ申立ガアツタトキハ調停委員會ニ於テ先ヅ以テ和解ヲ勸告スル、併ナガラドウシテモ其ノ和解ガ出來ナイト云フコトニナレバ委員會カラ進ンデ適當ナ條件ヲ示シテ仲裁的ノ判定ヲスル、其ノ判定ハ直ニ判決トシテ效力ヲ持ツナリ、或ハ裁判所ノ認定ヲ得テ

持ツナリ、兎ニ角強制的ノ性質ヲ持ツテ始メテ是ガ有效ニナルト思フノデアリマス、現今和解ヲ試ミテ居ル例モアリマスケレドモ、ソレニモ拘ラズ和解ガ行ハレナクテ小作問題ガ階級闘争的ノ傾向ヲ帯ビテ、兩者デ何方カ勝ツカ飽ク迄戦ツテ見ヤウト云フ迄ニナツタノデアリマス、然ルニ和解ヲシヨウソレガ出来ナケレバ已ムヲ得ナイト云フヤウナコトデハ之ヲ作ツテモ此效果ガ無いデハナカラウカト思フノデアリマス、ソレデ私ハ是ハ和解ヲ勸告スル機關タルト同時ニ判定ヲスルモノデアル、從ツテ其ノ組織ハ國家ノ官吏タル行政官或ハ裁判官ガ——寧ロ裁判官ガ適當カト思ヒマスガ——裁判官、地主ノ代表者、小作人ノ代表者ヲ同數丈ケ出サセテ機關ヲ組織シテ、其ノ機關ヲ爲シタル判定ハ判決トシテノ效力ヲ持ツト云フ位迄往ツテ初メテ良カラウト思ヒマス、少シ餘計ノ事ヲ申スヤウデアリマシガ、從來我國デ行ハレテ居ル政策ガ時勢ニ引摺ラレテ跡カラ跡カラ寧ロ後塵ヲ拜シテ進ムヤウデ、事實ノ方ハ頓着ナシニ先キニ進ンデ行ク、從ツテ折角ノ社會政策施設ナリ立法ナリガ兎角效果ヲ舉ゲナイ。ソレガ爲メニ社會政策上ノ施設ナリ立法ナリニ對シテ信任ヲ段々失ツテ行ク、社會政策ハ畢竟詰ラナイ、コンナモノニ頼ツテモ問題ノ解決ハ出来ナイカラ自分共ノ實際ノ實力ニ依ツテ解決シテ行カウト云フ傾向ヲ來タシテ居ルト思ヒマス、是ハ工業労働ニ於テモ此傾向ハ著明ニ現ハレテ居リマス、所ガ農村ニ於ケル小作問題ハ立派ナ労働問題デ、而カモ明瞭ニ階級闘争的ノ色彩ヲ帯ビテ居リマス、加之一面ニ食糧問題ト關聯シテ居リマシテ、下手ヲスルト日本ノ經濟ハ行詰マルノデハナイカ、其意

味ニ於テ田子委員カラ御話ガアリマシタガ、社會不安ヲ捲起シテ居ル、サウシテ其ノ勢ガ年々烈シイ、都會デハ地主小作ト言ヘバ水呑百姓ト思ツテ居リマスガ、私ハ田舎ノ青年ナドニ接スル機會ガアリマスガ、ソレ等ノ人々ノ思想ヲ聽イタリ、意見ヲ叩イテ見タリスルト頗ル進ンデ居リマス、農民ハ知識ハ無い者モアリマスガ、寧ロ一般ノ事ヲ申セバ東京邊リノ労働者ヨリモ知識ガ進ンデ居リマス、歐羅巴ノ労働者ノ運動ノ仕方ニ付イテモ相當研究シテ居リマス、農民ハ一年ノ間比較的暇ノ時ガアルノデアリマシテ、町村ニハ又知識ヲ普及スル設備モアリ、努力モシテ居リマスカラ、相當ニ知識モ持ツテ居リマス、知識ハ半可通カ知リマセヌガ。兎ニ角先キニ進ンデ居リマス、「マルクス」ハ勿論露西亞ノ「ボルシエヴィズム」モ這入ツテ居リマス、此時ニ當ツテ調停機關ガ出来テモ協調的デアツテハ頭カラ輕蔑シテ居リマス、殊ニ其機關ノ出来ル有様ヲ見ルト小作ノ間カラ何人、地主ノ間カラ何人出ス、ソレデハ吾々ハ官憲ガ好イ加減ナ事ヲスルヤウナモノニハ信賴ガ出来ナイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、折角吾々が努力シテ殊ニ特別委員ガ頻繁ニ御會合ニナツテ折角御作リニナツタ案デモ、其效果ヲ舉ゲナケレバ甚ダ残念ニ存ジマス、故ニ折角作ルナラバ歐米デハ時勢ニ合ハナイト言ツテ捨テタモノヲ今更日本デ作ラナクトモ、今日ノ時勢ニ合ツタ役ニ立ツモノヲ作ルノガ後進國トシテ利益デアルト思ヒマス、併シ日本ハマダソレ迄往ツテ居ラナイカラ、歐米ノ幼稚ノ時代ニ作ツタモノデ良イト云フ御考ガアルカ知リマセヌガ、私ハサウ云フモノデナイト思ヒマス、大體時勢ノ傾向ハ伊太利ノヤウナ状態

が出テ來ヤシナイカト思ヒマス、寧ろ吾々ハ時勢ニ先鞭ヲ着ケナケレバナラヌ、ソレガ出來ナケレバ時勢ニ適合スルヤウナモノヲ作ラナケレバナラヌ、其意味ニ於テ私ハ今少シ有力ナモノヲ作りタイト思フノデアリマス。

○松本委員 私ハ從來小作法等ニ付イテハ餘リ研究モシテ居リマセヌシ、特別委員會ニモ公務多忙ノ爲ニ臨ミマセヌノデ能ク諒解致シテ居ラヌ點モアリマスカラ、意見ケ間敷イ事モ申シ兼ネマスガ、又強ツテ申述ベルコトハ今迄ニ於テ各位ヨリ既ニ御申述ベニナツタ事ノ糟粕ヲ嘗メルコトヲ申スニ過ギナイカモ知リマセヌガ、少シク自分ノ信ジテ居ルコトヲ簡單ニ申述ベタイト思ヒマス、小作調停法ハ相當必要ナルモノデアルト云フコトヲ私共認メテ居リマスカラ至極結構ト思ヒマス、所デ條文ガ澤山アリマシテ何レモ肝腎ノコトデアリマスケレドモ、其ノ中一番肝腎ナコトハ調停委員ハ如何ナル者カラ組織セラルルカト云フコトガ最も大事ノコトデアルト思ヒマス、詰マリ小作爭議ナルモノハ地主ト小作トノ爭議デアルコトハ言フ迄モナイコトデアリマスカラ、其ノ調停委員ニシテ地主ノ利益ヲ代表スル者ガ多ケレバ其ノ調停ニ對シテ小作人ハ満足スル筈ハナイノデアリマス、之ニ反シテ其ノ調停委員會ニ小作人ノ利益ヲ代表スル者ガ多ケレバ、其ノ調停ニ對シテ地主ハ満足シナイト云フコトハ自明ノ理デアリマス、而シテ此調停委員ナルモノヲ如何ニシテ選定スルカト言ヒマスレバ、茲ニハ當事者合意ノ場合ト、ソレカラ調停主任ガ指定スル場合ト二通り掲ゲテアルヤウデアリマス。

當事者ノ合意ニ依ツテ選定セラルル場合ハ一番良イ結果ヲ來スト思フ、從來モ矢張當事者ノ合意ニ依ツテ選定セラレタル例モアルヤウニ聞イテ居リマスケレドモ、併ナガラ爭議ガ起ツテ物議ガ大キクナリマスルト、各々自己ノ信ズル所ヲ遂行シヨウト思ヒマスカラ、ナカノ反對ナル地位ニアル兩當事者ガ合意シテ調停委員ヲ選定スルト云フ事ハ難カシイコトモ相當ニアリ得ルダラウト思フ、此場合ニ於テ調停主任ガ之ヲ委員ニ選定スレバ必ズヤ當事者ガ其結果ニ付テ不平ヲ訴ヘルデアラウト思フ、此調停委員ノ選定ト云フ事ハ非常ニ重大ナ事デアラウト思フ、是ガ即チ調停委員會ノ決定シタ結果ガ非常ニ圓滿ナル結果ヲ齎ラスカ、或ハ不首尾ニ了ルカノ境目デアリマスカラ、此調停委員ノ選定方法ハ法律ニ明確ニ書イテ置クガ良イト思フ、地主ト小作人トノ利益ヲ代表スル者ヲ各々半數宛各當事者カラ選定セシメル、同意ノアツタ場合ハ勿論デアリマスケレドモ、サウデナイ場合モ各々代表スル者ヲ半數宛選定スルト云フ事ヲ明記スルコトガ非常ニ大切デアルト思ヒマス。

其次ハ此法案全體ガ和解ト云フコトニ出來テ居ルト云フ御話デアリマス、其和解ノ性質ハ先程御説明モアリマシタ和解ト云フ點カラ言ヘバ自然ノ結果デ已ムヲ得ナイカモ知レマセヌケレドモ、折角調停委員ガ出來テ調停シタ結果ガ、當事者ノ方デ私ハ是デハ嫌デアリマスト言ヘバソレキリノ話ノヤウニ思ハレル、此法案ハ尤モ順序トシテハ、其協定ガ纏マラナカツタナラバ、調停主任ガ調停條項ヲ定メテ之ヲ當事者ニ示シ異議ノ有無ヲ確メルコトニナツテ、ソコニ多少ノ順序ハアルヤウデアリマスケ

レドモ、併ナガラ終局ニ於テ當事者ノ一方ガ嫌ダト言ヘバソレマデノ話デ、何等調停ノ効力ガ無イヤ
 ウニ私ハ認メテ居ルノデアリマス、而シテ此小作爭議ガ年々ヤカマシクナツテ來テ、其範圍モ非常ニ
 廣クナツテ居ル、範圍ガ廣クナツテ來ルニ從ツテナカク、是ハ力ノアルモノニナツテ來ルト私ハ思フ、
 サウシテ其問題ノ内容ハ單ニ小作料ヲ一升マケテ吳レトカ、二升マケテ吳レトカ云フヤウナ微々タル
 事デナクシテ、是ハ感情ノ問題モ非常ニ絡マツテ來ルト思フ、又其影響トシテ政治上ノ問題ナドモ絡
 マツテ來ルダラウト思フ、感情ノ問題トカ其他政治上ノ問題等モ絡マツテ所謂農村問題ヲ惹起スルコ
 トニナルト、其主張ハ案外ニ強カラウト思フ、其非常ニ強イ主張ノ二ツノ當事者ヲ合セテ和解ヲセヨ
 ト言ツタ所デ、ソレガドウモ直チニ圓滿ナル協定ガ出來ヤウトハ思ハレナイ、成程兩當事者間ヲ圓滿
 ニ調停スルト云フ事ハ理想デアリマセウケレドモ、調停ガ出來ナケレバ仕方ガアリマセヌ、オ前達ノ
 勝手ニセヨト言ツテ抛ツタラカシテシマウコトニナル、和解ト云フ事ハ非常ニ良イコトデアリマスケ
 レドモ、折角調停法ガ出來テモ、其結果ガ當事者ガ嫌ダト言ヘバソレキリデアリマスカラ、此調停法
 ノ目的ヲ達スルコトハ、或ハドウモ寧ロ少ナイノデハナカラウカト云フヤウナ懸念ガアルノデ、其點
 カラ考ヘマスルト、只今河田委員ノ言ハレタ通り、大體和解ト云フ事ヲ原則トシテ、又其趣旨カラ出
 來テ居ル立法デアアルケレドモ、此調停ノ效果ヲシテモツト法律上權力アラシメルヤウニシテ置キタ
 イ、苟モ調停委員デ調停シタ以上ニハ、何トカ是ハ權力ノアルヤウニシテ置キタイ、サウデナケレバ

此調停法ヲ拵ヘテモ其目的ヲ達スルコトハ出來ナカラウト考ヘルノデアリマス、併シ條文ヲドウスル
 ト云フ事マデハ考ヘテ居リマセヌケレドモ、此二點ニ付テ自分ノ意見ヲ申上ゲテ置キマス。

○岩田委員 段々御質問ヤラ御意見ヲ伺ツテ居リマスルト、此調停ノ効力ニ關スル點ニ付キマシテ疑
 問ヲ懷イテ居ラレル方ガ多イヤウデアリマス、私ハ私ノ意見ト云フヨリモ、其點ニ關シテ御參考マデ
 ニ斯ウ云フ事ニ特別委員會デナリマシタ理由ヲ、先刻石黒幹事カラ御説明ガアリマシタガ、補ツテ申
 上ゲテ置キタイト思ヒマス、是ハ効力ヲイマ少シク強クスルコトノ可否ノ問題ハ勿論アルノデアリマ
 スガ、此程度デ良カラウト云フコトモアツタノデアリマスケレドモ、此程度ニ止メタニハイマーツ強
 イ理由ガアルノデアリマス、ソレハ、是レ以上強クスルコトガ現行制度ノ上ニ於テ許サレナイ關係ガ
 アルノデアリマス、即チ若シ之ヲ當事者ガ任意ニ同意シナイ場合ニハ、尙ホ當事者ニ之ヲ強制シヨウ
 ト云フニハ、強制スル何カ理由ガナケレバナラス、是ハ和解ニナツテ居ルノデ、當事者ガ任意ニソレ
 ニ同意シタ場合ニハ宜シイノデアリマスケレドモ、サウデナイ場合ニハ外ニ根據ガ無イノデアリマス
 強ヒテ之ヲ申上ゲマスレバ、一種ノ裁判ト同ジヤウニ見ル外ハナイノデアリマス、一ノ強制的ノ仲裁
 判斷——仲裁判斷モ是ハ強制スルコトハ出來ナイノデアリマスカラ、一ツノ裁判ト同ジヤウニ、爭議
 ガアツタ場合ニハ一ツノ機關ヲ設ケテ判斷ヲシテ、ドチラノ云フ事ガ正當デアリ、ドチラノ云フ事ガ
 不當デアルト判斷シテ、其判斷ヲ強制スルト云フ外ハ無イノデアリマスガ、サウスルト裁判ト同ジヤ

ウナコトニナルノデアリマス、裁判ト同ジヤウナ結果ニナルト、是ハ憲法上デ保障サレテ居ル日本臣民ハ裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權ヲ奪ハルルコトナシト云フ憲法ノ規定ニ違反スルト云フ虞レモ生ズルノデ、ドウシテモ之ヲ強制的ニヤルニハ特別裁判ト云フコトニスル外ハナイト云フ結果ニナルノデアリマス、特別裁判ニスル外ハナイト云フコトデアレバ、特別裁判所ヲ設ケナクテモ現在ノ裁判所ヲ、ソレヲ少シ變更スレバ良イト云フコトニ問題ハナツテ參リマスルシ、ソレカラ元來此調停ヲシタラ宜カラウト云フ事ノ起リガ、先刻末弘委員カラ御述ベニナツタ通り、純粹ノ法律上ノ判斷デハ盡セナイカラ、ソコデ法律以外ノ色々ノ事情ヲ斟酌シテヤラナケレバイケナイト云フ事ガ大體ノ骨子デアリマスカラ、ソコデ特別裁判所ニシテモ普通裁判所ニシテモ、裁判所ニ行ツテ法律一點張りテ判斷スルト云フコトハ元來ノ調停ノ目的ニ適ハナイ、ソコデ裁判所ト云フコトデハドウシテモイカヌト云フコトニナル、之ヲ調停スル手段ハ當事者ノ任意ノ合意ト云フコトニ持ツテ來ル外ハナイトデアリマス、ソコデ已ムヲ得ズ此調停案ハソコニ落付イテ來テ居ル結果、御心配ニナルヤウナ事ニナツテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ已ムヲ得ヌ、ソコデ最小限度ニ於テ、調停ニ就テ終局ノ同意ヲ當事者ガシナカツタ場合ニハ、最後ニ調停委員會ノ方デ、條項ヲ定メテ通知シテヤツテ、返事シナカツタナラバ同意シタモノト看做スト云フノデ、是ハ順序カラ言ヘバ、返事シナイト云フコトハ同意ト云フコトトハ違フノデアリマスカラ、黙ツテ居ルモノヲ同意ト見ルノハ多少無理ガアルガ、此位ナラ宜カラウ、嫌ナ

ラ嫌ト言フ機會ヲ與ヘテ、嫌ダト言ハナケレバ同意シタモノト見ヤウト云フノデ、ココガ實ハ強制ト云フ事ノ出來ル最小ト言ヒマスルカ最大ト云ヒマスルカ、先ヅソレヲ最大限度ノ強制ト認メマシテ、其程度ニ止メテ置イタノハ、是ハ只今申上ゲマシタヤウナ已ムヲ得ヌ法制上ノ理由モアルノデアリマス、一寸御參考マデニ申上ゲテ置キマス。

○河田委員 一寸私ニハ分リマセヌカラオ教ヘテ願ヒタイノデアリマスガ、法律ヲ作ツテ特別裁判所ト云フ事ハ出來ナイモノデアリマセウカ。

○岩田委員 ソレハ差支ナイ、特別裁判ニナレバ純法律デ裁判ヲスルコトニナル、調停デヤラウト云フヤウナ事情ヲ斟酌スルコトハ出來ナクナルト云フ心配ガアルノデアリマス、唯裁判所ヲ特別ニスルト云フ譯ハナカラウト思フ、ソレダケナレバ今ノ裁判所ト同ジコトニナル。

○河田委員 法律問題ダケデアリマスカ、

○岩田委員 事實問題モヤリマスケレドモ、ヤリマス機關ガ違フダケデ、中へ持ツテ行ツテ争フ實質ハ今ノ裁判所デ争フト同ジ事ヲ争フコトニナリマスカラ、調停ヲ目的トスル此案ノ趣旨ニハ副ハナイコトニナリマス。

○河田委員 委員ト云フヤウナ者が參加スルコトハ……

○岩田委員 ソレハ裁判官デナケレバイケマセヌ、任意ニ委員ヲ選ンデヤル譯ニハイカナイ、官吏デ

ナケレバイカヌコトニナリマス。

○田子委員 大體ノ意見トシマシテハ、私自身ハ此案ヨリモツト進ンダモノヲ欲シイト云フ意見デアリマス、但シ其論點ハ先程河田委員ノ御述ベニナリマシタヤウニ效果ヲ強制シヨウト云フノデハナイ「ニュージールランド」ノ例ヲ御述ベニナリマシタガ、「ニュージールランド」ノ「アービトレイション」ハ強制スル唯一ツノ例カト思ヒマス、私ハ評決ノ效果ヲ強制シヨウト云フノデハナイ、唯當事者ノ爭議ノ調停ノ申請ヲ俟ツテ發動スルコトガ手緩イト解釋スル、大體ノ議論ノ骨子ハ個人間ノ契約ニ關スル個人問題デアラナラバ、之ヲ放任シテ置クガ宜シイ、併ナガラ社會立法トシテ、社會不安若クハ社會問題ノ解決ノ立法トシテヤルナラバ、當事者ノ調停ノ申請ヲ俟ツマデモナク、或ル程度ノ社會不安ヲ起シタナラバ、裁判所ハ自ら進ンデ調停スルノ權利ヲ持タセナケレバナラヌ、ソコニ論點ヲ置イテ居ルノデアリマス、第二條ノ一項ダケデアレバ裁判所ニ申請ヲシナケレバ、裁判所自ら發動スル權能ヲ有シナイ、此案其モノガ社會立法トシテ考ヘテ居リナガラ、本體ヲ見ルト民法ノ例外規定若クハ裁判所構成法ノ例外規定ノ如クニ見エルノデアリマス、寧ろ私ハ社會不安、若クハ社會問題ノ解決ノ立法トシテ積極的ニ裁判所ハ自ら進ンデヤルコトノ出來ル事ヲ本體トスルコトガ正當デアルト思フ。

先程末弘サンカラ御話ニナリマシタ實體法ト調停法トノ關係ニ就テ、私ハ其點ハ別ニ深く心配シテ居リマセヌ、實體法ガナイガ故ニ調停法ガ早イト云フコトハ少シモ考ヘテ居リマセヌ、唯内輪デ考ヘ

テ居リマスノハ、實體法ノ無イ事柄ヲ司法官ノ手ニ委スルコトハ聊カ面白クナイト云フ位ニ考ヘテ居ツタノデアリマスカラ、是ハ此議席デ明言シテ置キマセヌ、昨日來質問シマシタ要點ハ詰リ社會不安ト社會立法、若クハ社會問題ト社會立法、他ノ一面デアル個人關係ニ於ケル司法關係ト明瞭ニ區別シテ將來ヤリタイト云フ、サウ云フ根本ノ頭カラシテ質問シタノデアリマス、今日ノ場合ハモウ少シ進ンデ少クモ第一條ノ第二項位ニハ裁判所ハ自ら進ンデ調停ヲ爲スコトガ出來ルト云フヤウナ趣旨ノモノニシタイヤウニ思フ、其他細カイ事ハ各條ニ就テ意見ガアリマスガ、大體ノ論トシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス。

○末弘委員 モウ少シ強イマア仲裁ト云フ制度ヲ作ツタラバト云フコトノ御意見ガ非常ニ諸方カラ出マスルニ付テ、其點ニ就テ一應マダ皆様カラ御話ノ無イ事柄デ私ノ考ヘマスコトヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、私ハ理想ト致シマシテハ河田委員ガ言ハレタト、又其他ノ方ガ言ハレタト同様ニ、此調停ト云フ程度ノモノハ現在トシテハ手緩イ、モウ少シ強イモノヲ作りタイ理想ヲ持ツテ居マス、石黒幹事ナドモサウト思マスガ、之ニハ同意見ノ方ガ随分多イデアラウト、私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、所ガソレニ對シテ一ツハ只今岩田委員カラ御話ノ憲法上ノ一ツノ大キナ障碍ガアルノデゴザイマスガ、此問題ハモウ既ニ各種ノ詰リ司法制度ト云フモノガ——最近ニ於テ昔ノ佛蘭西革命ノトキニ三權分立ト云フ思想ヲ本ニシタ司法制度ハ現在ノ事情ニ適セナイノニ、憲法ト云フモノガ其儘ニ

ナツテ居ル爲ニ、今迄既ニ議會デ色々法律ガ出來ル度毎ニ、例ヘバ陪審法ノ問題ニシテモ、ソレカラ本年議會ヲ通りマシタ借地借家調停法ガ出來タ時ニ於テモ、法制局トカ樞密院トカデ問題ニナツタト云フコトヲ新聞紙ニ依ツテ承知シテ居リマスガ、斯ノ如キ憲法上ノ障碍ヲ吾々ガ若シモ實際必要ガアルナラバ、何トカシテ私ノ考デハ憲法ノ公ノ解釋トシテ解決出來ルモノデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、若シモソレガ出來ナイナラバ是ハ重大ナ問題、即チ現在ノ司法制度ニ關スル重大ナ問題デアリマスカラ、吾々ノ希望トシテ此問題ヲ再ビ同ジヤウニ樞密院トカ法制局トカニ依ツテ、同ジ筆法デサウ云フ問題ガ起ツタトキニソレデ引込ンデシマハズニ、實際必要ガ起ツテ居ルコトヲ寧ロ吾々カラ相當ニ其意志ヲ傳ヘテ見タイ、サウシテ司法制度ノ根本ヲ實際ノ現在ノ事情ニ合フヤウニ變ヘルト云フ位ニ進メルヤウニシタガ宜イノダラウト私ハ考ヘテ居リマスガ、併シ今此調停法案ヲ此處デ議シテ居ルノニ、ソナ事ヲ待ツテヤル譯ニ行カナイノデアリマスカラ、私ハ結論トシテハ兎ニ角之ヲ通サウデハナイカ、但シ希望トシテモツト強イモノヲ是カラ後ニ作ルト云フ希望ヲ出シテ見タイト云フ考ヲ有ツテ居ルノデアリマス、ソレカラモウ一ツ強イモノニスルコトハ當然其根本ニ、先程河田委員カラモ桑田委員カラモ石黒幹事カラモ亦松本委員カラモ御話ノアリマシタ通り委員ノ中ニ小作人地主ノ兩方ノ代表者ヲ入レルコトガ、當然附纏ツテ來ルト思ヒマス、ソレハ何故カト云フト仲裁判斷ヲ下シテ吳レルナラバ、自分等ノ代表者ガ下シテ吳レタノダカラ仕方ガナイノダト云フ判斷ヲ有タ

セナケレバ效力ガ無イモノト考ヘマス、ソレデ之ヲ仲裁ト云フ程度ニ行クノナラバ、ドウシテモナケレバナラナイ理想デアルト思フノデアリマス、ソレデ仲裁判斷ト云フ程度ノモノニシタイト云フ爲ニハ、ソレヲ先ヅ解決シテ掛ツテ行カナケレバナラナイノデアリマス、ソレデ此双方ノ代表者ヲ出スコトヲ先程カラ言ハレマシタガ、ソレモ二ツ考方ガラウト思ヒマス、私ハ双方ノ代表者ヲ出ス、モウ一ツハ双方ノ代表者及ビ消費者ノ代表者、ソレハ政府ヲシテ代表セシムルコトガ宜イカト云フト、是ハ私ハ政府ヲシテ代表セシムルコトハ私ハ賛成デナイノデアリマス、ソレハ何故カト云フト政府トシテ代表サセルコトハ、從來事實上デアリマスガ、或ハ労働者側ガ云フノカ知レマセヌガ政府ノ代表者ハ資本案ノ代表者ト一緒ニナツテ、三票ノ中ノ二票ハ必ずソレニ取ラレテシマフト云フコトガ、例ノ國際労働會議ニ於テ労働者、政府、資本案ト初メハ一人宛代表者ヲ出スコトデアッタノガ、政府側ノ心配デ政府ガ二人ト云フコトニナツテ、結局多數ノ場合ニハ三ト一デ決マルト云フコトガアツテイケナイト云フコトガアリマスノデ、少クトモ労働者側ニ其思想ガアルナラバ其同ジ轍ヲ踏ムコトハイカヌカト思ヒマスノデ、ソレデソレハ消費者ノ代表者ヲ入レルコトハ何カ違ツタ考方ヲシナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレハ別問題トシテ、双方ノ代表者ヲ出スコトニ就テ申シマスレバ、ソレハ代表者ヲ出スコトハ代表サレル團體、少クモ團體意識ガ無シニ代表者ガアリ得ナイノデアリマス、其意味ハ即チ代表シテ來タ人間ガ自分ノ代表シテ居ル階級ノ全體ノ利益ヲ大キク理解シ得ル人間ガ必要デアリ

マス、モウ一ツハ其代表者ニ對スル階級ノ人カラ其人ニ對スル厚イ信任ガナケレバ其者ノ仲裁判斷ニ服スル者ガ無イト思フノデアリマス、現在日本ノ小作組合ノ發達ノ狀況、ソレカラ地主ノ團體ノ發達ノ狀況、アノ狀況ノ下ニ於テアノ中カラ代表者ヲ選出ス程度ニ發達シテ居ルトハ吾々トシテモドウシテモ思フコトガ出來ナイノデアリマス、是ハドウシテモ或程度ニ置イテ時機ヲ見テ居ルヨリ仕方ガナイト思フノデアリマスガ、又工業ノ場合ト異ツテ、モウ一ツノ障礙ハ地主側小作人側ト申シマシテモ地主トカ小作デアルトカ自作トカ或ハ半自作半小作ト云フ各種ノモノガアリマシテ、實際上之ヲ二ツニ別ケルコトハ團體カ何カガ出テ來テ初メテ出來ル事柄デ、現在ニ於テハ事實上困難デアルト思ヒマス、ソレデ實際問題トシテ此調停法ノ程度ノモノデ、今此案デ行クノデアリマスガ、ソレデ附帶的ノ問題トシテモウ一ツ強イ仲裁的ノモノヲ作ルト云フコトヲ理想トシテ、一方ニ於テ憲法上ノ障礙ヲ取除ケル、一方ニ於テ事實上ノ各種ノ障礙ガアルコトヲ考ヘテ、又色々交渉シテ見ルコトガ必要デアルト思フノデアリマシテ、強イモノニシナケレバナラヌカラト云ツテ此調停法ヲ止メテシマフト云フコトニハ進ミタクナイ、サウカト云ツテ今度ノ會デ強イモノニスルカト云フト、ソレニハ準備ガ足りナイノデアリマスカラ、其希望ヲ付ケテ此案ヲ斯ウ云フ趣旨ノ下ニ通ウシテ行クコト、此際ハソレヨリ外ニ途ハナイモノト思フノデアリマス、此意見ヲ一寸申シテ置キマス。

○矢口委員 只今合委員諸君ノ意見ヲ拜聽致シマスルト程度ニ於テコソ差ハゴザイマスルガ、大體ニ於テ必要ト云フコトヲ御認メニナツテ居ルト云フコトハ分リマシタ、願クハ第一條ヨリ追々逐條ニ互ツテ御討議アラシコトヲ希望致シマス。

○議長(岡本委員長) 他ニ大體ニ於テ御意見ノアル方ハ……

○河田委員 餘リ度々デ恐縮シマスガ、末弘委員ノ御説ニ就テ極ク簡單ニ申シ度イ、末弘委員ガ第二ノ障礙トシテ小作人或ハ地主ノ間ニ其團體ガ無イ場合ニハソレヲ代表スル者ヲ出スコトガ實際困難デアル、其事情ガ現在日本ニアルノダト仰セラレマシタ、此點ハ御尤モト思ヒマスガ、唯ソレニ就テ吾々ハ更ニ考ヘルコトガ出來ルト思フノデス、ソレハ從來ノ——何時モ外國ノ事ヲ申上ゲマシテ恐縮シマスガ、英吉利ノ勞働組合主義「トレード、ユニオンズ」ノ見地ガ一般ノ思想ヲ現シテ居ツタトキニハ成程團體ガ無ケレバナラヌト云フ風ガ適當ト思フノデアリマスガ、併シ今ハ英吉利ノ勞働者ノ間デモ既ニ勞働組合的ノ考ガ薄クナツテ、寧ロ之ニ代ルノニ階級意識ト云ツタモノガ強クナツテ來ルヤウニ思フノデス、サウシテ其階級意識ヲ代表スル、或ハ其階級ノ利害ヲ代表スルコトニナツタナラバ、縱令其團體ガアツテモ結局其代表者ノ意味ノ現今ノ思想ニ合ツタヤウナ代表者ヲ出シ得ラレルト思ヒマス、現ニ伊太利ト思ヒマスガ、此處ニ御配付ニナツタ參考材料中ニアリマスガ——伊太利ノ立法ヲ見マシテモ勞働者ト雇主ト兩方カラ同數ノ委員ヲ出スコトニナツテ居リマス、但シ登録セラレタ組合ガアルナラバ、其組合ノ意思ヲ參酌スルトアリマシタガ、或ハ其組合ニ諮ツタ上デナケレバナラヌ、

斯ウ云ツタヤウニナツテ居リマス、組合ガアルナラバ、而モソレガ登録セラレタ組合ガアルナラバト云フコトニシテアリマス、組合ガ無クテモ出來ルト云フ立法例ガ出來タノデアリマス、又サウ云フ立法例ガ出來ナケレバナライヤウニ伊太利ノ事情ガ進ンデ來タヤウニ思フノデアリマス、此點ニ就テハ私ハ法律ノ知識ガアリマセヌカラ、法律ノ眼カラ觀レバ、團體ノ力ガナケレバナラスト云フコトニナルカ知レマセヌ、寧ロ吾々ハ餘リ法律感染^{カブレ}ヲシナイデヤルベキコトト思ヒマス、一寸一言申上ゲテ置キマス。

○田子委員 私ノ申シタノハ裁判所ガ積極的ニ調停ヲ爲シ得ル權限ヲ認メタイ、其調停ノ效果ヲ強制シヤウト云フノデハナイ……

○末弘委員 今ノ田子サンノ云ハレル程度ノモノナラ憲法問題ニ觸レル必要ハナイト思ヒマス、唯裁判ト云フコトニナツテ來レバ、ドウシテモ憲法ノ問題ニ觸レルト思ヒマス。

○岩田委員 大體之ヲヤツテ行カウト云フノニ付テハ、餘リ反對ノ御意見モ無イヤウデアリマスガ、唯只今ノ效力ノ點トカ調停委員ノ點トカト云フコトハ、是ハ各條デ其場合ニ於テ御意見ヲ伺ツタ方ガ便宜ナヤウニ思フノデアリマス、大體ニ就テノ討議ヲ御進行ニナリマシテ、只今ノヤウナ御意見ハ各條ニ互ツテ御尋ネニナル方ガ便宜デハナイカト思ヒマス、一寸御參考マデニ……

○議長(岡本委員長) 私モサウ考ヘテ居リマス、大體ニ於テ他ニ御意見ガ無ケレバ、只今岩田委員カ

ラ仰セニナツタヤウニ、各委員ノ御説ハ多少御不滿ハアリマセウケレドモ、此法案デ兎モ角モ大體進ンデ行クト云フコトハ御一致デアルト思ヒマス、大體ノ御意見ガ無ケレバ大體論ハ先ヅ打切りマシテ逐條ニ入ツテ御審議ニナツテハ如何デス。

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) ソレデハ各條ニ入ツテ御意見ガアリマスカ——今日ハ大分時間ガ經チマシタカラ如何デス、繼續シテヤリマセウカ、明日ニ致シマセウカ。

(「繼續シテ戴キタイ」「進ンデ戴キタイ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 第一條ニ御意見ガアツタヤウデアリマスガ、第一條ヲ議題トシマス——朗讀致サセマス。

(竹内幹事第一條以下各條毎ニ法文ヲ朗讀ス)

小作調停法案

第一條 小作料其ノ他小作關係ニ付爭議ヲ生シタルトキハ當事者ハ爭議ノ目的タル土地ノ所在地ノ市町村長又ハ郡長ヲ經テ其ノ土地ヲ管轄スル地方裁判所ニ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得

○議長(岡本委員長) 第一條ニ付イテ田子委員カラ御修正ガアリマス。

○田子委員 字句ヲ作リマスカラ、後ニシテ戴キマス。

○議長(岡本委員長) 田子委員ノ御説ハ裁判所ガ進シテ調停ノ出來ルヤウニ其ノ途ヲ開イテ置キタイト云フノデス、ソレニ付イテ御賛成ガアリマスカ。

○河田委員 私ハ先程質問ヲ申上ゲタトキニ其ノ意見ヲ申シテ置キマシタ、私ハ賛成デス。

○塚本委員 市町村長又ハ郡長トアリマスガ、或ハ私ガ想像致シマスルニ、市町村長トアツテハ場合ニ依ツテハ争議ノアル場所ガ二箇町村ニ跨ツテ何レノ市町村ニ任カセルガ良イカ分ラナイヤウナコトモアリマセウガ、斯ル場合ハ郡長カラ出サセレバ良イト云フ御趣旨デアリマスカ、念ノ爲ニ伺ヒマス

○石黒幹事 仰ノ通りデアリマス。

○塚本委員 果シテサウデアリマスルト、市ト郡ト跨ツテ居ツタ場合ニ郡ニ多ク土地ガアツテ町村ニ少シノ面積シカナイトキニハ市長デモ郡長デモドラデモ宜イト云フノデスカ。

○石黒幹事 便宜何處デモ良イト云フ趣旨デ、特別委員會デハ斯ウ云フ文字ヲ用ヒマシタ。

○議長(岡本委員長) 田子委員ノ御意見ニ對シテ河田委員ノ御賛成ガアリマシタ、文字ノ修正ハ後ニ案トシテ願フコトニシテ御趣旨丈ケヲ極メテ置キタイト思ヒマス、田子委員ノ御説ニ賛成ノ御方ハ舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 少數

○議長(岡本委員長) 少數——ソレデハ原案ノ通り決シマス——第二條

第二條 前條ノ調停ノ申立アリタルトキハ市町村長又ハ郡長ハ遲滞ナク之ヲ裁判所ニ送付シ且町村長ハ郡長ニ、郡長ハ町村長ニ通知スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ市町村長又ハ郡長ハ意見ヲ附スルコトヲ得争議箇市町村又ハ數郡ニ亘ル場合ニ於テ市町村長又ハ郡長第一項ノ送付ヲ爲シタルトキハ其ノ旨關係市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス

○議長(岡本委員長) 第二條ハ別段修正意見ガナカツタヤウデアリマスカラ、原案ノ儘デ宜シウゴザイマスカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) ソレデハ原案ノ通り決シマス——第三條

第三條 争議ノ當事者ハ第一條ニ定メタル調停ノ申立ニ代ヘ直接第一條ノ地方裁判所ニ對シテ調停ノ申立ヲ爲スコトヲ得裁判所前項ノ申立ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク之ヲ關係市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス

○議長(岡本委員長) 御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ガナケレバ原案ノ通り決シマス。

○石黒幹事 申シ後レテ甚恐縮デアリマスガ、第三條ニ付テ先ニ申上ゲタ通りノ田子委員ノ御質問ガ出テ居リマシタ、ソレニ付イテ申シマスガ二條ノ場合ニハ裁判所ニ對シテ市町村長郡長ガ意見ヲ附スルコトガ出來ルガ、三條ノ場合ニハ意見提出ノ機會ガナイヤウニ見エルト申スノデアリマスガ、コレ

モ實際ハ提出ノ出來ルコト恰モ二條ノ如クデアルト考ヘテ居リマス。ト云フコトヲ御答シテ置キマシタソレデ第三條ノ三項トシテ、意見ヲ述ブルコトガ出來ルト云フ規定ヲ置クコト丁度二條ト同ジ事ニ致シ度イ、是ハ三條決定ノ後ニナリマシテ恐縮デアリマスガ、御入レニナルコトヲ今一應御諮リヲ願ヒマス。

○岩田委員 唯今ノヲ御採用ニナリマスレバ第三條ニ入レタ丈ケデハ不充分ト思ヒマス、二條ヲ見テモ二條デモ唯取次ヲスル市町村長郡長丈ケガ意見ヲ附スルコトガ出來ルノミデ、通知ヲ受ケタ市町村長郡長ハ意見ヲ附スルコトハ出來ナイヤウデアリマス、ソレデアリマスカラ三條ニ入レルナラバ二條ニモ通知ヲ受ケタ關係市町村長郡長モ意見ヲ述ブルコトヲ得ルトシナイト權衡ヲ失シマスカラ、二條三條ヲ通ジテ意見ヲ述ブルコトヲ得ト云フヤウニ御修正ニナラナイトイケナイト思ヒマス。

○末弘委員 意見ヲ聽クコトハ調停委員會ガ開ケテカラ聽クコトガ出來マス、一々通知スル人カラ意見ヲ出サセルコトニナルト、又多數ダトカ多數デナイトカ言ツテ延ビ延ビニナリマスカラ、一日モ早く調停委員會ヲ開クコトニシテ、開イタ以上ハ各種ノ人カラ意見ヲ聽クコトガ出來マスカラ、開會前ニ通知シタリ意見ヲ述ベタリスルコトハヤラナイ方ガ、事柄ノ性質上良カラウト思ヒマス。

○岩田委員 只今ノハ、若シ修正サレルナラバト云フ條件附ノヤウデアリマシタガ、矢張原案通りデ取次ヲスルニハ序デアリマスカラ意見ヲ附スル、アトハ必要ノ場合ニ委員會カラ意見ヲ聽クト云フコ

トデ、原案通りデ良イト思ヒマス。

○田子委員 私ハ市町村長トカ郡長トカハ餘程重ク見テ居ル、裁判官ニ委セルヨリハ郡長ヲ主任ニシタガ良イト考ヘテ居リマシタガサウスルト組織ニ變更ガ出來テ面倒デアリマスカラ、サウスレバ市町村長郡長ニ發言ノ權利ヲ持タセルコトガ良イト思ヒマス、ソレハ實際ニ於テ必要デアルト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 二十四條ノ修正デハ參リマセヌカ。

○田子委員 文字ハ兎ニ角精神ダケ御決定ニナツテハ如何デアリマスカ。

○塚本委員 前ノ一條二條ニ依ルト、先刻御質問申上ゲテ其御答ヲ得マシタ如ク、市ト郡ニ地積ガ跨ツタ時ニ、市部ニ面積ガ多クテ却ツテ郡部ニ於テ面積ガ小サイ時デモ、場合ニ依ツタラ郡長ヲ經テ申立テヲ爲ス場合ガアル、然ル時ニ縱令第二條アリトシテモ、其經由致シタ郡長ダケガ意見ヲ申述ブルコトガ出來ルノデアツテ、地積ヲ多ク有シテ居ル方ノ市長ハ意見ヲ申立テルコトガ出來ナイ、斯カル不當ナル結果ヲ生ズル所以ガナイ、故ニ關係町村長ハ何時デモ意見ヲ申立ツル事ガ出來ルヤウニスルガ良イト思フ、二十四條ハアリマスルガ、是ハ委員會ノ方デ徵スルコトヲ得ルノデ、何時デモ之ヲ申立テルコトガ出來ルト云フ規定デハナイ、二十四條デハイケナイト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) ソレデハ條文ノ場所ナリ規定ハ幹事ニ一任致シテ二條三條ノ場合ニハ市町村長ガ意見ヲ申立ツルコトガ出來ル規定ヲ何處カニ入レルト云フ事ニ御賛成ガ多イヤウデアリマスガ、御

賛成ト認メテ宜シウゴザイマスカ、御賛成ノ方ハ手ヲ舉ゲテ戴キタイ。

舉手者 多數

○議長(岡本委員長) 御多數ノヤウデアリマス、ソレデハ幹事ノ方デ整理スルコトニ致シマス。

○石黒幹事 第二條及び第三條ノ通知ヲ受ケタ市町村長郡長ガ意見ヲ述ベルコトガ出來ルコト、別ニ取纏メマシテ適當ノ文句デ入レルコトニ幹事ノ方デ取計フコトニ致シマス。

○議長(岡本委員長) ソレデハ第四條ニ移リマス。

第四條 調停ノ申立ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得口頭ヲ以テ調停ノ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ市町村吏員、郡書記又ハ地方裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

○議長(岡本委員長) 御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼デ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ガナケレバ原案ノ通り決シマス——第五條

第五條 爭議ノ目的タル土地方數個ノ地方裁判所ノ管轄區域内ニ存スル場合ニ於テ調停ノ申立ヲ受ケタル地方裁判所相當ト認ムルトキハ決定ヲ以テ事件ヲ他ノ管轄地方裁判所ニ移送スルコトヲ得

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第一項ノ場合ニ於テ事件ノ移送ヲ受ケタル裁判所ハ關係市町村長及郡長ニ對シ其ノ旨通知スルコトヲ要ス

○佐藤(友)委員 第一項ニ「決定ヲ以テ事件ヲ他ノ管轄地方裁判所ニ移送スルコトヲ得」トアリマスガ決定ト云フノハ何ヲ決定スルノデスカ。

○石黒幹事「決定」ト申スノハ訴訟法上ノ術語デアリマシテ、裁判所ガ事件ヲ他ノ裁判所ノ管轄ニ移スニハ判決ト云フ形式ヲ執ラズニ決定ト云フ形式ヲ以テスルト云フコトデアリマス、事件ノ内容ヲ決定スルト云フノデハアリマセヌ。

○議長(岡本委員長) ソレデハ第五條ハ御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマシテ第六條ニ移リマス。

第六條 當事者義務ノ回避其ノ他不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁判所ハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ之ヲ關係市町村長及郡長ニ通知スルコトヲ要ス

○議長(岡本委員長) 御異存ハゴザイマセヌカ。

○松本委員 各條文毎ニ精シク法文ヲ研究シテ居リマセヌカラ、議事ノ進行モ結構デアリマセウガ、朗讀ヲ了ツテ異議ナシ可決ト云フコトデハ發言ノ機會ガアリマセヌカラ一分間位ハ間ヲ置イテ戴キタイ——法文ヲ能ク研究シテ居リマセヌガ、「當事者義務ノ回避其ノ他不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ裁判所ハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得」トアリマスガ、普通法律ニハ斯ウ

云フヤウニナツテ居リマスルカドウカ申立ヲ却下スルコトガ出來ルト云フノハ是ハ裁判所ノ仕事デア
ルコトハ分リマスガ、認ムルノハ誰ガ認メルカト云フ事ハ書イテナイノデ、見ヤウニ依ツテハ當事者
ガ認メルト云フヤウニモ讀メルノデアリマス、是ハ裁判所ト云フノヲ頭ニ持ツテ來テ「裁判所ハ當事
者義務ノ回避其ノ他不當ノ目的ヲ以テ濫ニ調停ノ申立ヲ爲シタリト認ムルトキハ其ノ申立ヲ却下スル
コトヲ得」ト書イタ方が明瞭デアリマセヌカ、餘リクダラヌ事デアリマスケレドモ幹事ニ一寸……
○石黒幹事 借地借家調停法ノ條文ヲ其儘拜借シタノデアリマシテ幹事ハ之デ分カルト思ヒマスガ……
○矢口委員 第六條ハ是デ差支ナイト私ハ思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイト認メマシテ第七條ニ移リマス。

第七條 調停ノ申立ヲ受理シタル事件ニ付訴訟カ繫屬スルトキハ調停ノ終了ニ至ル迄訴訟手續ヲ中止ス

○議長(岡本委員長) 御異存ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異存ハナイモノト認メマシテ第八條

第八條 裁判所調停ノ申立ヲ受理シタルトキハ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス但シ裁判所他ニ適當ナル者有リト認ムルトキハ先ツ之ヲ

シテ調停ヲ爲サシムルコトヲ得

○土井委員 最後ノ「裁判所他ニ適當ナル者有リト認ムルトキハ先ツ之ヲシテ調停ヲ爲サシムルコト
ヲ得」ト云フノハ何カ裁判所ノ方カラ指名デモスルノデアリマスカ、此條文ノ意味ガ分リマセヌガ、
此人ヲドウシテ拵ヘルノデアアルカト云フ事……

○石黒幹事 八條ノ但書デアリマスガ、調停法ニ據ル調停ト云フモノハ一ノ形式ヲ履ミ特別ノ力ヲ伴
フヤリ方ニナルノデアリマスガ、尙ホ別ニ形式ヲ定メズ簡易ニ纏メル調停ノ事項ガ調停法ガ無クテモ
現ニ地方一般ニ澤山アルノデアリマス、其式デヤリ得ルモノハ依然ヤラセルヤウニシタイ、此現今事
實行ハレテ居ル所ノ調停ト云フモノハ、勿論ソレハ將來モ行ハルベキモノデアルト云フ事ヲ、調停法
ヲ議セラルル際ニモ前提トシテ考ヘラレタノデアリマシテ、サウ云フ事ヲ前提トスルガ故ニ、調停法
ニ依ル調停ノ申立アツタ際ニモ此事實上ノ調停ヲヤラセルニ極メテ適當ナル者ガ見出サレタナラバ先
ヅソレニ事實上ノ調停ヲヤラセテ、委員會デアルノヲ控ヘテ見ヤウ、斯ウ云フ趣意デ此條文ガ設ケラ
レタノデアリマス、ドウ云フ者ヲ認ムルカト云フコトニナリマスルト、調停者ノ候補者タルベキ人ノ
中ニハ地主側ニモ小作側ニモ偏シナイヤウナ人モアリ得ル、サウ云フ適當ナ人ガ民間又ハ町村長、郡
長ナドノ中ニアツテ、尙ホ其ノ手ニ依ツテ調停サセル餘地ガアツタナラバ其人ニ——調停委員會ヲ組
織セズシテ、ヤツテ貫フヤウニスル事ヲ試ミルノガ宜シイト云フ趣旨デ、此規定ガ出來タノデアリマ

○土井委員 能ク意味ハ分リマシタガ、ソレハ裁判所カラ指名デモスルノカ、其人ヲ頼ンデ來ル手續例ヘバ十條ニナリマスルト、委員ニ指定サレタ者ハ正當ノ事由ナクシテ辭スルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居リマスルガ、此調停委員以外ニ適當ナ者ヲ裁判所ガ頼ンデ來ルノデアリマスカ、其人ヲドウシテ拵ヘルカト云フ其事デアリマス。

○石黒幹事 ソレハ矢張指定ヲ致スコトニ事實ナラウト思ヒマス。

○矢口委員 幹事ニ伺ヒマスガ、此「但シ裁判所他ニ」ト云フノハ「ハ」トカ「ニ於テ」ト云フ文字ガ這入ラナイ方ガ良イノデアリマスカ「ハ」ト云フ字ガ省イテアルヤウデアリマスガ。

○石黒幹事 「ハ」ト云フ字ノアルノト同ジ意味デ書イタノデアリマス、「ハ」ト云フ字ヲ入レタ方ガ整フノカモ知レマセヌガ別ニ落シタノデアリマセヌ——尙ホ是ハ末弘委員ノ御記憶デハ「ハ」ガアルトニツ重ナルカラ省イタト思フト云フコトデアリマス。

○議長(岡本委員長) 土井委員ニ伺ヒマスガ、何カ御意見デモアリマスカ。

○土井委員 意見ト云フコトデアリマセヌケレドモ、若シ兎ニ角サウ云フ人ヲ指名シテ、其人ガ應ジナカツタヤウナ時ニ、若クハ指名ナラ指名ト云フ事ヲ何カハツキリト書イテナイト、愈々ト云フ時ニ此法ヲ運用ナサル時ニ裁判所ガ困ラレルヤウナ事ガナイカト思ツテ質問シタノデアリマス、ケレド

モ是デ指名ナラ指名ト云フ意味ガ分ルト云フコトデアレバ意見ハアリマセヌ。

○岩田委員 私ハ此原案ニ賛成シタノデアリマスガ、後カラ考ヘルト、「先ヅ」ト云フ文字、此字ガアルト、唯最初ダケ出來ル、裁判所ガ調停ヲ開始シテ後ニ大變良イ調停者ガ出來テ、双方當事者ガ其人ニ委セタイト云フ希望ガアツタ時デモ實ハ是ガ行ハレル意味ニナツテ居ツタノデ「先ヅ」ト云フ字ガアルト途中デハイケナイト云フ疑ヲ生ズルノデアリマスカラ、其文字ヲ削除シタイト思ヒマス、サウ云フ意見ヲ提出致シマス。

○河田委員 私モイマ一ツ修正意見ヲ出シタイト思ヒマス、但シ以下ガアルガ爲ニ、少ナキダニ微温的ノモノヲ更ニ微温的ナラシメルノデアリマスカラ、是ガ無クテモ事實適當ノ人ヲシテ調停ヲ爲サシメルノデアリマスカラ、寧ロ但シ以下ヲ削ルト云フ意味ニ於テ修正シタイト思ヒマス。

○松本委員 此第八條ノ但書ニ依ツテ出來タ所ノ調停ハ、此小作調停法ニ據ル調停デスカ、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ、其結果ガ裁判所ノ認可スル調停ニナルノデアリマセウカ、ソレトモ又事實上ノ調停デアリマセウカ、此但書ノ調停ハ法律ノ結果ニ依ル調停デ、調停委員會ノ調停ト效力ハ同ジニナルヤウニモ見エマスルシ、又見ヤウニ依ツテハ從來ヤリ來ツタヤウナ事實上ノ調停デアラシクモ見エマスガ此調停ノ效果ハドチラニナルノデアリマスカ。

○石黒幹事 是ハ特別委員會デモ御研究ガアリマシタノデス、此條ニ適當ナル者ニ調停セシメルト云

フノハ、調停法ニ依ル調停委員會ノ調停トハ違フ、事實上ノ調停デ、後ニ規定シテアリマヌヤウナ効力ハナイ、即チ認可決定ヲ致シテ斯ウ云フ效力ヲ附スルコトヲ認メル範圍デゴザイマセヌ、全ク事實上行フ所ノ調停デアリマス。

○松本委員 サウシマスト是ハ法文ヲ順々ニ讀ンデ行クト自然サウ云フ意味ガ分ルカ知レマセヌガ、私ハ今偶然見マシタガ、第三十三條ニ「調停成リタルトキ又ハ第三十條ノ規定ニ依リ當事者又ハ總代ガ調停ニ同意シタルモノト看做サレタルトキハ裁判所ハ調停主任ノ報告ヲ聽キ調停ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス」ト云フヤウナ文句ガアリマスケレドモ、第三十三條ニ謳ツテ居リマス「調停成リタルトキ」ハト云フコトハ、少クモ第八條ノ但書ハ除イテ居ル意味デセウネ。

○石黒幹事 其意味デゴザイマス。

○池田委員 一寸一言致シマスガ、只今岩田委員カラノ御話ガアリマシタガ、八條ノ但書ニ「先ヅ云々」ト云フコトガアリマスノハ石黒委員カラ御説明ガアリマシタ通りニ調停事件ガ起リマシタ際ニ、先ヅ普通ノ成行キデアリマスレバ調停委員會ニ依ツテ之ヲ決スルコトニナリマスル、併ナガラ其關係當事者ノ人柄ニ依リ此事件ノ狀況ニ依ツテ此事件ナラバ彼ノ人中ニ入ツタナラバ直グ收マルデアハルマイカト云フコトガ認メラレテ居ル場合モ蓋シ少クナイコトト思フノデス、サウ云フ場合ニハ此調停委員會ヲ開イテヤルヨリモ、先ヅ其方ヲ試ミタ方ガ宜シイト云フ意味デ、幾ラカソレヲ獎勵スルト

云フ、取敢ヘズソレニヤラセルト云フコトノ意味ガ「先ヅ」ト云フ文字ニ含マツテ居ルマイカト云フコトデ、私ハ之ニ賛成ヲシテ居ル譯デアリマス、必シモ此「先ヅ」ト云フコトガアルガ爲ニ、其後ニ於テサウ云フ機會ヲ見付ケテモ之ヲ利用スルコトガ出來ナイト云フ、半面ニハサウ云フ事ハアルマイト思フノデアリマスガ、今「先ヅ」ト云フ字ヲ削ツテシマヒマスト、其肝腎ナ意味ヲ却テ沒スルヤウナ嫌ニナリハスマイカト云フコトガアリマスルカラ、寧ロ是ハアル方ガ宜クハナイカト思ヒマス、ソレカラ又河田委員カラモ御話ガアリマシタガ、サウ云フ極ク適切ナ人ガ居ツテ、其人ガヤルナラバ事ハ圓滿ニ收マルデアラウト云フヤウナ場合ニ、之ヲ利用スルト云フコトハ蓋シ調停ノ最モ理想トスル所デアリマシテ、最モ成績ガ舉ガル見込ノ多イ場合デアリマス、斯ウ云フ制度ヲ認ムルコトハ微温的ト云フコトデアリマシタガ、事ガ收マルト云フコトデアレバ何ヨリノコトデアリマス、「但シ」以下ハ極ク適當ナコトデアラウト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 第八條ニ就テハ御修正案ガ二ツ出テ居リマスカラ、河田委員カラ但書ヲ削除スルト云フ動議ガアリマシタガ、御賛成ガアリマスカ。

(「賛成々々」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 賛成ガアリマシタ、ソレカラ岩田委員カラ「先ヅ」ト云フ字ヲ削ツタ方ガ宜カラウト云フ御説ガ出テ居リマスガ、賛成ガアリマスカ。

(「賛成々々」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) サウシマスト河田委員ノ御修正案ニ對シテ決ヲ採リマス、河田委員ノ但書ヲ削除スルト云フ御意見ニ御賛成ノ方ノ御舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 少數

○議長(岡本委員長) 少數——岩田委員ノ但書中ノ「先ヅ」ヲシテ「ト」云フ「先ヅ」ト云フ字ヲ削ルト云フ御修正案ニ御賛成ガアリマスカ。

○末弘委員 「先ヅ」ヲ削ルト云フコトニハ賛成デアリマスガ、「先ヅ」ヲ削ツテシマフト何ダカ調停委員會ヲ開カズニ濟ミサウニ思フヤウナ虞ガアリマスガ……

○岩田委員 ソレハ是デ目的ヲ達スレバ開カヌデ宜イ、ドウモ池田君ノ御説明ヲ聽キマシテモ、途中デモサウ云フモノガアレバソレニヤラセル趣旨ダサウデアリマスカラ、ソレナラバ是ガアルトモウ是ハ途中デハイケヌト云フヤウニ解釋ヲサレル虞ガアリマスカラ、「先ヅ」ト云フ字ヲ削ツタ方ガ宜クハアルマイカト思ヒマス。

○矢口委員 只今私ガ述ベテ置キマシタ、此「但シ裁判所他ニ適當ナル」ト云フ此處へ「裁判所カ」ト云フ「カ」ノ字ヲ入レタラ宜カラウト云フ意見ヲ提出シテ置キマシテ、石黒君ハ之ニ賛成シタヤウニ思ツテ居リマス。

○議長(岡本委員長) 如何デセウカ、是ハ文字ノ御意見ノヤウデスガ、御趣旨ハ賛成デアリマスカ。

○矢口委員 趣旨ニハ賛成デアリマスガ、唯文字デアリマス。

○山田委員 「先ヅ」ト云フコトニ就テ一寸伺ヒマスガ、「先ヅ」ヲ削ルトカ削ラストカ云フノハ、削ツテモ削ラストモ意味ハ同一ナノデスカ、ソコハ……

(「削ル」方ガ範圍ガ廣クナルト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 先程岩田委員ノ御話デハ「先ヅ」ト云フ字ガアレバ一番最初ニ委員會ヲ開イタラバ途中カラ他ノ者ヲシテ調停セシメルコトガ出來ナイヤウニ見エルカラ削ツタ方ガ宜イト云フ……

○山田委員 此法文デハ先ヅヤツテモ宜シ、後ニヤツテモ宜シイト云フ、斯ウ云フ解釋ヲ取ツテ居ルノデスカ。

○議長(岡本委員長) 岩田委員ノ御意見デハ同ジヤウナ意味デアルナラ、此字ガアルト云フト紛ハシイカラ後デハ出來ナイト云フヤウニ解釋出來得ルカラ之ヲ削ツタラ宜イト云フノデス。

○岩田委員 是ハ「先ヅ」ト云フ字ヲ削ルノニ反對ノ御方ハ最初ダケハ許スガ、途中デハ許サナイト云フ意味ニ於テ反對セラルル方モアルヤウデアリマスカラ、其意味ニ就テ決定シテ戴イタラ便宜ダラウト思ヒマス、ドチラガ宜イカト云フ趣旨ヲ……

○三宅委員 私ハ今「先ヅ」ト云フコトヲ削ルニ對シテ反對ヲ致シマスケレドモ、勿論此解釋ハ今池田

委員ガ言ハレマシタ通り後デモ當然出來ルコトダト考ヘテ居リマス、唯是ハ何故此處ニ「先ヅ」ト云フ字ヲ入レナケレバナラヌカト云フノニ、大體先ヅ此調停ヲ爲サシメテ、サウシテ然ル後ニ調停委員會ヲ開イテ其調停ヲ頼ンダ人ノ調停ヲ爲シ、尙ホ確メル、ソレニ裁判上ノ和解タルノ效力ヲ與ヘル場合ガアルト思ヒマス、ソレニハ調停ヲ爲サシメタ人ガ大體調停ヲシテ、ソレヲ唯調停委員會ヲ開イテ確實ニスル場合モ随分アラウト思ヒマス、デアリマスカラサウ云フ場合ニハ即チ「先ヅ」ガ入リマスカラ、私ガ「先ヅ」ヲ削ルコトヲ反對致シマスノハ、敢テ趣旨ハ後デモ勿論頼ムコトガ出來ルト云フ趣旨ダト御了解ヲ願ヒマス。

○石黒幹事 幹事ガ立案ヲ致シマシタ際ニハ只今三宅委員ガ仰シヤツタコト竝ニ先キニ池田委員ガ仰シヤツタヤウニ考ヘテ居リマセヌノデアリマス、「先ヅ」ト云フコトヲ書キマシタノハ調停委員會ガ、成立チマシタ後調停委員會ガ途中デ適當ナ人ヲ見出シテ、サウシテソレニ任セルト云フコトハ私ハ想像シテ居リマセヌ、「裁判所ハ先ヅ」ト書イテアツテモ委員會ガ後デモヤレルコトヲ含ンデルノダトハ云ヘマイト思フ、借地借家調停法ノ方デハ調停ノ補助ト云フ形デヤルコトニナツテ居マスガ、調停委員會ガ當事者ノ意見ヲ聞イテ適當ト認ムル者ヲシテ調停ノ補助ヲ爲サシムルコトガ出來ル、即チ委員會ガ成立致シマシタ後ニ適當ナ人ヲ見出シテ、而モ當事者ノ意見ヲ聞イタ上デ始メテソレニ任セルコトガ出來ル様ニ明定シテ居リマス、小作調停法ノ此條文ハサウデハゴザイマセヌ、裁判所ガ調停ノ申

立ヲ受理シタトキニ調停委員會ヲ開クモノハ開クベシ、併ナガラ裁判所ガ他ニ適當ナ者アリト認メタトキニハ裁判所先ヅ之ヲシテ調停委員會ヲ開カズニヤルコトガ出來ルト云フ事ヲ單純ニ規定シタコトト思ヒマス、既ニ調停委員會ガ成立シタ後デモ他ノ適當ナル者ヲ見出シタ場合ニ、ソレニヤラセルト云フ風ニスルガ良イカドウカト云フ内容問題ハ別ニ考ヘタイ、岩田委員ハ私ト同ジク原案ハ此内容ヲ包含セヌト信ジテ御出デニナル、其所デ之ヲ包含セシメル爲ニ「先ヅ」ヲ削ラウト云ハレルノデアル、此點ニナルト私ハ考ガ違フノデ「先ヅ」ヲ削ラヌガ良イ、又假令「先ヅ」ヲ削ツテモソレ丈ケデハ變ナコトニナルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレハ調停委員會ガ既ニ開カレテ取掛ツタモノヲ後デ裁判所ガ適當ナ者ヲ見出シタト云フノデソレニモヤラセ得ルコトニ致シマス、調停委員會ノ調停ト云フモノハ如何ナルモノデアラウカ、ソレ故假ニ内容問題ニ付テ後デ個人ニ當ラセルコトモ認メルガ良イトナツテモ「先ヅ」ヲ削ツタ許リデハイケヌ、後ノ場合ハ委員會ガ當事者ノ意見ヲ聞イテヤリ得ルコトト規定ヲ立テナケレバイケナイコトニナルト思ヒマス、又借地借家調停法ノ方デ調停ノ補助ト云フ形デ個人ニ任セテモソレハ矢張調停委員會ノ調停デ、ソレヲ補助シテルノデアルト解スベキ様ニ私ハ思ヒマスガ、此小作ノ調停委員會ノ方デハ未ダ調停委員會ガ開イテナイ前ノ場合ノミヲ規定シタモノ、調停委員會ノ調停ニアラザル事實上ノ調停シタモノト思ヒマス、私ハ「先ヅ」ト云フ字ヲ文字ノ上ニ於テハ存置シ、而シテ趣旨ノ上ニ於テハ調停委員會ヲ開イタ以上ハ、委員以外ノ者ニハヤレナイト云フコト

ニスルノガ宜カラウト考ヘマス。

○田子委員 私ハ幹事ノ説明通りデ、原案ニ賛成シマス。

○横井委員 既ニ會ヲ開イタ以上ハ責任ハ會ニ在リマスカラ、手續上ニ人ヲ頼ムトカ頼マナイトカ云フコトハ會ガ決シナケレバ決定ガ出來ナイ、ソレデアリマスカラ「先ヅ」ハ必要デアリマス。

○議長(岡本委員長) 先程ハ「先ヅ」ガアツテモ無クテモ大體途中デモ調停セシムルコトガ出來ルト云フ風ニ考ヘテ御意見ヲ伺ヒマシタガ、「先ヅ」ガアルト無イトデ考ガ違フ、若シ其ノ間ニ誤解ノアル方ガアルトイケマセヌカラ修正丈ケヲ決定致シマス……

○矢口委員 特別委員長ノ御説明ヲ願ヒマス、特別委員會デ決定シタ精神ヲ承リタイノデアリマス。

○平野特別委員長 特別委員會デ決定シマシタ趣旨ハ、幹事カラ説明セラレタ通りデアリマス。

○池田委員 此八條但書ノ調停ト云フノハ先程カラノ御説明デ明瞭デアリマスコト、調停法ノ調停其物トハ違フノデ、事實上ノモノデアリマシテ裁判外ノ和解ト同ジモノデ、是レト彼トハ餘程性質ノ異ツタモノデアリマス、ソレデアリマスカラ此調停ガ出來マシタ上デ、更ニ調停委員會ヲ開イテ確實ナ裁判上ノ和解的ノ效力ヲ生ズルト云フ途モアル譯デアリマス、サウ云フ關係デアリマスカラ途中デ若シ此手續ヲ取ツタナラバ、所謂調停委員會ノ調停其物ハ此調停トドウ云フ關係ニナルカト云フコトニ付イテ、石黒委員モ御不審ガアルヤウデアリマスカ、今申シマシタヤウニ性質ノ違ツタモノデアリマ

ス、途中デ此調停ガ出來マシテ、ソレデ以テ當事者ガ満足スルナラバ事件ヲ取下ゲルデアリマセウ、更ニ進ンデ此上ニモ確定的ニ效力ヲ持タセタイト云フナラバ、調停委員會ヲ開イテ本法上ノ調停ノ形ヲ與ヘルコトモ出來マス、而シテ實質上ノ理由トシテ初メニ適任者ガ見附カラナクテ、ヤリ掛ツタ途中デ見附カツタ場合ニ、是レデヤレバ圓滿ニ解決ガ出來ルト思ツテモ時機ガ遅レタカラ及バナイ、其ノ不便ヲ忍バナケレバナラヌト云フコトハ敢テ得策デナイト考ヘルノデアリマス、此兩者ノ關係ハ別ニ心配スルコトハナカラウト思ヒマス、何ヅレ裁判所ガ但書ヲ運用スル場合ニ於テモ、調停委員會ト全ク沒交渉ニヤルコトハ萬々ナイト思ヒマス、其ノ點ハ此法案ノ大體ニ於テモ現レテ居リマスコト、手續規定ヲ細カク書カナイデ大キク廣ク書イテ居リマシテ、跡ハ適當ニヤルノデアリマスカラ、關係ハ明瞭デナイヤウデアリマスカ、裁判所ハ委員會ト沒交渉ニヤルコトハナイト思ヒマス、折角適任者ガ見附カツタナラバ之ヲ利用スルノガ良クハナイカ、此法文ニモ現ハレテ居ルト思ヒマスケレドモ、現ハレテナケレバ文字ハ適當ニ修正シテ良カラウト思ヒマスカ、實質上ノ規定ヲ置ク場合ニ其ノ便利ノ方法ヲ執レナイヤウニスルノハ如何カト思フノデアリマス。

○岩田委員 私モ其ノ點ニ付イテ申シマスカ、是ハ特別委員會ノ内輪ノコトヲ言フヤウニナリマスカ私ハ池田委員ト其ノ問答ヲシテ賛成ヲシタノデアリマス、或ハ是ハ幹事ニ徹底シナカツタカト思ヒマス、元來此法案ハ自由裁量ノ餘地ヲ廣クシテ置イテ窮屈ニシナイノガ大體ノ方針ニナツテ居リマス、

唯今池田委員ノ言ハレタヤウニ實際上ノ必要ガアルト思ヒマス、調停委員會ヲ開イタ所ガ行惱ンダ、此場合當事者ガ斯フ云フ人ガ働イテ吳レルナラバ任カシテ見タイト云フ、其ノ場合ニ調停委員會ガ出來タカラ最早ソレニ任カセルコトハ出來ナイト云フコトヲ言フ必要ハナイト思ヒマス、サウ云フ場合ニハ打遣ツテ置イテモサウ云フ人ガ出來レバヤルデハナイカ、調停委員會ヲ不能ニ終ラセルコトハ困難デアリマスカラ、誰カラカ委任ヲ受ケナケレバイヤダト云フコトヲ言フモノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニハ行詰ツテ調停委員會ハ其儘ニシテ置イテ、適當ナ人ニ——言フコトヲ聽キサウナ人ニ頼ムコトハ良カラウト思ヒマス、此場合理論上カラ言ヘバ調停委員會ガアリ、一方デハサウ云フ者ニ頼ムト衝突スルデアラウト云フコトハ考ヘラレマスガ、斯ウ云フ事ハ調停主任ハ裁判所ノ判事デアリマスカラ、其ノ人ガ活動シテ裁判所ヲ動かサナケレバサウ云フコトハナイデアリマスカラ、矢張是ハ途中デモ出來ルヤウナ途ヲ開イテ戴キタイト思ヒマス。

○矢口委員 サウ致シマスルト調停委員ノ面目ハドウ云フ風ニナリマスカ。

○岩田委員 サウ云フ虞レノアルトキハヤラナイノデス。

○三浦委員 私ハ但書ノ二ツノ缺點——利益ノ方ハ承リマシタガ——其ノ一ツノ缺點ハ裁判所ガムツカシイ事件ニナルト、調停委員會ヲ開クコトヲ延バス傾向ヲ助勢スルト思ヒマス、今一ツノ缺點ハ本

條ニ但書ヲ規定シタ精神ヲ推定シテ、裁判所ハ調停委員會ヲ開クヨリモ誰カ適當ナ者ハアリハシナイカ調ベル義務ガアルヤウニ考ヘラレルコトデアリマス、輕々シク適當ナ人ヲ尋ネルコトヲセズシテ調停委員會ヲ開クト、裁判所ガ職務ヲ輕ンジタヤウナ感ジヲ起サシメテ、裁判所ニ不安ノ念ヲ抱カセルヤウニ思ヒマス、ソレカラ爭議ハ裁判所ガ申立ヲ受クル前ニ既ニ問題トナツテ起ツテ居ルノデアリマスカラ、適當ナ人ガアレバ多クノ場合調停ガ出來テ居ル筈デアル、ソレガ出來ナイカラ起ルノデアリマスカラ、但書ノ場合ハ實際カラ言ヘバ稀デアル、勿論斯フ云フ事ガアリマシテモ判事ハ自己ノ責任上調停ヲ依頼スルコトガ出來ルノデアリマスガ、之ヲ但書ニ書クト權利ガアル、從ツテ義務ガアルト云フコトニナリマス、權利觀念ハ常ニ義務ノ觀念トナルノデアリマス、ソレデ私ハ利益ト缺點ト比較シテ缺點ノ方ガ多イヤウデスカラ但書ヲ削ル、若シ削ルコトガ出來ナケレバ尠クトモ「先ヅ」ヲ削ツテ存置スルト云フ意見デアリマス。

○矢口委員 唯今伺ツテ見マス、此文字ニ付イテハ幹事及横井委員ト池田、三宅兩委員ト岩田委員トノ間ニ於テ意見ヲ解釋ノ違ツタコトヲ遺憾トスルノデアリマス、特別委員會ニ於テナゼ其ノ際ニ事實上ノ調停ガ出來ナカツタノデアリマスカ。

○議長(岡本委員長) 此點ハ議論ガ盡キタヤウデアリマスカラ、更ニ御決定ヲ願ヒマス——「先ヅ」ト云フ字ハ兎モ角モト云フ趣旨デナク、先ヅ最初ニ限ツテ他ニ調停ヲ爲サシムルコトガ出來ルト云フ御

意見ト、何時デモ——途中デモ他ニ適當ナ人ガアレバ任カセルト云フ御意見ト二ツアルヤウデアリマ
ス……

○横井委員 「先ヅ」ヲ取ツテシマツテ、之ヲイツデモヤラレルト云フコトニナレバ會ヲ開イテ居ツテ
モ裁判所ガ自分ガ勝手ニ他ノ者ニヤラセテ會ハ働カナイデ濟ムト云フ意見デアルカ、會ガアツテ、サ
ウシテ會ノ手續トシテサウ云フ者ヲ選ンデヤラセルガ責任ハ負フト云フ意味デアルカ、ソコガ私ハ一
寸誤解ヲ招キサウニ思フ、「先ヅ」ヲ取ルト云フ意味ハドウ云フ所ニ在ルノデアラウカ、即チ會ヲ開キ
ナガラ別ニ調停サセルト云フ意味デアルカ、會ヲ解散シテ調停サセルト云フ意味デアルカ、ソコガ私
ニハ「先ヅ」ヲ除ク意味ガハツキリシナイノデアリマスガ、ソレヲ先ヅ伺ツテ見タイ。

○岩田委員 便宜私カラ申上ゲタイト思ヒマス、ワレハ調停委員會ハ勿論存置スルノデアリマス、存
置シテ便宜其方ノ手續ヲ見合シテ置クコトモアリマセウ、場合ニ依レバボツ／＼ヤツテ居ツテ、サウ
シテ適當ノ人ノヤリ方ヲ成行キヲ見テ居ルト云フコトモアリマセウ、ソレハ其時ノ機宜ニ隨ツテ宜カ
ラウト云フ趣旨デアリマス。

○横井委員 サウスルト會ノ調停ノ一種ト見ル譯ニナルノデアリマスカ。

○岩田委員 ソレハ矢張離レマス。

○齋藤委員 私ハ先刻岩田委員ノ「先ヅ」ト云フ字ヲ取ルニ賛成スルノデアリマス、即チ岩田委員ノ説

明ノ趣旨ニ同意シタノデアリマス、此「先ヅ」ト云フ字ハ前後ヲ指シタ意味デアルト御話ニナツタノデ
アリマスガ、甚ダ是ハ耳障リニナル、苟モ適任者ト認メタ者ニ先ヅヤラシテ見ヤウト云フヤウニ聞エ
ルノハ甚ダ是ハ宜シクナイ、確信ガナケレバ適當ナル人トシテ認定ハ出來ナイ筈デアリマス、ドウシ
テモ此人ニ依ツテ解決スルト云フ位ノ信任ガナケレバナラナイト思フ、マアヤラシテ見ヨ位ノ怪シイ
文字ヲ使フト云フコトハ宜シクナイ、ソコデ私ハ賛成シタノデアリマスカラ、更ニ私ノ「先ヅ」ト云フ
字ニ對スル解釋ヲ述ベテ賛成ノ意ヲ明カニシテ置キマス。

○石黒幹事 サウスルト只今ノ齋藤委員ノ御意見ハ内容ハ岩田委員ト同ジデモ「先ヅ」ヲ削ルト云フ理
由ハ違フノデアリマスカ……

○齋藤委員 同ジコトデス。

○石黒幹事 違フヤウデスガ。

○齋藤委員 同ジコトデス。

○山田委員 「先ヅ」ト云フ文字ハ非常ニ論議ガ盛ンニナリマシテ、サウシテ又削除ニ御賛成ノ御方ノ
中デモ意味ガ違フヤウニ聴取レマスシ……

○齋藤委員 更ニ意味ヲ強メタノデス。

○山田委員 「先ヅ」ト云フ字ハ考ヘヤウニ依ツテ非常ニ意味深重ニナリマスガ、是ハイマ少シ皆様ニ

御考ヲ願ツタ方ガ良カラウト思ヒマスカラ後廻シニシテハドウデスカ。

○議長(岡本委員長) 御賛成ガアリマスカ、山田委員ノ御説ニ……

(「協定シテハドウデスカ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 只今ノ山田委員ノ御説ハ少シ考慮スル餘地ヲ與ヘルヤウニ、後廻シニシタイト云フ意味ノヤウデアリマスガ、御異存ハアリマセスカ。

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○星島委員 私ハ賛成デアリマスガ、此調停ト云フ文字ヲ和解ト云フ文字ニシタ方ガ紛ラハシクナイヤウニ思ヒマス、サウ云フ點モ少シク……

○議長(岡本委員長) 時刻モ大分移リマシタカラ、第八條ハ明日ニ讓ツテ今日ハ是デ散會ニシテハ如何デアリマセウカ。

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) ソレデハ是デ散會致シマス。

午後五時三十五分 散會

第三日

九月二十一日 午後一時二十七分開會

一出席者

第一日ト同様(但シ田子、赤松兩委員ヲ除ク)

二議事經過

○議長(岡本委員長) 昨日第八條ガ未決ノ儘ニナツテ居リマシタガ、未ダ皆様ハ御揃ヒニナリマセヌカラ、第八條ヲ後廻シニシテハドウデセウ、是ハ餘リ他ノ條文ト關係ハ無イヤウデスカラ後廻シニシテ戴キタイ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) ソレデハ八條ハ後廻シニ致シマス——第九條ヲ議題ト致シマス。

第九條 調停委員會ハ調停主任一人及調停委員二人以上ヲ以テ組織ス

○議長(岡本委員長) 別ニ御意見ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマシテ第十條ニ移リマス。

第十條 調停主任ハ判事ノ中ヨリ毎年豫メ地方裁判所長之ヲ指定ス

調停委員ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者又ハ爭議ノ調停ニ適當ナル者ノ中ヨリ調停主任之ヲ指定ス

○河田委員 私ハ少シ修正意見ヲ有ツテ居リマス、文句ハドウ云フ風ニナリマシテモ宜シウゴザイマスガ、大體意味ハ此第二項トシテ「前項ノ指定ハ地主及小作人ヨリ各半數宛ヲ出サシムル様之ヲ行フコトヲ要ス」斯ウ云フヤウナ意味ヲ第二項ニ入レマシテ、第三項ノ所ノ「前項」ト云フ代リニ「本條ノ規定ニ依リ」ト云フ風ニ致シタラバト思ヒマス、其理由ハ昨日來述ベマシタ通りデアリマシテ、今更餘リ諄ク申上ゲル必要モナイノデアリマス、詰リ是ガ和解的ノモノデアルニシロ、此調停委員會ト云フモノヲ一般小作人ニモ信用ノ有ルモノニシタイト云フノガ私ノ希望デゴザイマス、ソレニハ矢張地主ト小作人ト各半數宛委員ヲ出シテ開クヤウナ制度ニナルコトハ、餘程此制度ヲシテ力有ルモノタラシメ、又餘程信任ヲ置ケル制度タラシメル所以デアラウト思フノデアリマス、ソレデ是ハ幹事カラノ御説明ニ依リマスと和解的ノモノデアルカラシテ、強イテ兩方面カラ半數宛調停委員ヲ出サスコトニ限ル必要ハナカラウト云フ風ナ御意見ノヤウデゴザイマスガ、是ハ併シ和解デアルカラト云フテモ兩方カラ出シテ惡イ譯ハ少シモナイノデアリマス、又和解デアレバ愈々以テ判定ヲ強制サレルノテナクシテ、銘々契約的ニ所謂和解シテ行カウト云フノデアリマスカラ、其和解ノ居中調停ノ任ニ當ツテ呉レル人ガ自分共ノ信用スル人デアルト云フコトガ餘程宜イコトデアラウト思ヒマス、シマスレバ和解デアルガ爲ニ、却テ兩方面カラ半數宛ノ委員ヲ出スト云フコトニ願ヒタイノデゴザイマシテ、右ノ修

正案ヲ提出シタ譯デアリマス。

○桑田委員 河田委員ニ御尋申シマスガ、河田委員ノ御意見ニ依リマスと、調停委員ハ詰リ農民ハ農民カラ出スト云フノデゴザイマスガ、言換ヘレバ兩方ノ階級ノモノデナイ者ハ出スコトガ出來ナイノデアリマスカ。

○河田委員 委員ハ小作人側カラ五人ナラ五人、地主側カラ五人ナラ五人、ソレカラ中立……

○桑田委員 中立ト申シマスと——ソレハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、小作人ノ性質ヲ有ツテ居ルモノ、地主ノ性質ヲ有ツテ居ルモノハソレニ這入レナイコトニナリマスカ。

○河田委員 左様

○横井委員 當事者デスカ。

○河田委員 當事者デハアリマセヌ、居中調停ノ任ニ當ル人、調停委員……

○桑田委員 私モ一ツ修正案ヲ有ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ河田君ノ修正案ト多少趣ガ違ヒマスルガ、併シ河田君ト或ハ調停ガ着クカモ知レナイト思ヒマスカラ、假リニ修正案ヲ申上ゲテ置キマセウ、矢張第十條ニ第三項ヲ加ヘマシテ、其第三項ノ内容ヲ申シマスと、文字ハ是ハ又後ノ問題ニ致シマスガ、前項ノ委員ノ中デ地主小作人ノ中カラシテ調停主任ガ指定ヲシタ場合ニハ、是ハ双方共同數タルコトヲ要ス、隨テ中立即チ二階級ニ屬シナイ人ヲ矢張調停委員ニ爲シ得ル、若シ地主カラシテ五

名出シタ以上ハ小作人ノ方カラ五名出スト云フ斯ウ云フ意味デアリマス、初メカラ其小作人地主双方ノ階級ノ者ト云フコトニ決メマセヌデ、若シ片方ノ階級ノ者カラ何人カ出セバ、片方ノ階級カラモ同數ノ者ヲ出スト云フ、ソレデ御協定ハ着キマスマイカドウデアリマス。

○河田委員 サウ致シマスト調停主任ハ兩階級ニ屬シナイ者ダケヲ指定スル……

○桑田委員 ソレモ出來ルノデアリマス。

○河田委員 サウナリマスルト私ハ一寸妥協ガムヅカシイノデアリマス、私ハ地主ノ方カラト小作人ノ方カラト斯ウ云フノデアリマス。

○議長(岡本委員長) 河田委員ニ一應御確メ致シテ置キマスガ、河田委員ノ御意見デハ第二項トシテ地主及小作人ヨリ調停委員ノ各半數宛ヲ出ス、其出スト云フコトハ各地主側或ハ小作側デ選定スルノデアリマスカ。

○河田委員 ソレハ調停主任ガ指定スル、選舉サスノデアリマセヌト云フ意味デゴザイマス、之ヲ若シ地主ノ組合ヤ小作人ノ組合ガ十分發達シテ居リマスレバ、其組合カラ選舉サスコトガ出來ルト思ヒマスガ、今日我國ノ制度デハ兩方面ノ組合ガ發達シテ居リマセヌ、矢張調停主任ニ於テ適當ト思フ者ヲ兩階級カラ半數宛出スト云フ、指定スルト云フ意味デアリマス。

○議長(岡本委員長) 尙ホ確メテ置キマスガ、現在ノ二項ノ所「又ハ爭議ノ調停ニ適當ナル者」ト云フ

モノガ、地主小作人ノ間ニアレバ必ず出スト云フノデアリマスカ。

○河田委員 私ハ字句ハドウナリマシテモ宜シウゴザイマスガ、趣旨ハ調停主任ガ指定スルトキニハ調停主任ガ必ず地主ノ側カラ半數、小作人側カラ半數、而シテソレハ調停主任ノ考ニ依ツテ調停ニ適當ナル者ヲバ指定スル、斯ウ云フノデアリマシテ、併シ是ハ其以外カラ適當ノ者ヲ出スト云フ意味デハ私ノハナイノデアリマス。

○議長(岡本委員長) 桑田委員ノ御意見ハ此第二項ニ前項ノ委員ノ中地主及小作人ヨリ指定スルトキニハ必ず双方同數トスル、斯ウ云フ意味デスカ。

○桑田委員 左様デアリマス。

○議長(岡本委員長) 他ニ御意見ノアル方ガアリマスカ。

○矢口委員 只今質問スルノハ甚ダ何デゴザイマスガ、第十條ニ「毎年豫メ」ト殊更ニ「毎年」ト入レタノハドウ云フ精神カラデアリマスカ。

○石黒幹事 「毎年豫メ」ト申シマスノハ裁判所ノ事務ノ分配ガ年々ニ色々ノ係リテ定マルノダサウデアリマス、ソコデ毎年之ヲ改メテ參ルノデアリマスガ、成ベクハ引續イテ同人ニシテ貫フヤウニ致シテ、即チ指定ハ改メテヤルコトガ裁判所ノ事務ノ都合上毎年ヤルコトニナリマスケレドモ、甲ノ人ヲ必ず乙ノ人ニ更ヘル譯デハナクシテ、成ベク差支ナイ限リハ甲ノ人ニ専門的ニ續イテ居ツテ貫フノデ

アリマス。

○末弘委員 河田委員ニ一寸御尋致シマスガ、只今ノ選舉デ選出スルノデナイト云フコトニナリマス
ト、地主ト小作人デナイ者デモ地主側小作人側ト云フヤウナ意味デ指定出來マスカ。

○河田委員 私ハ其意味デアリマセヌ。

○末弘委員 サウスルト地主小作人デナケレバイケナイ……

○河田委員 併シ地主小作人ト云フ意味ハ明瞭ニ區別スルコトガ出來ナイト思ヒマス。

○末弘委員 サウナルト選舉以外ノ指定デ同數ナラシメルコトハ、主任ノ意見デアハ同數ナラシメル積
リデモ、外ノ人ガ見タナラバ同數デナイト誤ルヤウナコトガ起リハシマセヌカ。

○河田委員 例ヘバ小學校ノ先生トカ云フモノデスト、其人ヲ指定シタトキニハ小作人デナイト云フ
コト丈ニ明カデアリマス。

○末弘委員 モット不明ナ者ガアリマセウ、小作人デアルノカ地主デアルノカ……

○河田委員 アリマセウカ、併シ伊太利邊デモ大體サウ云フヤウナコトデヤツテ居ルヤウニ思ハレマ
ス。

○末弘委員 併シサウ云フヤウナ指定デアハ必ず小言ガ來ルダラウト思ヒマス。

○河田委員 相當明瞭ナモノヲ出セバ大丈夫デアリマス。

○末弘委員 サウスルト適當ナル人ヲ逃ガス虞ガアリマス、ソコデ私ハ今ノ制度デアハ成ベク主任ニヤ
ラセルヨリ仕方ガアルマイト考ヘマシテ「調停主任前項ノ指定ヲ爲スニ付テハ調停委員ノ職業經歷等
ニ留意シテ調停委員會ノ組織ヲ成ベク當事者双方ニ公平タラシメルコトヲ要ス」ト云フ風ニ……

○河田委員 ソレハ私ノトハサウ距離ガアルトハ思ヒマセヌ。

○議長(岡本委員長) サウスルト末弘委員ニ御尋シマスガ、修正意見トシテ御出シニナリマシタノデ
スナ。

○末弘委員 出シタイト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 御三名カラ多少變リマシタ修正意見ガ出テ居リマスガ、此河田委員ノガ一番原
案ニ遠イヤウデアリマスカラ、此方カラ一ツ確メテ參リタイト思ヒマス、河田委員ノ御修正ハ第二項
ヲ置イテ大體ノ御趣旨ハ斯ウ云フ意味デアツタト思ヒマス「前項ノ後段ノ場合ニ於テハ地主側及小作
人側ヨリ同數宛ヲ指定スルコトヲ要ス」斯ウ云フヤウナ趣旨ノヤウデスガ……

○河田委員 左様デアリマス。

○議長(岡本委員長) サウシテ現在ノ第三項ヲ繰下ゲテ——是ハ「前項ノ」トナリマスカ「前二項」トナ
リマスカ、此ノ現在ノ第二項、原案ノ第三項ヲ第四項ニ繰下ゲルト云フ、斯ウ云フ御修正案デゴザイ
マス、其ノ趣旨ダケ、文字ハ後カラ直スコトニ致シテ、此御趣旨ニ御賛成ノ方ノ舉手ヲ御願ヒ申シマ

ス——御賛成ガ無イヤウデアリマスカラ消滅致シマシタ——次ニ末弘委員ヨリノ意見デアリマス、末弘委員ハ第三項ニ「調停主任前項ノ指定ヲ爲スニ付テハ調停委員ノ職業經歷等ニ留意シテ調停委員會ノ組織ヲ成ベク當事者双方ニ公平ノモノタラシムルコトヲ要ス」斯ウ云フ御趣旨デアリマス、此御修正案ニ對シテ御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス。

○河田委員 私ノ修正案ガ敗レマシタカラ此說ニ賛成シタイト思ヒマスガ宜シウゴザイマスカ、サウ云フコトガ出來マスカ。

○議長(岡本委員長) ソレハ宜シウゴザイマス——御賛成ノ方ハ舉手
舉手者 少數

○議長(岡本委員長) 少數ト認メマス。

○矢口委員 修正案ヲ提出スルニハ別段一名トカ二名トカ同意スル必要ハゴザイマセヌカ、一人ガ別々ニ出シテモ宜シウゴザイマスカ。

○議長(岡本委員長) ソレハ賛成者ガナケレバ消滅スルノデスガ、念ノ爲メニ一應御賛成ノ有無ヲ確メタ方ガ良カラウト思ツテヤツテ居リマス。

○矢口委員 ソレデハ修正案ハ一人デ提出シテ宜シイノデスカ。

○議長(岡本委員長) 惡ケレバヤリ直ホシテモ宜シイノデスガ、念ノ爲メニ斯ウシテ居リマス——次

ニ桑田委員ノ修正說デスガ……

○桑田委員 理由ヲ申シマセウ、私ノ修正案ハ河田委員ノトハ違フト思ヒマス、ソレハ調停主任ガ委員ヲ指定スル場合ニ、地主小作人ノ階級以外ノ者ヲ指定シテモ構ハナイ、即チ第三者ヲ指定シテモ構ハナイ、若シ地主小作人ノ階級カラ調停委員ヲ指定スル場合ニ於テハ、双方ノ階級ノ者ヲ同ジ數ヲ以テ指定スベシト云フノデアリマス、其ノ理由ハ第十條ヲ若シ此儘置キマスルト、調停委員ハ當事者ノ合意ニ依ツテ選定サレルノガ一ツ、是ハ事實ニ於テ不可能ニ屬スルコトデ、殆ドムヅカシイ事デアリマセウ、ソレカラ第二ノ場合ハ調停ニ適當ナル者ヲ指定スルノデスガ、是モ若シ原案ノ儘デ置キマスルト、調停主任ガ或ハ地主ノ方面ニ偏シタ者ヲ舉ゲル懸念ガアリハシナイカ、又一面カラ言ヘバ小作人ニ偏シタ人ヲ選ブ懸念ガアリハシナイカ、ソコデ調停主任ガ地主ト小作人トノ社會階級ノ者ヲ選ブ場合ニハ同數ヲ指定スベシト規定シタ方ガ、此案ガ世間ニ出テモ地主小作人ノ双方ヲ安心セシムル所以デナイカト思ハレマス、又調停主任ガ委員ヲ選定スルニ當ツテ手加減デ偏頗ナコトヲセズシテ公平ナル態度ヲ保チ得ルデアラウト云フ考デ、此意見ヲ昨日申シタノデアリマス、其ノ時石黒幹事ノ意見ヲ伺ツタノデスガ之ニ付テハ御賛成デアツタヤウニ思ヒマスガ、之ヲ實際ニ行フ場合ハ私ノ申スヤウニヤル考ダト云フコトデアリマスカラ、サウ云フ御考ナラバ寧ロ之ヲ法文ニ書イテ置イタ方ガ、世間一般ヲシテ安心セシメ、且又明確ニモナリマスカラ、私ハ此修正案ヲ提出シタノデアリマス。

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 桑田委員ノ御修正案ハ、第三項ニ「前項ノ委員ノ中地主側及小作人側ヨリ指定シタルトキハ各々同數トスルコトヲ要ス」ト云フ趣旨デスガ、此修正ニ御賛成ノ諸君ノ舉手ヲ願ヒマス。

○横井委員 議題ニナリマシタカラ私ハ意見ヲ述ベマス、私モ初メハ桑田君ノ修正ニ賛成シタモノデアリマシタガ、ツラ／＼考ヘマスルト、サウ云フコトハ頗ル可能性ニ缺ケテ居ルト思ヒマス、小作階級ノ者ノ小作階級ノ者ヲ信賴シ、地主階級ノ者ハ地主階級ノ者ヲ信賴スルトハ必ズシモ請合ヒハ出來ナイト思ヒマス、サウ云フムツカシイコトニナリマス、殆ド調停委員ヲ見出ダスコトニ困難ヲ感ジテ來ル、仲裁ト云フコトハドチラニモ偏頗ヲシナイト云フコトヲ條件トシテ委員ヲ選ブ場合ニ、片一方ニ信賴セラレルガ、他方ニハ偏頗デアルト云フ者ヲ兩方カラ互ニ舉ゲルト云フコトハ趣意ニ於テ缺ケテ居ツテ、適當ナラザル所ガアルノミナラズ、又其可能性ニモ缺ケテ居ルト思ヒマスカラ、私ハ此案ニハ賛成シタナイト思ヒマスノデ簡單ニ反對致シマス。

○石黒幹事 唯今桑田委員カラ、昨日私ガ桑田委員ノ御修正ニ賛成ヲ申上ダタヤウニ仰セデアリマシタガ、ソレハ特別委員會ニ意見ガアツタカ、ナカツタカト云フ御尋ニ對シテ、特別委員會ノ時ニハ意見ガ澤山ニアリマシタ、尙ホ調停ノ性質上必ズニツニ別ケル譯ニハ往カナイ中立ノモノモ這入ル譯デア

アル、ソレヲ書キ別ケルコトハ困難デアル、ト云フコトヲ申上ダタ處ガ、更ニ明文ニ書現ハスコトガ困難ナラバ、或機會ニ宣言スルコトハドウデアルカ、幹事個人ノ意見ハドウカトノ御尋デアリマシタノデ、私ハ特別委員會ノ宣言ト云フコトニ付イテハ宜シイト思フト云フコトヲ申シマシタ、地主側又ハ小作側ノ者ニ委員ヲ指定スル場合ハト云フ條件ノ下ニ同數指定ノ制限ガ桑田委員ノ仰シヤル意味ヲ明白ニ言現ハスコトノ出來ル適當ナ文句デ書現ハスコトガ出來マスレバ、之ヲ法文ニ言明サルコトモ良カラウト思フ旨ヲ申シマシタ、併シ今口頭デ御述べニナツタコトヲ御決議ニナツタバカリデハ、儲整理ヲスル際ニ私共甚ダ困難ヲ致スコトト存ジマス、仍デ文句ヲ附シタル御提案ヲ私ハ此際形式上カラ計リデナク實質ニ關係シテ必要ノ事ト考ヘマス。

○桑田委員 私ハ之ヲ提議スルニ至リマシテ斯ウ云フ考デ居リマシタ、此修正ニ付イテ御採決ヲ願ツテ多數ノ御賛成ガアレバ、之ヲ法文ニ書現ハスニ付イテハ幹事其ノ外特別委員ノ中ニハ法律ノ専門家モアリマスカラ、然ルベク御評議ヲ願ツテ法文ニ書現ハスト云フ意味デアリマシタ、私自身モ之ヲ書現ハスノ困難ナルコトハ認メテ居リマス、故ニ趣意ニ於テ茲ニ之ヲ示スコトヲ必要ト考ヘマシテ其ノ趣意丈ケヲ申述べタノデスガ、幸ニ諸君ノ御賛成ヲ得テ可決ニナリマシタナラバ、文字ハ然ルベク願ヒタイノデス、併シ石黒幹事ニ於テ到底書現ハスコトガ出來ナイ、其他ノ特別委員ノ方々モサウ云フ御考デアレバ仕方ガアリマセヌカラ、之ヲ法文ニスルコトハ止メテ、其ノ趣意ヲ或機會ニ於テ宣明ヲ

シテ置ク——此會ノ意思トシテ宣言ヲスルカ、或ハ政府ガ執行ノ際ニ於テ宣言スルカ、何レニシテモ此會ノ意思ヲ極メテ置キタイト思ヒマス。

○矢口委員 唯今ノ桑田委員ノ御意見ハ希望條件ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ。

○桑田委員 マダ希望條件迄ハ往キマセヌ、其趣意ニハ賛成デアルトナツテ、併シ幹事ニ於テ文字ニ現ハスコトガ到底出來ナイトナレバ希望デアリマスガ、其所ガ如何デアリマスカソレガ問題デス。

○石黒幹事 幹事ニ於テ法文ニ付テ昨日來御依頼ヲ受ケタノデスガソレガ書現ハスコトガ出來ルカ出來ナイカ、愈々出來ナイトナレバト云フコトノ條件迄ヲ附ケテノ御話デアリマスガ、實ハ昨夜小平幹事其他ト御提案ノアリマシタニ付イテハ十一時過迄相談致シマシタ、サウシテ二三案書イテ見タノデス、併シドレモウマク書ケナイ缺點ガアリマス、一案丈ケハ先程開會前ニ御目ニ掛ケマシタガ、ソレモ缺點ガアルヤウナ次第デ御承知ノ通りデアリマス、ソレデ唯今出來ルカ出來ナイカ御返事ヲ申上ゲロ、ソレニ依テハ第二ノ手段ヲ御執リニナルト仰シヤルナラバ、幹事ノ方デハ是ナラバト思フ案文ハ出來マセヌト申上ゲルヨリ仕方ハゴザイマセヌ、ソレカラ特別委員中ノ法律専門家トモ相談スルコトトシテ退イテ考ヘテ見ヤウト云フコトデアリマスレバ、唯今末弘委員ノ案ニアツタ職業經歷等ノ字句デモ入レテ考ヘルカト思ヒマスガ、ドウモ是デモ餘程困難デハナカラウカト申ヒマス、是ハ重要ナ事デ此立法ノ信用ニ關スルカラ退イテモウ一遍ヤツテ見ロト云フコトデアリマスレバ、私幹事トシテ出

來ルダケノコトヲ致シマスガ、今直グ出來ルカドウデアルカト仰シヤレバ、今ハヤツテ見マシタガ出來マセヌト御答スル外アリマセヌ。

○副島委員 只今桑田委員カラ提案サレテ居リマスル事柄ニ付キマシテハ、其趣旨ノ御採決ヲ願ヒ、次ニ其法文ノ作成ハ幹事ナリ、或ハ他ノ委員ヲ選定サレルナリシテ、其作成方ヲ依頼シタラ良カラウト思ヒマス、一體其趣旨ヲ法文ニ表スコトハ出來ナイト云フコトハ私ハナイト思ヒマス、詰リ簡單ナ辭デ足りナケレバ其辭ヲ補足スルコトニ依ツテ出來ナイコトハナイト思ツテ居リマス、私ハ此趣旨ノ可否ニ付テハ、御採決ニナリマス場合ニ賛成スルカ反對スルカ、是ハ自ラ意見ヲ異ニシテ居リマスルガ、唯其法文ニ表ス文字無シト云フ故ヲ以テ此委員會ヲ閉ヅルコトハ遺憾ニ思セマス、ソレデ假ニ私ガ今此處デ考ヘテ見タ辭デ以テ表シマスルト、桑田委員ノ御意見ハ第三項トシテ「前項委員ノ一部又ハ全部ヲ地主小作人中ヨリ指定スル場合ニ於テハ其ノ双方ヲ同數ト爲スコトヲ要ス」ト書ケバ自ラ明瞭ニナルコトト信ジマス、併ナガラ練ツタ辭デアリマセヌカラ、幹事カラ御研究ノ結果ヲ御示シ下サレバ尙ホ考ヘル餘地モアルト存ジマス、要スルニ其趣旨ノ御採決ヲ願フベキモノデアリマシテ、唯表ス文字無シト云フ故ヲ以テ桑田委員ノ説ヲ葬リ去ルコトハ如何ニモ適當デナイト考ヘルノデアリマス。

○石黒幹事 只今副島委員カラ、幹事ニ於テ意見ガアルナラバ此席デ承ツテ見タイ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、幹事ノ案ハ色々書イタノデゴザイマスガ、ドレモ意ニ滿タナイノデアリマシテ、御披露

ヲ申スダケノ自信ガゴザイマセヌ、副島委員ノ今單純ニ考ヘタ案デアルカラ缺點モアラウト仰シヤツタ御案ト殆ンド同ジモノモ考ヘタノデアリマス、併ナガラソレガ果シテ桑田委員ノ御意見ニ合致スルモノデアアルカドウデアアルカ、私ハ桑田委員ノ御意見ハ其以外ニモアルヤウニ承知シテ居マス、小作人階級カラ選定シタ所ノ委員ガ小作側デアリ、地主中カラ選ンダ委員ガ地主側デアルト云フ事ハ主ナ場合ニ於テ事實デアラウト思ヒマスガ、併ナガラ地主階級カラ選ンダ者デモ、或ル場合ニ於テハ必シモ地主側デナイ場合モアラウ、ソレカラ又全然地主及小作人階級デナイ者デ、而モ調停上地主側ニ對シテ適當デアル者モアリ、或ハ小作側ニ信用ノアル者モアル、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ之ヲ言ヒ表スニ地主又ハ小作人中ヨリ指定シタ者ト云フ文字デハ未ダ桑田委員ノ御意見ハ満足セラレナイト思ヒマス、ソレ等ヲ如何云ヒ表シテ指定ヲ制限スルカ其點ガ桑田委員モ昨日來大分御研究ノアツタ所デアルト思フノデアリマス、ソコデ私共ハ「地主、小作人中」ト云フヤウナ文字ヲ用フルヨリハ「側」トカ「階級」ト云フヤウナ漠然タル文字ヲ用キタラドウカトモ考ヘテ見タノデアリマス、ソレモ尙ホ甚ダ異例ニ屬シテ居ルシ、漠然トシテ居ツテ宜シクナイト云フヤウナ御論モ、只今會ノ始マリマス前ニ此處デ出タノデアリマス、私ハ桑田委員ノ御意見ハ、地主、小作人ノ階級中カラ選ブト云フ場合ガ多イデアリマセウケレドモ、ソレダケニ付テ規定スレバ御満足ニナルモノデハナイト解シマシテ、ソレデ實際適當ナル文字ガ得ラレナイノデ困却シテ居ル事ヲ申上ゲタノデアリマス、單純ニ文字ノ困難ト云フ事

ヲ以テ主義ノ闡明ト云フコトニ反對ヲ致ス趣旨デハナイノデアリマス、桑田委員ノ趣旨ニハ私ハ昨日既ニ同意ヲ表明シタノデアリマス、唯今文字ニ付テ桑田委員カラ御要求ガアツタノデ、其御答ヲシタノデアリマス、其點ハ御了解願ヒタイ。

○副島委員 私が先程申シマシタ文字ノ中ニ、地主小作人中ヨリト申上ゲマシタ故ヲ以テ、當該關係ノ地主若クハ小作ト御考ニナツタヤウニ今ノ御説明ニ依ツテ聽キマシタガ、サウ云フ意味デハナイノデアリマス、若シ尙ホサウ云フ點ニ於テ不明ダト云フ御考デアリマスルナラバ「當事者タル地主又ハ小作人中ヨリ指定スルト否トヲ問ハズ前項委員ノ一部又ハ全部ヲ地主又ハ小作人中ヨリ指定スル時ニ於テハ双方ヲ同數ト爲スコトヲ要ス」トスレバ其疑ハ無クナラウト思ハレマスガ、兎ニ角モ桑田委員ノ説ハ、第三者カラデモ差支ナイ、併ナガラ地主ナリ小作人側ノ一方カラ選ブ場合ニハ必ズ同數ニセヨト云フ意味デアリマス、地主カラ選ンダ場合ニ於テハ小作人カラ同數ヲ選ブ、小作人カラ選ンダ場合ハ地主カラ同數ヲ選ブト云フ字ヲ使ヒマシタナラバ、委員ノ一部又ハ全部ヲ地主又ハ小作人中ヨリ指定スル時ニ於テハ双方ヲ同數ト爲スコトヲ要ス」ト云フノデ明カデアルト思フ、唯地主小作人中ト云フ文字ガ當該關係者デアルト云フヤウナ疑ガアルナラバ、其前提ニ當事者タルト否トヲ問ハズト云フ事ヲ冠詞シタナラバ、自ラ其疑問ハ取レルト思ヒマス、故ニ斯ウ云フ文字ハ未ダ勿論、不完全デアリマセウ、併ナガラ此程度ニ於テ御考ヲ願フナラバ、適當ナル辭句ヲ得ラルルコトハ不可能デハナカ

ラウト思フノデアリマス。

○岩田委員 私ハ只今桑田委員カラ御提議ニナリマシタヤウナ趣旨ノ規定ヲ置ク事ニハ、其趣旨ニ於テ反對致シタイト思フノデアリマス、ト言フノハ、此調停委員會ト云フモノハ、元來ノ趣旨ハ是ハ理想トスル所ハ公平ナル第三者ヲシテ調停セシムルノガ理想デアリマシテ、本來ナラバ地主側ニモ屬セズ、小作人側ニモ屬シナイ公平ナル第三者ヲ得ルノガ此調停法ノ主眼トシテ居ル所デアリマスガ、サウ云フ人ノ無イ場合ニハ已ムヲ得ズ地主側ナリ小作人側カラ選ブニ過ギナイデアリマス、即チ調停委員會ハ、双方ノ利害ノ代表者ヲ出シテ、ソコデ討論ヲサセルト云フ趣旨ハ少シモナイ、是ハ別ニ當事者ガ出ルノデアリマス、當事者ノ代表者ヲ調停委員會ニ呼出シテ其主張ヲ聽イテ、別ニ冷靜ニ判斷スルコトガ出來ル、第三者ヲ以テ調停委員會ヲ組織スルコトヲ理想トシテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ、此法文ノ上ニ是ハ條件附ノ趣旨デアツタヤウデアルケレドモ、双方ノ者ヲ同數ニ選バナケレバナラスト云フヤウナ事ヲ置キマスルト此趣旨ヲ誤ル虞ガアルノデ、調停委員會ハ双方ガ討論ヲスル機關デアルト云フ誤解ヲ招ク虞ガアリ、先ヅ調停ノ手續ニ入ル前ニ、一體調停委員會ノ組織ガ不公平デアルト云フヤウナ事デ、前以テ爭ノ種ヲ蒔クノデアリマシテ、口實ヲ設ケテ容易ニ出頭シナイ、出頭シテモ眞ノ目的トスル調停案ニハ這入ラナイト云フ苦情ノ種ヲ蒔ク嫌ヒガアルカラ、斯ウ云フ事ハ法文ニ書ク事デナクシテ、是ハ調停主任ノ自由裁量ノ範圍ニ委シテ置クノガ適當デアルト思フ、元

來、當事者ガ出テ意見ヲ述ベテ、ソレニ依ツテ調停委員會ガ意見ヲ決スルノデアリマスカラ、調停委員會ノ勸告ニ應ズルコトガ出來ナケレバ同意シナケレバ良イノデアリマス、サウ云フ爭ノ種ヲ蒔クヤウナ規定ヲ置ク必要ハナイノデアリマシテ、尙ホ横井委員ノ言ハレタヤウニ實際困難ナ關係モアリマセウシ、旁々是ハ調停主任ノ裁量ニ委シテ、サウ云フ場合ニハ双方カラ採ラナケレバ當事者ガ服シナイト云フ事ハ誰シモ直覺スルコトデ、法文ニ書カナクテモ誰ニモ分ル事デアリマス、是ハ法文ノ規定ニセズシテ自由裁量ニ委スコトニシタイト思ヒマス。

○桑田委員 只今岩田委員カラ反對ノ御意見ガアリマシタガ、調停法ノ趣旨トシテ調停委員會ハ公平ナ態度ヲ執ラス爲ニ成ベク第三者ガ良イ、双方ノ階級ニ屬シナイ者ガ良イ、斯ウ云フ趣旨デアルト云フコトデアリマシタガ、私ハソレトハ丁度反對ニ考ヘマス、調停委員會ガ公平ノ態度ヲ保ツコトハ必要デアリマス、假初ニモ偏頗ノ行爲ガアツテハイケナイト云フ事ハ疑アリマセヌガ、併シ此調停ノ結果ニ就テハ強制力ハ有タナイ、双方ノ合意ニ依ツテ之ニ從フトカ從ハナイトカト云フノデアリマスカラ、其調停ノ結果ガ實行サレルヤ否ヤト云フコトヲ確ムルニ付テハ、此調停委員會ニ對スル双方當事者ノ信任ガ必要デアアル、双於當事者ガ信用ヲ得タ調停委員會ノ調停條件デアレバ、是ハ双方トモ合意ヲ爲ス機會モ多イデアリマセウケレドモ、若シ之ニ對シテ全く不信任デアルトカ、或ハ全く没交渉ナル人達ノ調停デハ吾々ハ一向感服ガ出來ナイト云フ、斯ウ云フヤウナ考ヲ有ツタ調停委員會ノ調停條

件ニ對シテハ、恐ラクハ双方當事者ハ信賴シナイダラウト考ヘマス、ソレ故ニ調停委員會ヲシテ調停ノ效果ヲ全カラシムル、之ヲ徹底セシムル所以トシテハ調停委員會ノ中ニ當事者ノ代表者デハイケナイ、代表者ニアラズシテ双方ノ小作人ハ小作人ノ方面ニ於テ信用ヲ置キ、地主ハ地主ノ方面ニ於テ信用ヲ置キ、其人ガ其委員ニ加ハツテ居ルコトガ最モ必要ナコトト考ヘマス、其爲ニ公平ナル判斷ヲスルコトガ必要デアリマスケレドモ、其判斷ノ結果、即チ調停ノ條件ヲ成ベク實行セシメルコトニ就テハ之ニ多少ノ階級的ノ利害關係ヲ有ツタ者ガ居ルコトガ必要デアアルマイカト云フ、斯ウ云フ考デ提案シタノデアリマス、又横井君ノ御意見モ出マシタガ、是ハ實際ノ結果或ハ横井君ノ御心配ノヤウナコトガアリマセウケレドモ、大體カラシテ觀テ行キマス、先ヅ地主ハ地主ノ知識ヲ代表シ、小作人ニ同情ヲ有ツト云フコトガ、是ハ大體ノ觀察トシテ誤ガアリマセウケレドモ、先ヅ大體ヲ擱ンデ法律ヲ作ルコトガ努ムベキ所デアリマスカラ、横井君ニ於テモドウカ御賛成ヲ願ヒマス。

○横井委員 不幸ニシテ應ジラレナイノデス、大體ト云フ「エキセプション」ヲ初メカラ豫定シテ居ラレテ、サウシテ書キ惡クイ法文ニ書イテ、斯ウシナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ餘程ナ矛盾デアルト考ヘルノデアリマス、且ツ地主小作人ト云ヘバ口デ云ヘバ分ツテ居ルヤウデアリマスガ、實際ノ上ニ於テ何レガ地主デアル、何レガ小作人デアルト云フコトガ第一本當ニ分ラナイノデアリマス、地

主デ小作ヲシテ居ル者ガ澤山アリマス、小作地主デアル者モアリマス、自作シテ多少ノ小作ヲシテ居ル者ガアル、且又十條ヲ見マス調停委員ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタモノデアリマスカラ是ハ地主小作人ノ同意シタ者ガ多イ「又ハ爭議ノ調停ニ適當ナル者ノ中ヨリ」トアリマス、サウスルト桑田委員ノ御説明ニ依ルト爭議ノ調停ニ適當ナル者ノ中ヨリ調停主任之ヲ指定スト云フコトニソレガ當ツテ居ル、サウスルト第三者ヲ意味シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、其項ガ加ハリマス此項カラ改メテ掛ラナケレバナラヌ、ソレハ改メルニ越スコトハアリマスマイガ、ドウモサウ云フヤウニ調停委員ヲ選ブ場合ニ於テ偏頗ナ意義ガ此處ニ籠ツテ居ルコトハ、私ハ甚ダ宜シクナイト思フノデアリマス、偏頗デナイ、ドンナ人デモ信賴サヘスレバ宜イデハナイカ、地主ヲ小作人ガ信賴セヌト云フコトハ、所ニ依ツテサウ云フ事ガアリ得ルデアリマセウガ——階級思想ノ盛ナル所ハサウ云フコトガアリマセウガ、サウデナイ場合ニ於テハ彼ノ地主様ノ言フコトナラバ聽イタ方ガ宜イ、隣ノ地主様ノ言フコトハ隣ノ小作人ガ信賴スル場合ガ必ズ多イノデアリマスカラ、若シ不幸ニシテ地主中ニハ調停委員タルニ適當ナル者ガアルガ、小作人ノ中ニ於テハ無い、斯ウ云フコトハアリ得ベキコトダラウト思ヒマスサウ云フトキニハ適當ナ者ヲ是カラ選ブコトガ出來ヌ結果ニナルコトハ是ハ甚ダ宜シクナイコトデ、結局ハ此委員ヲ選ブトキニハ其結果ノ如何ヲ考ヘテ初メテ其委員ヲ選バレルニ相違ナイ、此委員ヲ選ブニ就テハ小作監督官ナドガ既ニ調ベテ居リ、又サモナクトモ此者ヲ伴レテ行ケバ小作人ノ方カラハ

到底信賴シナイト云フコトガ分ツテ居ルニ拘ラズ、夫等ノ者ヲ委員ニスルト云フヤウナ非常識ナコトハ先ヅ無イモノトスル方ガ宜カラウト思ヒマス、ソレヲアルモノトシテ必ズ縛ラナケレバナラヌコトニナツテ來ルト、却テ意想外ノ事ガ出來テ來ル虞ガアルノデアリマス、ソレデ大摺ミデト云ハレルナラバ、大摺ミノコトヲ法文ニ現スコトヲ講ジナケレバナラヌ、「エキセプション」ナシテ事ヲ云ハレルコトニナレバ、私ハソレハ法律トシテ甚ダ不當ナモノト思ヒマスカラ、不幸ニシテ賛成ガ出來兼ネマス。

○桑田委員 今横井委員カラ反對演説ガゴザイマシタガ、一ツ主ナ點ニ就テ説明ヲシテ置キマス、此地主小作人ト云フ中ニ、若シ地主デアツテ自作農兼小作ト云フ者ガアル、ソレハドウスルカト云フ、是ハ其事實ノ問題デアリマシテ、其場合ニ於テハモウ生活ノ根據ニ依ツテ見ルヨリ外ナイ、自作農ガ生活ノ根據デアルカ、小作ガ生活ノ根據デアルカ、夫等ノ輕重ヲ考ヘテヤルヨリ仕方がナイト思ヒマス、是ハ事實ノ問題ト思ヒマス。

○山田委員 各位ノ論旨モ双方トモ拜聽シマシタガ、モウ大抵了解シタヤウニ思ヒマスカラ、好イ加減ニケリヲ御着ケ下サリタイト思ヒマス。

(「賛成々々」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) ソレデハ桑田委員ノ御修正ノ御趣旨ハ第三項ヲ置イテ、「前項ノ委員ヲ地主及小

作人ヨリ指定スル場合ニ於テハ各同數ナルヲ要ス」斯ウ云フヤウナ御趣旨デアリマスカ。

○桑田委員 左様デゴザイマス。

○議長(岡本委員長) 之ニ對シテ御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 少數

○議長(岡本委員長) 少數ト認メマス——原案ニ御異存ゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ナイト認メマス——第十一條ニ移リマス。

第十一條 調停主任ハ爭議ノ實情ニ鑑ミ適當ト認ムル場所ニ於テ調停委員會ヲ開クコトヲ要ス

○矢口委員 逐條質疑ノ際ニ質問スルコトヲ失念致シマシタガ、此爭議ノ實情ニ鑑ミ適當ナル場所トアリマスカラ一定ハ致サナイノデアリマスカ、或ハ郡役所トカ裁判所ト云フ風デナク、適當ト認メタ所ハ何處デヤツテモ良イト云フ御趣旨デアリマスカ。

○石黒幹事 其通りデアリマス。

○議長(岡本委員長) 別段御意見ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ナイト認メマス——第十二條ニ移リマス。

第十二條 調停委員會ニ於ケル調停手續ハ調停主任之ヲ指揮ス

○議長(岡本委員長) 御意見ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ナイモノト認メマス——第十三條

第十三條 調停手續ハ之ヲ公開セス但シ調停主任カ相當ト認ムル者ニ限り傍聽ヲ許スコトヲ得

○議長(岡本委員長) 御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ナイモノト認メマス——第十四條

第十四條 調停委員會ハ期日ヲ定メ當事者又ハ總代ヲ呼出スコトヲ要ス

前項ノ呼出ヲ受ケタル當事者又ハ總代ハ正當ノ事由ナクシテ出頭ヲ拒ムコトヲ得ス正當ノ事由ナクシテ出頭セサル者ハ五十圓以下ノ過料ニ處ス

○議長(岡本委員長) 御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ナイモノト認メマス——第十五條

第十五條 當事者多數ナル場合ニ於テ裁判所又ハ調停委員會必要アリト認ムルトキハ當事者ノ全部又ハ一部ニ對シ出頭スヘキ總代ノ

選定ヲ命スルコトヲ得

前項ノ選定ハ書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス

第一項ノ規定ニ依リ選定セラレタル總代ノ全部又ハ一部カ當事者ヲ代表スルニ適當ナラスト認ムルトキハ裁判所又ハ調停委員會ハ之ニ代ルヘキ總代ノ選定ヲ命スルコトヲ得

○三浦委員 此總代ヲ選定スルコトノ出來ル場合ヲ追加致シマシテ、當事者自ラモ總代ヲ選定スルコトガ出來ルヤウニ修正アラムコトヲ希望致シマス。

○議長(岡本委員長) 一寸モウ一度……

○三浦委員 本案デハ裁判所又ハ調停委員會必要アリト認ムル場合ノ外ハ當事者ガ多數デアツテモ總代ヲ選定スルコトガ出來ナイコトニナツテ居リマス、當事者多數ナル場合ニ於テ多數ナル當事者ノ方ガ合意ノ上デ總代ヲ選定シタイトキニハ總代ヲ選定シ得ルコトノ途ヲ開キタイ。

○三宅委員 今三浦委員カラノ御話ノ件ハ勿論當事者ガ代人ヲ出スコトガ出來ル譯デアリマス、但シ其代人ヲ出シマスニ就テハ第十八條ガアリマシテ、已ムヲ得ザル事由アルトキニハ代理人ヲシテ出頭セシムルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスカラ、非常ニ澤山ノ當事者ガアリマシテ、大勢出テ來ルコトガ甚ダ不都合デアル、寧ロ一人出タ方ガ却テ能ク調停ガ出來ルト云フ場合ニハ勿論代理人ヲ許サナイ趣旨デハナイト思ヒマス。

○矢口委員 私モ第十五條ニ就テ代人ヲ出スコトハ差支ナイト認メテ居リマス、此條文デ差支ナイト認メマス。

○三浦委員 三宅委員ノ御説ノ通リト考ヘラレテ、特別委員會ハ第十八條ヲ確定セラレタノデゴザイマスカ。

○石黒幹事 特別委員會デハ此事ハ實ハ話ニ上ラナカッタノデゴザイマシテ、三宅委員ノ言ハレタ通リニ解釋ヲシテ居ツタモノダト申上ゲルコトガ出來マセヌ代理人ト同ジデゴザイマセウカ、少シ違フヤウナ氣ガスルノデアリマスガ……

○三浦委員 三宅委員ニ御伺ヒ致シマス、私ハ十八條ノ規定ヲ書變ヘタラバ或ハドウカ知リマセヌケレドモ、現在此處ニ出來テ居ルヤウナ書方デアルトスレバ、十五條ノ總代トハ全然意味ヲ異ニスルヤウニ考ヘマス。

○三宅委員 私ハ今ノ代理人ガ直チニ總代デアルト云フコトヲ申上ゲタ趣旨デハナイノデアリマスガ併ナガラ既ニ代人ヲ出セバ、ソレデ以テ十分總代ヲ出シタト同一ノ效果ヲ得ラレルノデハナイカト思ツテ居リマス。

○議長(岡本委員長) 他ニ御意見ハゴザイマセヌデスカ。

○石黒幹事 一寸三宅委員ニ伺ヒマス、送達ヲシタリ、何カスル效力ノコトハドウナリマス。

○三宅委員 代理人ニ對シテ送達スレバ矢張總代ニ對シテ送達シタコトト同一ニナルドラウト思ヒマス、

○塚本委員 十八條デハ呼出ヲ受ケタトキニ代理人ヲシテ代ツテ出頭セシムルコトガ出來ル規定ラシイデスガ、初メカラ代理人ヲ選ブコトガ出來ルヤウニシタイト云フ三浦委員ノ御意見ノ方ガ尙ホヨリ多ク便宜ドラウト思ヒマス、ソレ故ニ三浦委員ニ賛成ヲ致シマス。

○議長(岡本委員長) 三浦委員ニ伺ヒマスガ、第十四條——濟ミマシタ所デスガ——第十四條ノ「當事者又ハ總代」ト云フノハ、第十五條ニ於ケル裁判所又ハ調停委員ガ認メタ總代ニ限ルト御認メニナツタノデスカ。

○三浦委員 ソレハ第十五條ニ依ツテ選バレタ總代ト解釋シテ居リマス。

○議長(岡本委員長) 三浦委員ノ御意見ハ總代ノ選定ハ裁判所又ハ調停委員會ガ必要ト認メタ外ニ、當事者自身モ選ブコトガ出來ルヤウニ條文ヲ設ケタイト云フノデスカ。

○三浦委員 左様デス。

○議長(岡本委員長) 御賛成ガアリマシタヤウデスカラ決ヲ採リマスガ、一寸其ノ前ニ三宅委員ニ伺ヒマス、若シ其ノ規定ガナケレバ當事者自身ハ第十八條ノ外ニ總代ヲ選ブコトガ出來ナイト云フ趣旨デアリマスカ。

○三宅委員 第十四條ニ當事者又ハ總代云々ト云フコトガアリマスノデ、私ノ申ス代理人ハ這入ラナイコトハナイト考ヘマス、當事者が自由ニ總代ヲ選ンデ良イカ悪イカト云フコトハ考ヘナイト言ヘナイト思ヒマスガ、私ハ全然同一ノ結果ニナルト思ツテ申上ゲタノデス。

○岩田委員 私ハ斯ウ云フ意味ニ於テ提案ニ反對シマス、本來當事者ガ出ルベキデスガ、多數ノ場合ハ調停委員會ノ方デモ困リマスカラ、サウ云フ場合ハ總代ヲ出サセル、單ニ理論カラ考ヘマスルト當事者本人ノ方カラモ多數ノ時ハ總代ヲ出ス途ヲ開イテ置カナイト不便ノヤウデアリマスガ、サウ云フ場合ハ實際ニ調停委員會ノ方デモ困リマスカラ總代ヲ出セト云フデアリマセウ、之ニ反シテ當事者ガ進ンデ出シ得ルトナルト成ルベク本人ニ出テ貫ツテ、個別的ニ話ヲシタ方ガ良イト思ツテ居ルトキニ私ノ方カラモ總代ヲ出スト言ツテ運動屋ヲ出シテ來ルト、當事者ハ總代ヲ出ス權限ガ有ルカ無イカト云フコトニ付イテモ亦揉メナケレバナリマセス、ソレデ總代ヲ出サセルカ、出サセナイカト云フコトハ調停委員會ニ一任シテ置イテ、調停會デ總代ヲ必要ナリトスレバ出サセルト云フ趣意デ提案ニ反對シタノデアリマス。

○三浦委員 岩田委員カラ原案維持ニ付イテ實質的ノ方カラ反對セラレマシタ、自分モ實質的ノ方カラ申シマス、元來當事者多數ノ場合ニ總代ヲ選ブ權能ヲ與ヘルカ與ヘナイカト云フコトハ非常ニ重大ナル問題デアルト考ヘマス、決シテ裁判所ヤ調停委員會ノ事務ヲ行フ便利ノミニ依ツテ決スベキモノ

デナイ、組合ヲ作ル權利トカ總代ヲ選ブ權利トカ云フコトハ當事者ノ資格ニ於テ最モ必要ナ事デアラウト思ヒマス、然ルニ之ヲ唯事務上ノ爲メニ許サスト云フコトハ如何デアルカト思フノデアリマス。

○矢口委員 私モ提案反對、原案賛成者デゴザイマス、代人ヲ出スモ總代ヲ出スモ惡イコトハナイ、制裁ガナケレバ無論ヤツテ良イコトニナツテ居リマス、矢張此文デ十分ニ總代ヲ出シ得ルト考ヘマス故ヲ以テ提案ニ反對致シマス。

○議長(岡本委員長) 私ハ能ク判ラヌノデスカラ御尋ネシタイノデスガ、總代ト云フモノハ當然自身デ選定ガ出來ルモノデアルト云フ前提ノ下ニ三浦委員ノ提案ニ賛成ガナイノカ、或ハ岩田委員ノ御説ノヤウニ總代ハ良クナイト云フノデアリマスカ。

○三宅委員 總代ヲ勝手ニ當事者ガ選ブコトガ出來ルトナルト代理人ノ規定ト矛盾スルヤウニナリマス、故ニ總代ヲ勝手ニ出スコトハ許サレナイト解釋シナケレバナラヌト思ヒマス。

○横井委員 私ハ理窟ヲ退ケテ申シマス、實際調停ヲシヤウト云フ場合ニ、問題ハ總代カラ起ツテ參リマス、大抵此總代ハ許ストカ許サナイトカ云フコトガ地主小作間ノ第一ノ争トナツテ居リマス、然ルニ總代トナツテ來ル者ハ感心シナイ人物ガ出テ來ル、ソコデ地主ハ總代ヲ除ケテ各自ト談判ヲシヤウト努メテ、ソレガ破レテ多クハ總代ニナルカ何カ、イツモ其ノ間ニ曲折ガ多イト思ヒマス、結局總代ヲ勝手ニ選バセル利害ハ時ト場合ノ問題デアリマスカラ、調停委員ガ總代ヲ選ンダ方ガ良イト云

フコトガアツテ初メテ選ブ位ニシタ方ガ實際都合ガ好カラウト思フ、無理ニ多數ノ者ヲ呼出シテ總代ヲ許サナイト云フコトハアリ得ベカラザルコトト考ヘテ、ソレ丈ケハ調停委員ノ權能ニ任カセタ方ガ都合ガ好カラウト思ヒマス、又私ハ代理人ヲ成ルベク許サヌ意味デ、此案ガ出來テ居ルト思ヒマスノデ、旁々私ハ總代ヲ許ス許サヌノ權能ヲ調停委員會ニ任カセル方ガ良カラウト云フ考デ、三浦委員ノ提案ニハ賛成シナイノデアリマス。

○岩田委員 私ハ重要ノ點デアリマスカラ一言附加ヘマス、調停法ノ趣旨ガ適當ナ場所ニ出張シテ調停スルトナツテ居リマス、此趣旨カラ言ツテモ成ルベク調停委員ガ實地争ノアル場所ニ往ツテ小作人ニ面接シ、出來ル限リ利害ヲ説イテ納得セシメ、サウシテ彼是屋ノ運動ヲ斥ケル——職業的代理人ヲ入レシメナイト云フ趣旨デ出來テ居ルノデアリマスカラ、總代ヲ選バセルカドウカト云フコトハ調停委員會ニ許否ノ權限ヲ與ヘテ置キマセヌト、當事者ガ勝手ニ選ブコトガ出來ルトナルト、本法ノ趣旨ガ達シナイト思ヒマス、折角出張シテ本人ニ逢ハウト思ツテモ西伯利亞カラ歸ツテ來タ人ガ出テ來テ本人ニ面接スルコトガ出來ナイヤウニナリマス、併シ事實困ルヤウナ場合ニハ、委員會ニ任カシテ置ケバ委員會ハ事情ヲ見テ總代ヲ許サナイト云フヤウナコトハアルマイト思ヒマスカラ、當事者ガ勝手ニ出スコトノ無イヤウニ矢張原案ノ通りニシテ置キタイト思ヒマス。

○矢口委員 西伯利亞カラ歸ツテ來タ者ト云フ御話モアリマシタガ、當事者ト限定シテアリマスカラ

サウ云フ心配ハナイト思ヒマス。

○岩田委員 當事者ノ中ニモ居ルノデス。

○議長(岡本委員長) 三浦委員ノ修正ニ付イテ決ヲ採リマス、賛成ノ御方ハ舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 少數

○議長(岡本委員長) 少數——原案ニ御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) ソレデハ原案ニ決シマス——第十六條

第十六條 總代ハ其ノ代表スル當事者ノ爲ニ調停ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス總代數人アルトキハ共同シテ前項ノ權限ヲ行フ

○議長(岡本委員長) 御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ガナケレバ原案ノ通り決シマス——第十七條

第十七條 調停委員會ハ調停ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル者ノ參加ヲ求ムル爲之ヲ呼出スコトヲ得前項ニ依リ呼出サレタル者參加ヲ承諾シタルトキハ之ヲ當事者トス

○議長(岡本委員長) 御異議ハアリマセヌカ——御異議ハナイモノト認メテ原案ノ通り決シマス——

第十八條 當事者總代及前條ノ規定ニ依リ呼出テ受ケタル者ハ自身出頭スルコトヲ要ス但シ已ムヲ得サル事由アルトキハ代理人ナシテ出頭セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ調停委員會ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス
調停委員會ハ何時ニテモ前項ノ許可ヲ取消スコトヲ得

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ガナケレバ原案ノ通り決シマス——第十九條

第十九條 調停委員會ハ調停ノ爲必要ト認ムル處分ヲ命スルコトヲ得

○土井委員 「必要ト認ムル處分」ヲ命ズルト云フノハドウ云フコトガアルノデセウカ、其ノ實例ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○石黒幹事 是ハ色々アラウト存ジマスガ、茲ニ爭議ノ起リマシタトキニ兎モ角モ争ノ的ニナツテ居ル所ノ小作米ヲ倉庫ニ受入レテ置クヤウニト命ズルコトモアラウト思ヒマス、又雪ノ季節ニ入ツテ居ル時ニ減收ガ幾許デアアルカト云フコトガ爭議ノ原因ニナツテ鎌モ入レテナイヤウナラバ、兎モ角モ雪ノ降ラナイ中ニ早ク刈取ヲサセルト云フ場合モアリマセウ、其他場合々々ニ應ジテ必要ナ處分ヲスルト云フコトガ出テ來ヤウト思フノデアリマス。

○三浦委員 御尋ネ致シマス、此處分ノ性質及ビ效力ハドウ云フモノト考ヘテ居ラレマスカ。

○石黒幹事 處分ノ法律上ノ性質ニ付テハ、私餘リ的確ニ申上グルコトハ出來マセヌカラ、他ノ委員カラ御助力ヲ願ヒマス、效力ニ付キマシテハ一應命令ヲスルダケデアリマシテ、其命令ニ從ハナケレバ強制スル途ハ無イト思ヒマス。

○池田委員 處分ノ性質ニ付テノ御話ガ出マシタガ、詰リ之ヲ例ヘテ申シマスレバ、訴訟法デアリマス場合ニ假處分ト云フ風ナ手續ガアリマス、訴訟ハ未ダ決著シナイ、或ハ未ダ訴訟ヲ起ス前、之カラ訴訟ヲ起ス必要ガ迫ツテ居ルト云フ場合ニ一應ノ處置ヲ命ズルト云フ事ガ民事訴訟法ニ規定ガアルノデアリマス、其目的ハ色々アリマスケレドモ、訴訟ノ結果ヲ豫メ確保シテ置クト云フ事モアリマセウシ、或ハ又差迫ツタ所ノ損害ヲ生ズル虞レガアル、ソレヲ取敢ヘズ除イテ置クト云フ必要ヲ見ルコトモアリマセウ、此小作調停法案ノ處分ト云フ事モ矢張大體ソレニ似寄ツタモノデアラウカト私ハ思ツテ居リマス、尙ホ細カク申シマスナラバ、調停事件ニ付テ調停ノ促進ヲスル爲ニ差當ツテ今迫ツテ居ル所ノ事態ニ付テ一應ノ處置ヲ付ケル、例ヘテ言ヘバ民事訴訟ニ於ケル假處分ノ如キモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス。

○三浦委員 假處分ノ如キ性質デアリマスルト致シマシテモ、處分命令ニ服從シナイト云フ場合ニハ其強制ノ途ハ無イノデスカ。

○池田委員 效力ニ付テハ差控ヘテ居リマシタガ、只今石黒幹事ノ御述ベニナツタ通りニ、之ニハ強

制力ハ附イテ居ラナイト思フ、其點ハ民事訴訟法ノ假處分ト違ツテ居ル、其違フ理由ハ蓋シ案件自體ガ違ツテ居ル、是ハ元來和解調停ト云フ事ヲ主トシテ居ルノデアリマスカラ、其假ノ處分モ和解調停ノ趣旨ノ範圍内ニ於テ之ヲ行フト云フノデアリマスカラ、先ヅ第一次ノ和解ト云フヤウナモノデアラウト思ヒマス。

○矢口委員 幹事ニ伺ヒマスガ、字ガ少シ足りナイヤウニ思ヒマスガ、「必要ト認ムルト」「調停ノ爲」トノ間ニ何カ文字ガ足ラヌヤウナ心持ガ致シマスガ、或ハ延期トカ何トカ、何等カ文字ハナカッタノデアリマスカ。

○石黒幹事 別ニ之ニ付テハ問題ハナカッタノデス、借家借地法ノ十三條ヲ其儘借用致シテ參ツタヤウナ形ニナツテ居ルノデ、深ク文字ノ詮議ヲ致シマセヌデ、是デ適當デアラウト云フノデ書キマシタヤウナ次第デアリマス。

○議長(岡本委員長) 他ニ御意見ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十條

第二十條 調停委員會ハ當事者又ハ總代ノ陳述ヲ聽キ且必要ト認ムルトキハ證據調ヲ爲スコトヲ得

調停委員會ハ調停主任ヲシテ證據調ヲ爲サシメ又ハ之ヲ裁判所ニ囑託スルコトヲ得

證據調ニ付テハ民事訴訟法ヲ準用ス
證人及鑑定人ノ受クヘキ旅費日當及止宿料ニ付テハ民事訴訟用法ヲ準用ス

○議長(岡本委員長) 別ニ御意見ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十一條

第二十一條 費用ヲ要スル行爲ニ付テハ當事者ノ一方又ハ双方ヲシテ其ノ費用ヲ豫納セシムルコトヲ得

○議長(岡本委員長) 御意見ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十二條

第二十二條 調停委員會ノ決議ハ調停委員ノ過半数ノ意見ニ依ル可否同數ナルトキハ調停主任ノ決スル所ニ依ル

○議長(岡本委員長) 御異議ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十三條

第二十三條 調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス評議ノ顛末竝調停主任及調停委員ノ意見及多少ノ數ニ付テハ嚴密ニ秘ヲ守ルコトトス

○三浦委員 御尋ネ致シマスガ、此罰金ニ處セラレタル後ト雖モ矢張調停委員タルコトヲ認ムル方ガ宜シイト云フ御積リデ御書キニナツタノデアリマスガ、調停委員ノ指定ヲ取消ス必要ハ無イト云フ御積リデアリマスガ。

○石黒幹事 取消ス必要ガ無イト云フ風ニ認メテ居ルノデハゴザイマセス、事實調停委員會ガ續イテ居リマスルヤウナ際ニハ、調停主任ハ之ニ更ヘルニ他ノ委員ヲ以テスルデアラウト云フ事實問題ニ委シテ差支ナイト思ツテ特ニ明文ヲ設ケナカッタノデアリマス。

○松本委員 ツマラヌ事デゴザイマスガ、念ノ爲ニ一寸幹事ニ承ツテ置キタイト思ヒマス、第二十三條ニハ「調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス」トアリマスル以上ハ、其下ノ「評議ノ顛末竝調停主任及調停委員ノ意見及多少ノ數ニ付テハ嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要ス」ト云フノハ要ラナイ文句デアリマセウガ、ソレヲ前提スル所以ノモノハ、後段ニ「嚴ニ」ト云フ文字ガアリマスカラ、再ビ繰返シテ之ヲ書クコトガ必要デアルト云フ御意見デアリマスガ、果シテサウナラバ、「調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス」ト云フノハ良イ加減ノ秘密デ、評議ノ顛末ハ嚴重ニ秘密ヲ守ラナケレバナラヌト云フ意味デアリマスガ、眞逆サウデハナカラウト思ヒマスガ、ソレカラ第二十三條ノ重複デアルト見ユルコトニ付テ私ノ特ニ御尋ネシタイ事ハ、第十三條トノ關係デアル、十三條ニハ「調停手續ハ之ヲ公開セズ、但シ

調停主任ガ相當ト認ムル者ニ限り傍聽ヲ許スコトヲ得」ト斯ウナツテ居リマス、既ニ此十三條ニ依ツテ秘密ノコトハ規定サレテ居ルノデナカラウカ、若シ十三條デ秘密ガ出來テ居ラヌケレバ二十三條ニ秘密ヲ嚴守スルトアリマスカラ、二十三條ガアルカラ十三條ハ無クテモ宜シイ、更ニ詮ジ詰メレバ二十三條ノ一項ガアレバ、詰リ最初ノ句ガアレバ後段ハ無クテモ良イノデハナイカ、進ンデ十三條ハ無クテモ良イノデハナイカ、然ルニ十三條、二十三條ノ前段ト後段、此三ツニ書カレテ居ルノハドウ云フ意味デアリマスガ。

○石黒幹事 調停委員會ノ手續ニ對シテ公開シナイトカ秘密ヲ守ルト云フ事ガ三段備ヘニナツテ居ルト云フ事ニ付テノ御質問デアリマスガ、是ハ初メノ公開ヲシナイト云フノハ一般ノ傍聽人ヲ禁ジタコトデアリマス、其次ニモ書イテアリマスヤウニ、相當ナ者ニハ傍聽ヲ許スコトガ出來ル、許サレタル者ノ傍聽ハ出來ルノデアリマス、一般ニハ公開ヲシナイト云フダケノ程度ニ止マツテ居ルノデアリマス、ソレカラ第二十三條ノ「調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス」トアリマスノハ、公開ヲ致シテナイ調停委員會ノ手續ノ中デモ、委員ガ集マリマシテ評議ヲ致ス際ニハ是ハ絶對ノ秘密ニ致シマシテ、特ニ傍聽ヲ許サレタル者ト雖モソレハ聽クコトハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ「嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要ス」ト云フ所ニ「嚴ニ」ト云フ文字ガアルノデ、是ガ又何カ程度ノ違ツタ秘密デアルヤウニ響クノデアリマスガ、ソレハ「嚴ニ」ト云フ文字ガ、或ハ少シ響キ方ガ強過ギタカ知レマ

セヌガ、前ノ秘密ガ或ル程度ノモノデアリ、後ノ秘密ガ特ニ一段進ンダ秘密ヲ守ル必要ガアルト云フ意味デハゴザイマセヌ、是ハ全ク同一デゴザイマス、借地借家調停法ノ方デモ調停ノ手續ハ公開致シマセヌノデ、尙ホ相當ナ者ニハ傍聽ヲ許スコトニナツテ居リマス、評議ハ併ナガラ矢張同ジコトニ秘密ニナツテ居リマス、ソレ丈ガ借地借家ノ調停法ノ規定デアリマシテ、小作調停法ノ第二十三條ノ規定ノヤウニ評議ノ顛末竝調停主任及調停委員ノ意見及多少ノ數ニ付テハ嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要スルソレニ對シテ秘密ヲ漏シタル者ニハ罰金ヲ科スルト云フコトハ、借家借地ノ調停法ニハ何モ書イテゴザイマセヌ、此點ガ違ヒマス、此點ハ當初ニ借家借地調停法ニ大體趣旨ヲ同ジウシテ拵ヘルヤウニト云フ御話デアツタガ、農業爭議ノ實際ノ性質ニ鑑ミマシテ、所々ニ於テ適應スルヤウナモノヲ新タニ設ケ、若クハ變更ヲ加ヘタト云フコトノ一ツトシテ申上ゲタ積リデ居リマス、調停委員ニナリマシタ所ノ人々ガ、其調停委員トシテ秘密ニ行ツタ所ノ評議ノ顛末賛否ノ數ナド誰ガドウシタト云フヤウナコトヲ、評議ノ間ダケヲ秘密トスルノミナラズ、其後ニ於テモ秘密ニ保ツテ置ク必要ガアルノデアリマス、サウ致シマセヌト都會ノ中ノ借家借地ノ問題ノヤウニ簡單ニハ行カナイ、田舎ノコトデアリマスカラ、多數ノ小作人カラシテ襲ハレルト云フヤウナ危険モ、爭議ノヤカマシイ處ニ於テハナイトモ限ラヌ、又同ジヤウナ地主ノ階級、若クハ同ジヤウナ小作ノ階級、同階級ノ者同志カラモ、怨マレルヤウナコトモナイトモ限ラヌ、警察力ノ比較的薄弱ナル田舎ニ於テハ其結果ハ隨分恐シイコトニ思ハ

レテ居ル、サウ云フ實情ガアルト、調停委員會ノ評議ノ際ニ委員ガ極ク自由ナル何等ノ力ニモ影響セラレヌ意見ヲ述ベルニハ、サウ云フコトヲサウ心配セズトモ宜イト云フコトノ保障ヲ與ヘナケレバ出來ヌデアリマス、ソレデ特ニ之ヲ規定スル必要ガアラウト云フノデ、此「嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要ス」ト云フ規定ト其違反ニ對スル罰則トヲ設ケタヤウナ次第デアリマス、規定ノ際參照ヲ致シマシタノハ、陪審法案ノ陪審員ノ評議ノ顛末又ハ各員ノ意見若クハ其ノ多少ノ數ヲ漏セバ罰金ニ處スルト云フヤウナ規定ガアルコトト、及刑法ニ於テ醫師產婆辯護人公證人ト云フヤウナ者、又此職ニ在ツタ者ガ職務上取扱ツタ事ニ付テ知り得タル秘密ヲ漏洩シテハイカスト云フコトノ規定ヲ致シテ居ル條項、竝ニ裁判所構成法ニ於テ判事ノ評決ニ付テハ各判事ガ嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要スルト云フヤウナ規定ガアリマスルノト、獨逸ノ借家仲裁局ノ手續ニ關シマシテ仲裁委員ハ職務上ノ秘密ヲ守ルノ義務ガ特ニ規定セラレテアルノヲ參照致シテ書イタ次第デアリマス、サウ云フモノヲ參照シテ居ル中ニ裁判所構成法ノ判事ノ秘密嚴守ノ規定「其評議ノ顛末竝ニ各判事ノ意見及多少ノ數ニ付テハ嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要ス」トアル、其處ニ「嚴ニ」トアルノヲ其儘此處ニ借用致シタノデ、特ニ此方ノ方ガ前ノ秘密ヨリモ強イト云フ意味デハゴザイマセヌ。

○松本委員 些細ナコトデ重ネテ質問スルノモ恐縮デアリマスガ、今一遍念ノ爲質問致シテ置キタイト思ヒマス、只今御説明中ニ此委員會ノ評議ノ秘密ヲ守ツテ置クコトハ調停ノ結果ニ鑑ミルト大ニ必

要ダト云フコトヲ諄々トシテ御述ベニナリマシタ、ソレハ私モ同感デアリマス、私ハ寧ロ是ハ重複ノ規定デハナイカト云フコトヲ主トシテ御尋致シタノデアリマス、ソレニ對シテ裁判所構成法トカ借地借家法トカ乃至陪審法トカ、獨逸ノ借地借家法トカ各種ノ法令ヲ御參考ニナツタコトヲ御説明ニナリマシタ、私ハ夫等ノ法令ヲ存ジマセヌカラ彼之批評致ス譯ニハ行キマセヌケレドモ、只今御參照ニナツタト云フ法令中ニモ此秘密ヲ守ルベシト云フ規定ヲ斯ウ二通りニ規定シテアルノデセウカ、其一方ダケヲ規定シテ、例ヘバ調停委員會ノ評議ハ秘密ニスト云フヤウニ概括的ニ規定シテ、之ヲ同ジ種類同ジ目的ノコトヲ繰返シテ矢張又規定シテ居ルヤウナ例ガアリマスカ、ソコヲ一ツ承ツテ置キタイト思フノデス、私ガサウ云フ質問ヲ致スノハ此上ノ句カ下ノ句カドツチカアレバ澤山デアツテ、上ノ句ノ方ハ寧ロ強ク掛ツテ居リマスカラ、下ノ句ハ除イテモ宜イ、除カヌデ置クト却テ此間ニ疑ヲ生ズルヤウナ虞ガアリマスカラシテ、私ハ上ノ句カ下ノ句——寧ロ上ノ句ダケデ宜シイト思ヒマス、其處ヲ念ノ爲メ御尋シテ置キタイノデアリマス、今一ツ御尋シテ置キタイト思ヒマスコトハ調停手續ト調停委員會ノ評議ト云フモノノ範圍ハドチラガ廣イノデアルカ、調停手續中ノ一部分ガ即チ調停委員會ノ評議デハアルマイカト斯ウ思フノデス、サウ致シマスルト果シテ其處ハドウデアルカト云フコトヲ御尋シマシテ、若シ自分ノ想像スルガ如ク調停委員會ノ評議ナルモノガ調停手續ノ一部分デアツタトシタナラバ、縦令二十三條ノ上ノ句ヲ存續スルトシマシテモ、此規定ハ兩方纏メテ一ツニシテシマツタ

方ガ疑ガ起ラヌデハナイカ、二十三條ト十三條トノ規定ノ間ニ秘密トアル以上ハ公開モ許サレヌ、傍聽モ禁ジナケレバナラヌコトニナリマスシ、又傍聽ヲ許シテ置ク中ニモ亦秘密ト云フコトニモナルノデアリマスカラ十三條ト二十三條トノ調和ハ或ハムヅカシイ事ガ起リハセヌカ、其結果トシテ此調停手續ノ範圍、調停委員會ノ評議ノ範圍ヲ一ツ承ツテ置キタイ。

○石黒幹事 只今ノ御尋ノ初メノ方ハ、評議ヲ秘密トスルト云フコトノ規定ト、嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要スルト云フコトノ規定トガ、重複シテ書イテアル例ガ他ニアルカト云フ御尋ノヤウニ承リマシタ、是ハ同時ニ兩方ヲ書イテ居ル例ハゴザイマセヌ、併シ兩方ニ書イタ方ガ分リ易カラウト云フノデ書イタノデアリマス、ソレガ偶々却テ混雜ヲ生ズルト云フ御解釋ニナツテキテハ致シ方アリマセンガ、可嚙、デ能ク分リハシマセヌカ。

ソレカラ評議ノ範圍ト手續ノ範圍トノ廣サハドチラガ廣イノデアルカガ、第二ノ御尋ネデアリマシタ、ソレハ調停手續ノ方ガ廣ク、其中ニ調停委員ガ評議ヲ致スト云フ場合ガアリマス、即チ評議ハ調停手續ノ中ノ特別ノモノヲ云フノデコノ方ガ狭ウゴザイマス、場所ヲ二十三條ノヤウナ所ニ組込ンデ規定シタコトガ却テ御了解ニ妨ガアリハセヌカト云フヤウナ御意見デゴザイマスガ、其點ニ就テハ別ニ深い研究ヲ遂ゲラレタノデハナイノデゴザイマス、度々引合ニ出シテ如何デスガ、主トシテ參照致シマシタ借地借家調停法ガ矢張同ジ位ノ所ニ組込ンデ規定シテアリマスノガ別段強テソレニ倣ツタ譯

デハアリマセヌガ、自然斯ナ規定ニナツタノデアリマス。

○三宅委員 一寸今ノ石黒幹事ノ御説明ト私ノ意見トハ少シ違フカ知レマセヌガ、私トシテノ意見ヲ申上ゲタイト思ヒマス、實ハ第二十三條ノ松本委員カラノ御質問ノ「調停委員會ノ評議ハ之ヲ秘密トス」ト云フノハ元ト借地借家調停法ヲ決メマストキニハ矢張範ヲ取リマシタノハ裁判所構成法百二十一條デアリマシテ、是ニハ評議ハ之ヲ公行セス、サウシテ評議ノ顛末云々ト云フノガ續イテ居ル「評議ハ之ヲ秘密トス」ト云フ前ノ「秘密」ト云フノハ後段ノ「秘密ヲ守ル」秘密トスルト云フノデハゴザイマセヌ、是ハ公行シナイ、皆ノ前デヤラナイ密行スルト云フ、例ヘバ豫審ヲ密行スルト云フ意味デ、大勢ノ前デヤラナイ、委員會ノ「メンバー」ダケガヤルノダト云フコトノ意味デ秘密トスト云フノデアリマス、其ノ趣旨ハ公行セズト云フ意味ト同ジ趣旨ト、借地借家調停法ニハサウ考ヘテ居ル譯デアリマス、所ガ今度ノ小作調停法ニナリマス、後デ秘密ヲ漏シタトキハ云々ト云フコトガアリマスシ、單ニ公行シナイト云フダケデハ甚ダ調停委員ガ後デ、其秘密ヲ漏ス虞ガアルト云フノデ、尙ホ其秘密ハ嚴守シロト云フ規定ヲ附加ヘテ書イタラ宜シイト云フノデ、秘密嚴守ノ規定ヲ設ケタノデアリマス即チ前段ノ「秘密トス」ト云フノハ後段ト同一ノコトヲ書イタラハナイト私ハ考ヘテ居リマス、尙ホ此調停手續ト申シマスモノハ勿論、今石黒幹事ノ云ハレマシタヤウニ非常ニ廣イ意味デアリマシテ、始メカラ仕舞マデ調停手續デアリマスガ、此十三條ニ書キマシタ調停手續ハ丁度公判手續ト云フヤウ

ナモノデアリマシテ、調停委員會ガ當事者ノ陳述ヲ聽イテ調停スル恰モ裁判所ノ公判ノ手續ト同様ナ趣旨ニ出來タ調停手續ト申シタ言葉ガ甚ダ足ラスカモ知レマセスケレドモ、少クモ借地借家法ハ其趣旨ニ出來テ居ル、實ハ調停ト云フコトガ色々ニナリマシテ分リニクイカト思ヒマスガ、例ヘバマダ御審議ニハナリマセヌガ、二十九條ノ調停委員會ノ調停ニ付テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要スト云フコトモ、矢張公開シタ所ノ其手續ノ調書ヲ作ルト云フコトニ解スルコトト存ジマス、此點ニ付テハ私ハ確實ニハ申上ゲラレマセスケレドモ、詰リ調停ト云フコトハ色々ノ言葉ニナリマスデスカラドウモ其時々々ニ廣ク解釋スベキモノデハナカラウカト存ジマス。

○松本委員 唯今幹事ヨリ承リマシタ、是ニ依リマシテ私ハ第十三條ト二十三條トハ重複ノ規定ガアルヤウニ思ヒマスケレドモ、是ハ別々ニアツテモ良イカト思ヒマス、全然良イトハ思ヒマセスケレドモ強ヒテ主張致シマセヌ、併ナガラ二十三條ノ後段丈ケハ削除スル方ガ良カラウト思ヒマス、之ヲ存置シテ置キマスルト自カラ程度ノ問題ガ起ツテ來マス、法文トシテモ重複ノ規定ト思ヒマス、第二項ノ規定ハ、其秘密ト云フノハ二十三條前段ノ秘密ヲ承ケテ居ルト思ヒマスカラ、後段ノ削除ヲ主張致シマス。

○矢口委員 私ハ幹事ニ伺ヒマス、此委員會ト委員會ノ評議トノ分界ハドノ邊迄ガ委員會デ、ドノ邊迄ガ評議デアリマスカ、實例ニ當テテ伺ヒマス。

○石黒幹事 實例ニ當テテ申シマスルト、委員會ノ調停手續ヲ開イテ居リマシテ、調停ノ潮合ガ良クナツタトキニ、ドウ云フ調停ノ意見ヲ纏メテ案ヲ出シテ双方ヲ參考ニスルカト云フ場合ニ、調停主任

ガ調停委員ニ向ツテ此處ヲ退席シテ別室デ評議ヲ致シマスト言ツテ別室ニ往ケバ、ソレカラ評議トナルノデアリマス。

○議長(岡本委員長) 松本委員ノ第二十三條ノ評議ノ顛末以下ヲ削除スルト云フ説ニ御賛成ガアリマスカ。

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 松本委員ノ削除説ニ御賛成ノ方ノ舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 少數

○議長(岡本委員長) 少數——原案ニ御異議ハアリマセスカ。

(「異議」ナシト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイト認メマス——第二十四條ニ移リマス。

第二十四條 當事者ノ請求アリタルトキ又ハ必要アリト認ムルトキハ調停委員會ハ郡長、市町村長、小作監督官其ノ他適當ト認ムル者ニ對シ意見ヲ求ムルコトヲ得

○石黒幹事 昨日田子委員カラ小作監督官ノ職務トカ配置、待遇、府縣名、官制等ニ付イテ知りタイト云フ御希望ガアリマシテ、其折リニ大體特別委員會ノ御希望ノアツタ結果、豫算ニ關シテ不取敢農省務省デ考ヘテ置キマシタ所ノ配置及員數、待遇、職務等ヲ申上ゲ、職務ニ付ハ刷ツテ差上ゲテ置キマシタ、官制ニ付テハドウデアアルカト云フト矢張特別官ヲ置ク必要ガアラウト云フコトヲ申上ゲマシテ、併シ其處迄練ツタ譯デアリマセスト云フコトヲ申シテ置キマシタ、ソレデ御需メガアリマシタ

カラ唯今職務權限ノヤウナモノノ書イタノヲ印刷シテ御配リ致シマシタ、左様御承知ヲ願ヒマス。

(配付セシ印刷物左ノ如シ)

小作監督官ノ職務權限

甲 農商務省ニ設置スルモノ

- 一 地方廳ニ設置スル監督官ノ事務ハ頗ル廣汎多岐ニ亘ルヲ以テ之カ統一ナ期シ事務ノ成績ヲ舉クル爲本省ニ於テ之カ指導監督ヲ爲スコト
- 二 小作調停法實施ノ狀況及之カ成績ヲ調査シ法令圓滿ナル施行ナ期スルコト
- 三 小作調停法ノ結果及調停例ヲ精査シ將來ニ於ケル小作關係法規ノ制定改善ニ資スルコト
- 四 小作爭議狀況ノ調査及調停方法ノ研究ヲ爲スコト
- 五 調停ニ必要ナル鑑定評價及調査ノ方法ニ關スル研究ヲ爲スコト
- 六 小作爭議其ノ他小作監督事務ニ關スル年報ヲ編纂スルコト

乙 地方廳ニ設置スルモノ

- 一 常ニ地主及小作人ニ接觸シテ其ノ自覺ヲ促シ爭議ノ發生ヲ未然ニ防止スルコト
- 二 爭議發生セルトキハ郡長市町村長ト連絡ヲ執リ成ルヘク大事ニ至ラサルニ先チ簡易ニ圓滿ナル解決ヲ爲サシムル様適當ナル手段ヲ講スルコト
- 三 小作調停法ニヨリ裁判所ニ調停ノ申立アリタル事件ニ付テハ小作調停法ノ規定ニ從ヒ之ニ關スル事務ヲ執ルコト
- 四 小作調停法ノ施行上ニ必要ナル調停委員ノ候補者ヲ調査シ置クコト
- 五 小作爭議ノ調停其ノ他小作問題ノ解決上ニ必要ナル地方的小作事情ヲ常ニ調査シ置クコト
- 六 小作爭議ノ調停ニ關シ減免、賠償等ノ鑑定又ハ評價ヲ爲スコト
- 七 管内ニ於ケル小作爭議ノ狀況ヲ調査スルコト
- 八 小作調停法實施ノ狀況及成績ヲ調査シ調停ノ圓滿ナル實行ナ期スルコト

○塚本委員 言葉ノコトデアリマスルシ殊ニ官制ニ關スル事デアリマスカラ強ヒテ此會ガ審議スルコトガ適當デアルトハ思ヒマセスケレドモ、併シ先日來他ノ委員カラモ御意見ヲ漏サレテ居リマシタガ小作監督官ト云フ名ハ如何ニモ妥當デナイト考ヘマス、工場監督官ニ範ヲ採ラレタノデアラウト思ヒマスケレドモ、工場ニ對シテハ工場法ニ依ツテ監督ヲ行フノデアルカラ工場監督官ノ名ハ當ツテ居リマスガ、小作ヲ監督スルト云フコトハ爭議ノ起ツタトキハ監督ト言ツテモ良カラウト思ヒマスガ、平生ニ於テ監督スルト云フコトハナイト思ヒマスカラ私ハ此言葉ヲ避ケタイト思ヒマス、此法文ニ載ツテ居ル故ヲ以テ委員會デ修正シテ良イト云フコトデアラナラバ、小作理事官トカ小作事務官トカ云フ穩カナ名ニ改メラルルコトヲ希望致シマス。

○岩田委員 私モ修正デアリマセヌガ、唯今ソレニ類似シタコトヲ申上ゲタイト思ヒマス、字句ハ幹事ガ整理ナサルト云フコトデアリマスカラ趣意丈ケ申シマス、調停委員會ハ郡長市町村長トアリマスガ、矢張關係ト云フ字ヲ入レタガ良イト思ヒマス、又前ノハ市町村長ガ上ニナツテ居リマスカラ、ソコラモ一緒ニシタラ良カラウト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 塚本委員ヨリ小作監督官ヲ小作理事官カ小作事務官ニ改メルト云フ修正ガアリマス……

○山田委員 採決前ニ塚本委員ニ伺ヒマス、小作理事官デモ小作事務官デモ良イガ、小作監督官ト云フトエラサウデアアルカラ適當ナ名前ニ變ヘルト云フノデスカ、或ハ小作理事官ト限定サレタノデスカ

○塚本委員 此委員會ハ法文ヲ作ルニハ餘リニ重要ナ任務ヲ他ニ持ツテ居ルノデ、法文ノコトハ農商務省カ法制局デ練ラレルコトト思ヒマス、況ンヤ官制デアリマスカラ遠慮致シマシテ唯監督官ト云フ名前ノ妥當デナイト云フコト丈ケヲ此委員會デ決定シテ置ケバ良イト思ヒマス。

○山田委員 塚本委員ノアトノ御説ノ廣イ意味ナラバ私モ賛成シタイノデス。

○塚本委員 趣旨ハ山田委員ト同ジデスガ、名前ガナイト議事ガ進ミマセヌカラ先ヅ此處ハ理事官トシテ置キマシテ、外ニ良イ名前ガアレバ變ヘルト云フコトニシテ戴キマセウ。

○山田委員 私ハ塚本委員ノ御説ノ小作監督官ハ穩當ヲ缺クカラ、小作理事官ト限定シタノデハナイガ、其ノ以上ニモツト良イ名ガアルナラバ變ヘテモ良イト云フ御意見デアラナラバ、其ノ説ニ賛成致シマス。

○議長(岡本委員長) サウスルト塚本委員ハ、小作監督官ト云フ名前ハ變ヘタイ、併シ之ニ替ハル名前ハ小作理事官デモ事務官デモ良イガ、假ニ理事官トシテ置ク、ケレドモ他ニ良イ名前ガアレバ變ヘテモ差支ナイト云フ御意見デアリマスカ。

○塚本委員 私ハ文字ヲ議スルト議事ノ進行ニ妨ゲガアルト思ヒマスカラ議論ハ致シマセヌ、又何レ専門家ガ熱心ニ研究セラルルコトデアリマセウカラ吾々ハ氣遣フ必要モナイノデスガ、併シ小作監督官ト云フ名ハドウモ妥當デナイト思ヒマスノデ、小作理事官トシテハドウカト思フノデアリマス、勿

論是ヨリ良イ名ガアレバ變ヘテ差支ナイノデアリマシテ、決シテ理事官以外ニ變ヘテハイケナイト云
フノデハアリマセヌカラ、サウ云フ希望ヲ述ベテ御賛成ヲ求メ次第デアリマス。

○議長(岡本委員長) ソレデハ塚本委員ノ御趣旨デ小作監督官ヲ理事官ニ改メルコトニ御賛成ノ方ハ
舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 多數

○議長(岡本委員長) 多數、ソレカラ岩田委員カラ郡長市町村ノ上ニ關係ト云フ字ヲ入レルコト……

○岩田委員 ソレハ別ニ決ヲ採ツテ戴ク必要ハアリマセヌ、幹事ノ方デ御注意下サレバ宜シイノデス

○議長(岡本委員長) 第二十四條ハ別ニ御異存ハアリマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイト認メマス——第二十五條

第二十五條 小作監督官ハ調停ノ期日ニ出席シ又ハ意見ヲ陳フルコトヲ得

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ガナケレバ原案ニ決シマス——第二十六條

第二十六條 小作監督官ハ調停ノ爲必要アルトキハ書類ノ提出ヲ命シ又ハ小作地ニ臨檢スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ證票ヲ携
帶スベシ

○矢口委員 「證票ヲ携帯スヘシ」ト云フノハ名刺カ何か持ツテ往クノデスカ。

○石黒幹事 小作理事官ガ斯ウ云フ事ヲスル際ニハ、特定ノ證票ヲ拵ヘテ常ニ携帯スルノデアリマス

○議長(岡本委員長) 別ニ御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十七條

第二十七條 正當ノ理由ナクシテ小作監督官ノ職務執行ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケタル者又ハ訊問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛偽ノ陳述ヲ爲
シタル者ハ三百圓以上ノ罰金又ハ科料ニ處ス

○議長(岡本委員長) 別ニ御意見ハゴザイマセヌデスカ。

○矢口委員 幹事ニ伺ヒマスガ、「訊問ニ對シ」ト云フ此「訊問」ト云フ字ハ少シ苛酷ニ互ルヤウナ者ヲ
シマスガ……

○石黒幹事 是ハ別ニ深い研究ヲシタノデゴザイマセヌガ、法文ノ從來ノ慣用ノ例ガ斯ウナツテ居リ
マスノデ、工場監督官其他色々アリマスガ、皆斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、ソレヲ踏襲シタノデア
リマス。

○議長(岡本委員長) 別ニ御意見ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十八條

第二十八條 申立其ノ他ノ申述ハ書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

口頭ヲ以テ前項ノ申述ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

○議長(岡本委員長) 御意見ハゴザイマセヌデスカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十九條

第二十九條 調停委員會ノ調停ニ付テハ裁判所書記其ノ調書ヲ作ルコトヲ要ス

○議長(岡本委員長) 御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ハナイモノト認メマス——第二十條

第二十條 期日ニ於テ調停成リタルトキハ裁判所ハ其ノ調書ノ正本ヲ當事者ニ送付スルコトヲ要ス

期日ニ於テ調停成ラサルトキハ調停委員會ハ適當ト認ムル調停條項ヲ定メ其ノ調書ノ正本ヲ當事者若シ總代アルトキハ總代ニ送付スルコトヲ要ス

當事者又ハ總代カ前項ノ正本ヲ受ケタル後一月内ニ調停委員會ニ異議ヲ述ヘサルトキハ調停ニ同意シタルモノト看做ス
調停委員會ハ申立ニ因リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

當事者又ハ總代カ異議ヲ述ヘタルトキハ調停委員會ハ其ノ旨ヲ相手方ニ通知スルコトヲ要ス

第三項ニ依リ總代カ調停ニ同意シタルモノト看做サレタル場合ニ於テハ裁判所ハ調書ノ正本ヲ當事者ニ送付スルコトヲ要ス

○松本委員 之モ一寸シタ事デアリマスガ、幹事ニ伺ヒマス、第二十條ニ於テ「期日ニ於テ」トアリマスガ、此「期日ニ於テ」ト云フノハ何ヲ承ケテ此處ニ「期日ニ於テ」ト書イタノデアリマスカ、一寸伺ツテ置キタイト思ヒマス。

○石黒幹事 是ハ第十四條デアツタト思ヒマスガ、調停委員會ガ期日ヲ定メテ當事者又ハ總代ヲ呼出スコトヲ要スト云フコトガアリマス、「期日」ト申シマスルノハ多少裁判上ノ術語見タヤウニナツテ居リマシテ、何ダカ素人分リノ仕惡イ文字デアリマス、之ニ付テハ特別委員會デモ何トカモウ少シ分リ易イヤウニシタイモノデアアル、三十條ノ一項ニモ二項ニモ「期日ニ於テ」ト云フノガアツテドウモ分リ惡イト云フコトデゴザイマシタガ、ドウモ他ニ良イ文字ガゴザイマセヌノデ、矢張「期日」ト云フ文字ニナツタノデアリマス、ソレハ第十四條ノ期日ヲ定メテ當事者ヲ呼出シテ、サウシテ調停手續ヲ開キマシテ、當事者ガ膝組デ話ヲスルト云フ調停ヲ進メテ行クコトヲ期日ト申シタノデアリマス、即チ調停委員會ノ前デ當事者双方ガ出席ヲ致シマシテ、調停ニ付テ談合ヲスルト云フコトガ期日デアリマシテ、一昨日來申シマスヤウニ、連モ一日デ總テノ爭議ノ調停ガ成ルモノデハナイノデアリマスカラ、引續イテ開クコトモアリマセウシ、相當ノ日ヲ置イテ開クコトモアリマセウシ、更ニイツ何日ノ何時

ニ集マツテ話合ヲスルト云フヤウナ場合モ多クアラウト思ヒマス、サウ云フノガ總テ期日デアリマス十四條ニ依ツテ第一回ニ呼出サレタ一日ダケヲ云フノデアリマセヌ、兎ニ角日ヲ定メテ當事者双方ノ出頭ヲ命ジテ調停委員會ノ前デ調停ノ話合ヲサセルノガ期日デアリマス、ソレヲ再々ヤツテ見テ愈愈ドウシテモ調停ガ出來ナイト云フコトニナルカ、或ハ幸ニシテ話合ガ附イテシマウト云フコトニナルカ、若シ附イテシマツタナラバ話合ガ出來タノデアルカラ、ソコデ調停ガ纏マツテ其上デ裁判所ハ其調停ノ正本ヲ當事者ニ送附スルト云フ規定デアリマス。

○松本委員 再々ノコトデ相濟ミマセヌガ、尙ホ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマス、第三十條ノ「期日ニ於テ」ト云フ文句ハ主ニ十四條ヲ承ケテ居ルノダラウト私ハ想像致シテ居リマシタ、而シテ此十四條ノ期日ト云フモノハ必ズシモ一日ヂヤナカラウト斯ウ思ツテ居リマシタガ、只今ノ御説明モ右ノ通りデアル、必ズ一日ニ此調停ガ決スルモノデナカラウト思フ、只今幹事ノ御説明ノ通り、顔合セヲシテ其時ハ一ト通りノ話ヲシテ、尙ホ當事者双方ガ熟考シテ又顔合セヲシャウト云フヤウナコトデ、二回モ三回モ集マルコトガアラウト思ヒマス、サウシテ見レバ第十四條ノ方デモ期日ヲ定メルト云フ事ガ意味ガアラウト思フ、例ヘバ九月二十一日ニ出テ來イト云ツテ、九月二十一日ニ出テ來テ纏マラナケレバ一日置イテ二十三日ニ出テ來イト云フコトニナル、ソレデ話合ガ纏マラナケレバ二十五日ニ出テ來イト云フヤウナ工合デアレバ期日ヲ指定スル意味ヲ持ツテ居ルカラ、期日ヲ定メルト云フ事ハ

意味ヲナスト思フ、三十條ハ其中ノドレデ調停ガ成立ツカ分ラナイ、是ハ或ル日ニ於テト云フコトニナルト思フケレドモ、然ルニ期日ト云フ文字デ表シマスルト、ドウモ何月何日トカ初メカラ豫定シテ居ル日ヲ指スノデアルカラ、ドウモ三十條ニ此期日ト云フ文字ヲ使ツタノハ想像ガ出來ナイ、吾々ノ常識カラ判斷シマスルト期日ノ意味ガ三十條ニハ無イノデハナイカト思ヒマス、私ハ是レ以上申シマセヌガ、寧ロ「期日ニ於テ」ト云フ字ハ一項カラモ二項カラモ削ツテ置イテ良イノデハナイカ、ソレデモ「調停成リタルトキハ」トアレバイツデモ良イ、特ニ「期日ニ於テ」ト云フ文字ガ無クテモ、調停成リタルトキハ斯ウ「セヨ、成ラザルトキハ斯ウ」セヨト規定シテ置ケバ、他ニ調停ガ出來タモノト看做サレタ場合ハ後ニアルカラ、要スルニ期日ニ於テト云フ字ヲ無クシテ置イテ差支ナイノミナラズ期日ニ於テト云フヤウナ豫定シタル日ヲ指スト疑ハナカラウト思フノデアリマス、一寸意見ヲ申上ゲテ置キマス。

○議長(岡本委員長) 松本委員ノ一項二項カラ「期日ニ於テ」ト云フ文字ヲ削除スルト云フ事ニ御賛成ガゴザイマスカ。

○三浦委員 松本委員ノ御説ニ賛成デアリマスガ、此一項ハ無論取リマシテ宜イト思ヒマスガ、第二項ノヲ取リマスルト、少シ窮屈ニナルヤウニ思ヒマスカラシテ、第二項ノ「期日ニ於テ」ヲ取リマシテ「調停成立ノ見込ナシト認メタルトキハ調停委員會ハ云々」ト云フ風ニ直サルレバ、其ノ趣旨ニハ賛成

致シマス。

○議長(岡本委員長) 第一項ノ削除ハ宜シイガ、第二項ニ付テハ多少文字ヲ變ヘテ其趣旨ニ賛成シタ
イト云フノデスカ。

○三浦委員 ハイ。

○議長(岡本委員長) 大體松本委員ノ御意見ニ三浦委員モ賛成ニナツテ居リマス、文字ハ幹事ノ方ニ
於テ整理スルコトニ致シマシテ、第一項第二項ノ「期日」ニ於テ「ト」云フ文字ヲ削除スルト云フ説ニ御贊
成ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス。

舉手者 少數

○議長(岡本委員長) 少數、他ニ御意見ハアリマセヌカ。

○河田委員 私ハ昨日カラ申上ゲマス趣旨ニ依リマシテ、此制度ヲイマ少シク有效ナルモノトシタイ
ト思ツテ居リマスガ、議論ノ當然ノ道筋カラシマスルト、本條ニ若シ調停ガ氣ニ入ラナイ時ニハ調停
委員ノ適當ト認メル條件ヲ定メテ之ヲ強制スルコトニナルヤウナ風ノ意味ノ修正ヲ申出デナケレバナ
ラヌノデアリマス、所ガ昨日岩田委員カラ、ソレハ現今ノ日本ノ法制デハ到底許サレナイト云フ御説
ガアリマシテ、ソレヲ承リマスレバ矢張りサウラシク思フノデアリマス、私ニハ本當ニ能クハ吞込メ
マセヌケレドモ、併シ専門家ノ御説デアリマスカラ、之ニ從フ外ハナイノデアリマス、隨ツテ私ハ修
正意見ヲ出スコトハ止メマスガ、唯我國ノ現今ノ法制ガサウ云フ事ヲ許サナイト云フコトハ、私委員
ノ一人トシテ大變遺憾ニ思フト云フ事ト、又日本國民トシテ不幸ナコトト思フト云フ事ダケヲ一言申
上ゲテ置キタイト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 他ニ御意見ハゴザイマセヌカ、原案デ宜シウゴザイマスカ——御異議無イモノ
ト認メマス——第二十一條

第三十一條 調停ノ條項中ニ費用ノ負擔ニ關スル定ヲ爲ササルトキハ各當事者ハ其ノ支出シタル費用ヲ自ラ負擔ス

○議長(岡本委員長) 御異議ハゴザイマセヌデスカ——御異議ガ無ケレバ第三十二條

第三十二條 調停委員會第六條第一項ニ規定スル事由アリト認ムルトキハ調停ヲ爲ササルコトヲ得

○三浦委員 此第三十二條ノ調停ヲ爲サナイコトニ委員會デ決定シマシタトキニ、ソレヲ本人及關係市
村町郡長等ニ通知ヲスルト云フ、六條ト同條ナ條文ヲ置ク必要ハナイノデアリマスカ。

○石黒幹事 其點ハ特別委員會デモ一應問題ニナツタノデゴザイマス、ケレドモ事實爲サナイコトニ
ナツタナラバ、ソレハ事實ソレト通知ヲ爲スコトデ此儘ニテ差支ナイデハナイカ、細カイ規定ヲシ
ナクテモ宜カラウ、併シ同ジ細カイ事デモ他ニハ規定シテアリマスガ、此處デハ特ニ其規定ヲ爲サナ
イデモ當然其調停委員會ガ適當ナル處置ヲ運ブデアラウカラ宜カラウ、ト云フノデ特ニ規定ヲシナイ

コトニ決シマシタ事實ニ於テハソレトノ通知ハ致スコトト云フ趣旨デゴザイマス。
○議長(岡本委員長) 他ニ御意見ハゴザイマセヌカ——御異議無ケレバ原案ノ通り決シマス——第三十三條

第三十三條 調停成リタルトキ又ハ第三十條ノ規定ニ依リ當事者又ハ總代カ調停ニ同意シタルモノト看做サレタルトキハ裁判所ハ調停主任ノ報告ヲ聽キ調停ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス
調停認可ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
調停不認可ノ決定ニ對シテハ當事者又ハ總代ハ民事訴訟法ニ從ヒ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

○議長(岡本委員長) 御意見ハゴザイマセヌカ——御異議無イモノト認メマス——第三十四條

第三十四條 裁判所ハ調停力著シク公正ナラスト認ムル場合ニ非サレハ調停不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得ス

○矢口委員 此第三十四條ニ「著シク公正ナラスト認ムル場合ニ非サレハ」ト斯ウ云フコトガアリマスソウスルト極ク著シク公正デナイ限ハ出來ナイ、少シハ公正デナクテモト斯ウ云フヤウナ意味ニ解サレマスノデ、私ハ「著シク」ト云フ二字ヲ削ルコトヲ希望シテ此意見ヲ提出シテ置キマス。

○石黒幹事 是ハ御意見ノ御提出デアリマスカラ、特ニ私カラ申上ゲルマデモナイカト存ジマスガ、借地借家調停法ノ方ニモ全然同一ノ條文ガアルコトデアリマシテ、一寸考ヘルト著シク公正ナラスト

認メル場合デナケレバ不認可ノ決定ヲスルコトガ出來ナイト云フコトデ、少シバカリノコトデアレバ認可ノ決定ヲ爲スベシト云フコトニナツテ、變ナコトノヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、先ヅ大體ニ於テ調停ガ出來タノナラバ折角出來タモノヲ少シノコトデ認可ヲ與ヘナイヤウナ決定ヲシテハイケナイト云フ所ノ大體ノ方針カラ此規定ガ出來テ來タノデアリマス、其趣旨デ之ヲ讀ミマス、サウ不都合ナ條文デモナイヤウニ考ヘマス、其積リデ一ツ御讀ミヲ願ツテ置キタイト思ヒマス。

○議長(岡本委員長) 第三十四條ニハ御意見ハゴザイマセヌカ矢口委員ノ「著シク公正ナラスト」ト云フ所ノ此「著シク」ノ二字ヲ削ルト云フコトニ御賛成ガゴザイマスカ——御賛成ガナイト認メマス、他ニ御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 第三十四條ハ異議無イモノト認メマス——第三十五條

第三十五條 調停ハ裁判所ノ認可決定アリタルトキハ裁判上ノ和解ト同一ノ效力ヲ有ス

○議長(岡本委員長) 御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議ナイモノト認メマス——第三十六條

第三十六條 調停終了シタルトキハ調停主任ハ市町村長郡長及小作監督官ニ對シ其ノ顛末ヲ通知スルコトヲ要ス

○議長(岡本委員長) 御異議ゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議無イモノト認メマス——第三十七條

第三十七條 調停主任必要ト認ムルトキハ調停ノ經過ヲ公表スルコトヲ得

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議無シト認メマス——第三十八條

第三十八條 當事者總代又ハ利害關係人ハ手数料ヲ納付シテ記録ノ閱覽若クハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若クハ事件ニ關スル證明書ノ附與ヲ裁判所書記ニ求ムルコトヲ得但シ當事者又ハ總代カ事件ノ繫屬中記録ノ閱覽又ハ謄寫ヲ爲ス場合ニ於テハ手数料ヲ納付スルコトヲ要セス

○議長(岡本委員長) 御異議ハアリマセヌデスカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議無イモノト認メマス——第三十九條

第三十九條 調停委員及第八條但書ニ依リ調停ヲ爲シタル者ニハ旅費日當及止宿料ヲ給ス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議無イモノト認メマス——第四十條

第四十條 第三十八條ノ手数料及前條ノ旅費、日當、止宿料ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○議長(岡本委員長) 御異議ハゴザイマセヌカ。

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(岡本委員長) 御異議無イモノト認メマス——第四十一條

第四十一條 本法中郡長及郡書記ニ關スル規定ハ伊豆七島ニ於テハ東京府知事及東京府屬、北海道ニ於テハ支廳長及北海道屬、島ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司及島廳書記ニ之ヲ適用ス

本法中町村長ニ關スル規定ハ町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ町村長ニ準スルモノニ之ヲ適用ス

○塚本委員 石黒サン此伊豆七島ニ於テハ東京府知事及東京府屬トアリマシテ、島司又ハ島廳書記ニ

適用スト云フコトニナツテ居リマセヌ、小笠原島ノ方ハ島司及島廳書記ニ適用スルコトニナツテ居リ

マスケレドモ、伊豆七島ノ方ニハ知事ト府屬ニシテアリマシガ、島司ト島廳書記デハイケマセヌカ。

○石黒幹事 ドウモ伊豆七島ノコトハ塚本委員ノ方ガ御詳シイト思ヒマス、私ハ事實ヲ能ク存ジマセ

ヌノデ、是ハ確カ何カノ例ニ據ツテヤツタノデスカ、島司ガ七島ニ居ルノデゴザイマセウカ。

○塚本委員 幹事ノ方ヘ御任セテ願ヒマシテ、私モヨク存ジマセヌカラ一度調べテ幹事ノ方ヘ申上ゲ

ルコトニ願ツテ置キマス。

○議長(岡本委員長) 外ニ御意見ハゴザイマセヌカ。